

2021年6月29日

各位

会社名 株式会社 新生銀行  
代表者名 代表取締役社長 工藤 英之  
(コード番号 : 8303 東証第一部)

## 男性社員のお小遣い額は昨年比微減の38,710円、女性社員は微増の34,398円 -「2021年サラリーマンのお小遣い調査」結果について

～男女ともお小遣い額に大きな変化は見られず。働き方・支出項目は新型コロナウイルスの影響で変化～

当行は、20代から50代の有職者の男女約2,700名を対象にした「2021年サラリーマンのお小遣い調査」を実施し、その結果を取りまとめました。

### 「2021年サラリーマンのお小遣い調査」結果の主なポイント

- 男性社員の毎月の平均お小遣い額は38,710円と、前年より709円減少。2010年以降、金額で大きな変化は見られない。女性社員の毎月の平均お小遣い額は34,398円と、前年より544円増加するも2015年からほぼ横ばい。
  - 男性社員の昼食代は649円(前年比64円増加)、女性社員は590円(同、7円増)。
  - 男性社員の1ヵ月の外での飲み代は13,229円(同、1,609円増)、女性社員は9,707円(同、1,252円増)と、男女ともに昨年より増加。特に、男女とも30代で大幅に増える結果に。
  - 新型コロナウイルスの影響で男女ともに約半数で働き方に変化があり、具体的には「残業が減った」「テレワークで働くようになった」が上位となる。同様に、新型コロナウイルスが支出項目にも影響し、男女とも「水道光熱費」が増え、「旅行代」が減る結果に。テレワークの浸透や外出自粛が特定の支出項目に影響を与える結果となった。
- **男性社員のお小遣い額は前年比微減、女性社員は2年連続で増加ながらも大きな変化はなく横ばいの状況が続く**  
男性社員の月額平均お小遣い額は38,710円と前年比709円の減少となりました。近年の男性社員のお小遣い額の推移は増加と減少を1年ごとに繰り返し、金額で大きな変化は見られません。年代別では、20代・30代で増加し、40代・50代は減少するなど、世代間で差が出る結果となりました。この1年間のお小遣い額の変化では、変化があった方は「アップした」が6.4%(昨年は7.0%)、「ダウンした」が13.3%(同、8.5%)と、ダウンした方の割合が昨年よりも多い結果となりました。一方、女性社員のお小遣い額は、昨年より544円上昇し、34,398円となりました。2019年から2年連続で増加していますが、増減幅は男性社員よりも小さく、2015年からほぼ横ばいの状況が続いています。年代別では、20代で減少したものの、30代・40代で増加しました。
  - **昼食代は、男性社員・女性社員ともにやや増加**  
男性社員の1日の昼食代は、昨年の585円から64円増加し、649円となりました。これは2年連続の増加で、直近10年で最高値となりました。年代別では、20代で100円以上の大幅な増加が見られました。女性社員の1日の昼食代は、昨年の583円から7円増加し、590円となりました。男性社員同様、2年連続の増加となりましたが、2017年以降増減の幅は10円以内に留まり、大きな変化は見られません。男性・女性社員ともに持参弁当の割合が最も高く、男性で3割強、女性で約半数を占める結果となりました。
  - **男性・女性社員ともに1ヵ月の外での飲み代は増加**  
男性社員の1回あたりの外での飲み代は6,159円、1回あたりの飲み代と1ヵ月の平均飲み回数から算出した1ヵ月の飲み代は前年比1,609円と大幅に増え、13,229円となりました。女性社員の1回の外での飲み代は5,357円、1ヵ月の飲み代は前年比1,252円増加の9,707円と大幅な増加に転じました。新型コロナウイルスの影響のためか、男性・女性ともに外で飲む回数は減ったものの、自宅で飲む回数が増える結果も見えました。
  - **働き方の変化の有無は、「変化があった」が男性社員で52.8%、女性社員で46.3%となった。男性・女性社員ともに、働き方の変化の内容は「残業が減った」、「テレワークで働くようになった」が上位に**  
新型コロナウイルスの影響により「職場で働き方に変化があった」と回答する割合は、男性社員、女性社員ともに約半数を占めました。働き方改革の内容は、「残業が減った」「テレワークで働くようになった」が上位となり、従業員規模が大きいほどスコアが高くなる傾向が見られました。

本調査の詳しい調査結果については、別添「2021年サラリーマンのお小遣い調査詳細レポート」をご参照ください。

以上



お問い合わせ先  
新生銀行 グループIR・広報部  
下村、風間、伊佐  
[Shinsei\\_PR@shinseibank.com](mailto:Shinsei_PR@shinseibank.com)

別添

2021年  
サラリーマンのお小遣い調査  
詳細レポート

## 2021年 サラリーマンのお小遣い調査概要

### 2021年のお小遣い額は

男性会社員は減少、女性会社員は増加という結果に

男性会社員は38,710円(前年比709円減少)

女性会社員は34,398円(前年比544円増加)

- 2021年3月の月例経済報告で「持ち直しの動きが続いているものの一部に弱さがみられる」とされる景況感の中、男性会社員の毎月の平均お小遣い額は38,710円と、前年より709円減少し2011年の水準に。
- 女性会社員の毎月の平均お小遣い額は34,398円と、前年より544円増加するも2015年からほぼ横ばいの状態。
- 男性会社員と女性会社員の毎月の平均お小遣い額の差は、4,312円。
- 男性会社員の1日の平均昼食代は前年比64円増加で649円、女性会社員は7円微増し590円。
- 男性会社員の1回あたりの飲み代は6,159円、自宅で飲む方の2,713円より3,446円高い結果に。女性会社員の1回あたりの飲み代は5,357円、自宅で飲む方の2,213円より3,144円高い結果に。
- 働き方の変化の有無は、「変化があった」が男性会社員で52.8%、女性会社員で46.3%。男性・女性会社員ともに働き方の変化の内容は同じで「残業が減った」と「テレワークで働くようになった」が上位に。
- 新型コロナウイルスの影響による支出変化として、支出が増えたものは「水道光熱費」が男女ともトップとなり、支出が減ったものは男女ともに「旅行代」「飲み代」「ファッション費用」となっています。テレワークの浸透や外出自粛による影響が特定の支出項目の影響を与えた結果に。

## ■2020年度の景気動向

2020年度初頭の日経平均株価は1万8,000円台からスタートしました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う景気悪化を受け、世界各国で大規模な財政・金融政策が実施された結果、徐々に株価は回復の傾向を見せ、6月の高値は2万3,178円10銭となり大幅に上昇しました。11月に新型コロナウイルス・ワクチンの開発が進んだことを要因として、株価は更に上昇し、12月末には2万7,000円台に到達しました。2021年1月以降は、米国でバイデン新政権が発足し、景気回復への期待も膨らんだことで、概ね2万8,000円台で推移し、2021年2月には約30年半ぶりに一時3万円を超えるなど、2020年度の日経平均株価は上昇基調を辿りました。

景気の見方について、2020年度は感染症対策としての緊急事態宣言などの行動制限を受けて、国内経済は消費を中心に下振れし、実質GDPは前年度比-4.6%と、現行の統計基準(1995年度以降)で最大の減少となりました。

賃金面においては、厚生労働省が発表した令和2年度の毎月勤労統計調査によると、名目賃金指数が前年度比1.5%減少、物価変動を除いた実質賃金指数も同1.2%の減少となり、ともに前年度を下回りました。同じく厚生労働省が発表した「令和2年 賃金構造基本統計調査」によると、一般労働者の月額賃金は男性33万8,800円(前年比0.8%増)、女性25万1,800円(同0.8%増)となりました。

## ■2021年度の見通し

当行は、現在、国内で進められている新型コロナウイルスのワクチン接種が進展することによって、年度後半から国内経済の成長率が高まるとみており、2021年度の日本の実質GDPは前年度比+3.9%(注)と、強い回復になると見込んでいます(2020年度:同-4.6%)。また2021年度の賃金の見通しとしては、2021年春闘の中間集計結果によると(2021年5月10日公表)、基本給を底上げするベースアップ(ベア)実施額は、1,213組合の賃上げ額平均で1,635円となり(引き上げ率は0.56%)、前年同時期の実施額と率(賃上げ額1,361円、引き上げ率0.45%)より微増しました。

### ■ 2021年サラリーマンのお小遣い調査

2021年の「サラリーマンのお小遣い調査」では、男性会社員のお小遣いが前年の39,419円から709円減少して38,710円となり、2011年と同水準になりました。男性会社員のお小遣いを年代別にみると、20代が最も高く45,581円、次いで30代で40,710円となり、ともに4万円を超えています。40代と50代は3万円前半～半ばと世代間で差が出る結果となりました。一方、女性会社員のお小遣い額は、昨年より544円上昇し、34,398円となりました。

ライフステージ別では、未婚の男性会社員のお小遣いが最も高く45,969円となっています。一方で、子どもあり世帯では3万円前半となり、子育て・教育費の家計への負担が重い世帯において、お小遣い額が低い結果となっています。

新型コロナウイルスによって働き方の変化があったと回答した人は、男性会社員で52.8%、女性会社員で46.3%となり、変化の内容として「残業が減った」と「テレワークで働くようになった」がともに男女共通して高くなっています。新型コロナウイルスの影響による支出変化として、支出が増えたものは「水道光熱費」が男女ともトップとなり、支出が減ったものは男女ともに「旅行代」「飲み代」「ファッション費用」となっています。テレワークの浸透や外出自粛による影響が特定の支出項目の影響しました。

働き方の変化によって増えた時間として、男性会社員は「家事」37.7%、「育児」29.2%となり、従業員規模が大きい会社で高い傾向にあります。また女性会社員は、「家事」49.2%、「育児」33.3%となり、どちらも男性会社員より高くなっています。従業員規模が大きい(テレワーク率の高い)会社の男性会社員が、より家事や育児に時間を使うという変化が見られた結果となりました。

## ＜調査設計＞

- 調査時期 2021年4月16日～4月19日の4日間
- 調査方法 インターネットによる調査(株式会社マクロミルに依頼し、全国からサンプルを収集)
- 調査エリア 全国
- 調査対象者 会社員(正社員・契約社員・派遣社員)、パート・アルバイト
- サンプル数 合計2,718名
  - 会社員 男性:1,252名、女性:842名
  - パート・アルバイト 男性:312名、女性:312名

### ■ サンプル内訳

	男性 会社員		女性 会社員		男性 パート・アルバイト		女性 パート・アルバイト	
	N	%	N	%	N	%	N	%
20代	313	25%	211	25%	78	25%	78	25%
30代	313	25%	210	25%	78	25%	78	25%
40代	313	25%	211	25%	78	25%	78	25%
50代	313	25%	210	25%	78	25%	78	25%
総計	<b>1,252</b>	<b>100%</b>	<b>842</b>	<b>100%</b>	<b>312</b>	<b>100%</b>	<b>312</b>	<b>100%</b>

※会社員、女性パート・アルバイトは、年代均等にて割付回収しています。

※男性パート・アルバイトは年代均等になるよう、集計時に補正をしています。

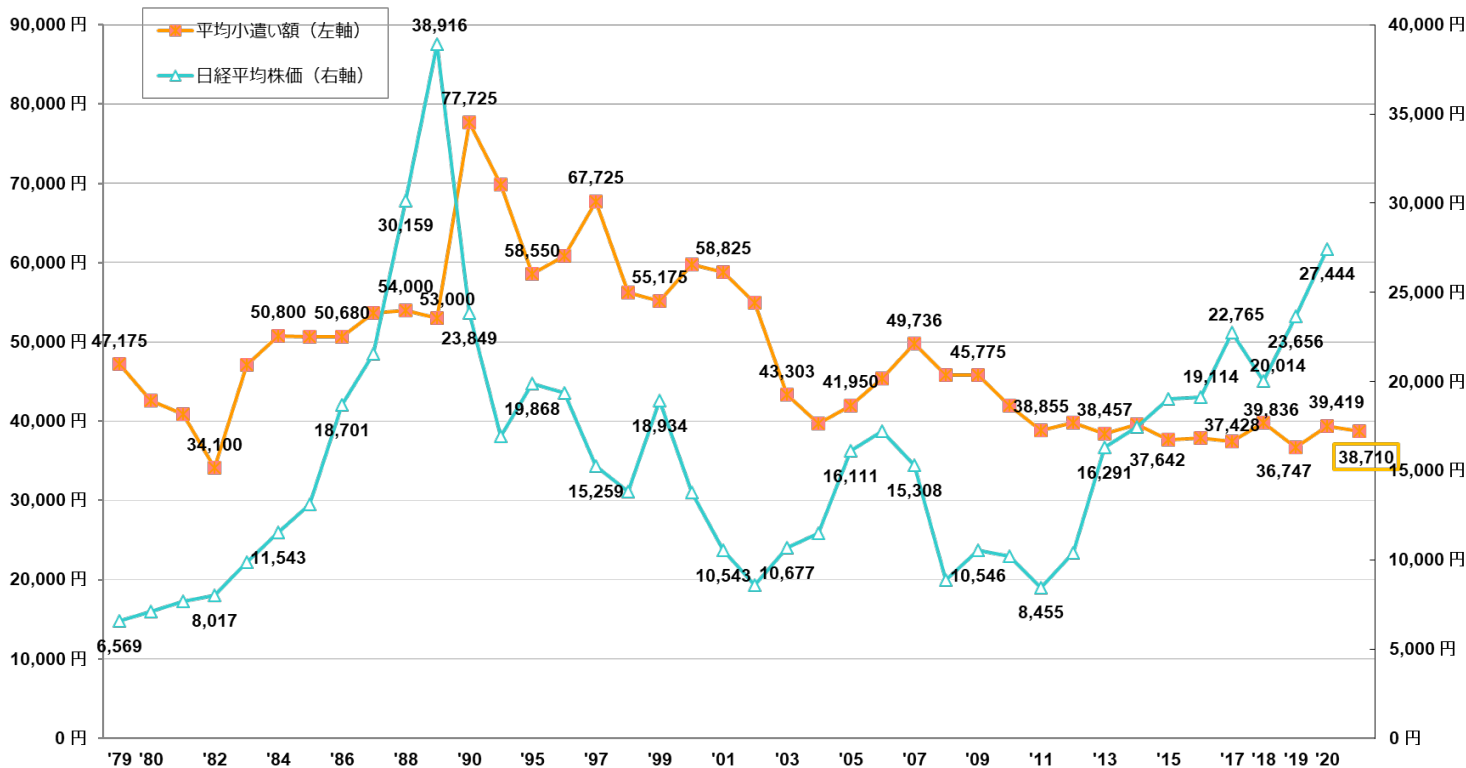
(本レポートは、補正後のスコアを掲載しています)

※今回より、性別について「その他・答えたくない」と回答した人も対象としていますが、n=66のため分析軸に入れていません。

## ＜目次＞

【1】 サラリーマンのお小遣い.....	6
【2】 サラリーマンの昼食事情.....	12
【3】 サラリーマンの飲み事情.....	18
【4】 新型コロナウイルスの影響による働き方の変化.....	24
【5】 経済的なゆとり.....	35
【6】 お小遣いの使いみち、やりくり術.....	37
【7】 サラリーマンの給与管理状況.....	42
【8】 支払い手段.....	46
【9】 投資状況.....	48
【10】 パート・アルバイトの基本データ.....	50

## 日経平均株価とサラリーマンの平均お小遣い額の推移 (1979年～2021年)



- 1978年以前と、1991年および1993年、1994年については調査を実施していません。
- グラフ中の日経平均株価は、年次データの終値を表記しています。
- 日経平均株価の最新データは2020年、お小遣い調査の最新データは2021年です。



## 【1】サラリーマンのお小遣い

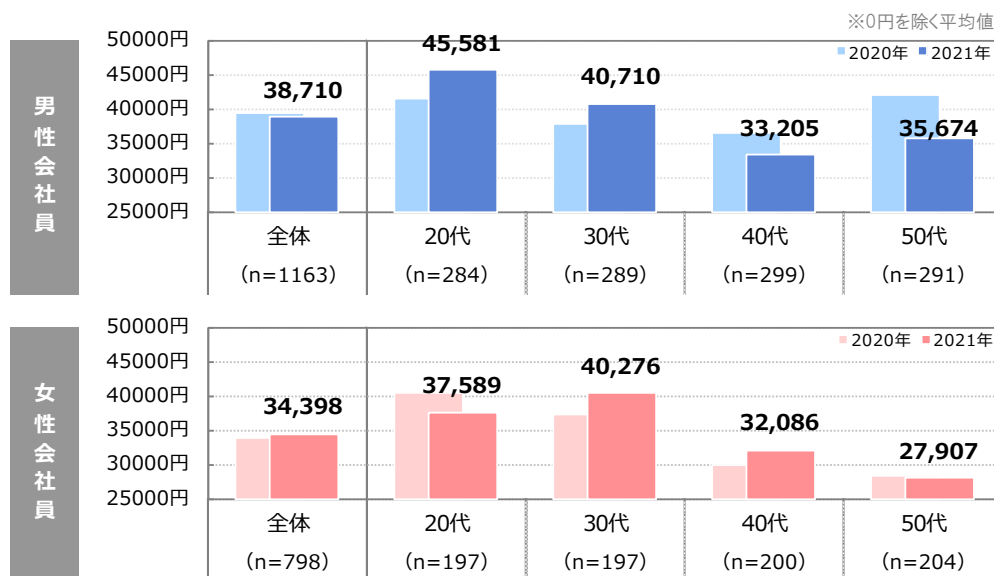
- 男性社員の月額平均お小遣い額は38,710円と前年比709円減少となった
- 特に男性20代は昨年比で増加し、4万円半ばと各年代で最も高い
- ライフステージ別では、男性未婚者は45,969円と男性会社員全体より7,000円以上高い
- 女性会社員は昨年より544円増加し、34,398円となったが、2015年からほぼ横ばいの状態

### ■ 月の平均お小遣い額

男性社員の月の平均お小遣い額は、昨年の39,419円から709円減の38,710円となりました。年代別にみると、20代と30代で増加していますが、40代と50代では減少しています。

一方、女性会社員のお小遣い額は昨年の33,854円から544円増加し、34,398円となりました。年代別にみると、20代は減少していますが、30代と40代で増加しました。

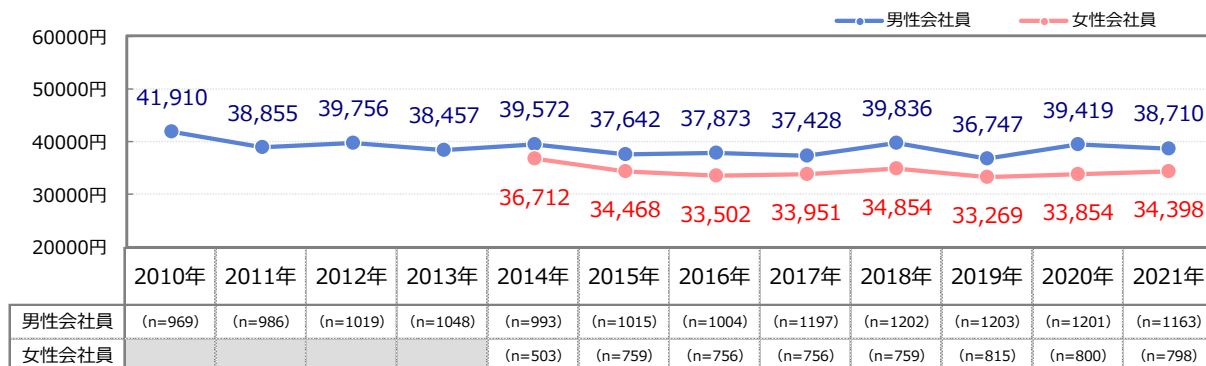
設問：あなたの「一カ月の『おこづかい』はいくらですか？（昼食代含む）



男性会社員における近年のお小遣い額の推移は、2019年から2020年では増加しましたが、2020年から2021年では減少に転じました。

女性会社員のお小遣い額は男性会社員ほど増減幅が大きくありませんが、2019年から増加傾向が続いています。

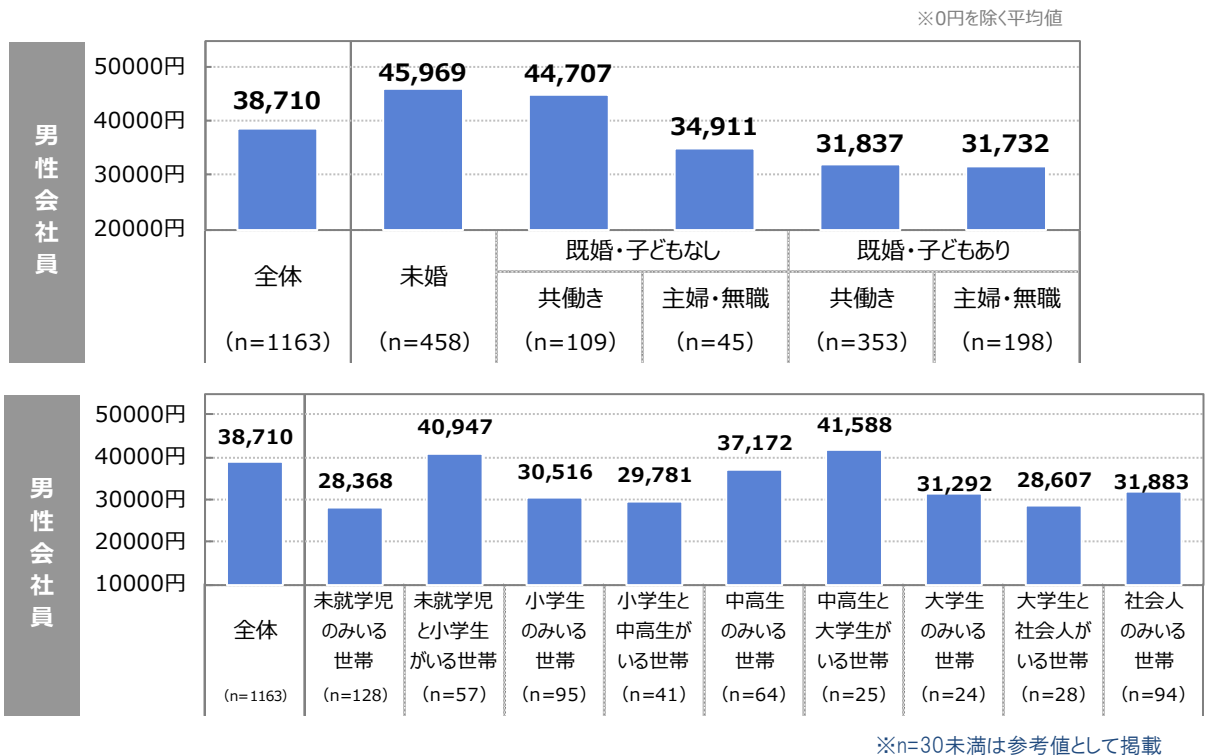
### ■ 平均お小遣い額の時系列推移 (2010年～2021年)





男性社員の平均お小遣い額をライフステージ別にみると、未婚者と既婚者・子どもなし・共働きでは4万円を超えており、既婚者・子どもなし・主婦・無職、既婚者・子どもありの3万円台と比べてお小遣い額が高い結果となりました。

また、子どもの学齢別にみると、未就学児のみいる世帯でお小遣い額が最も少なくなっています。



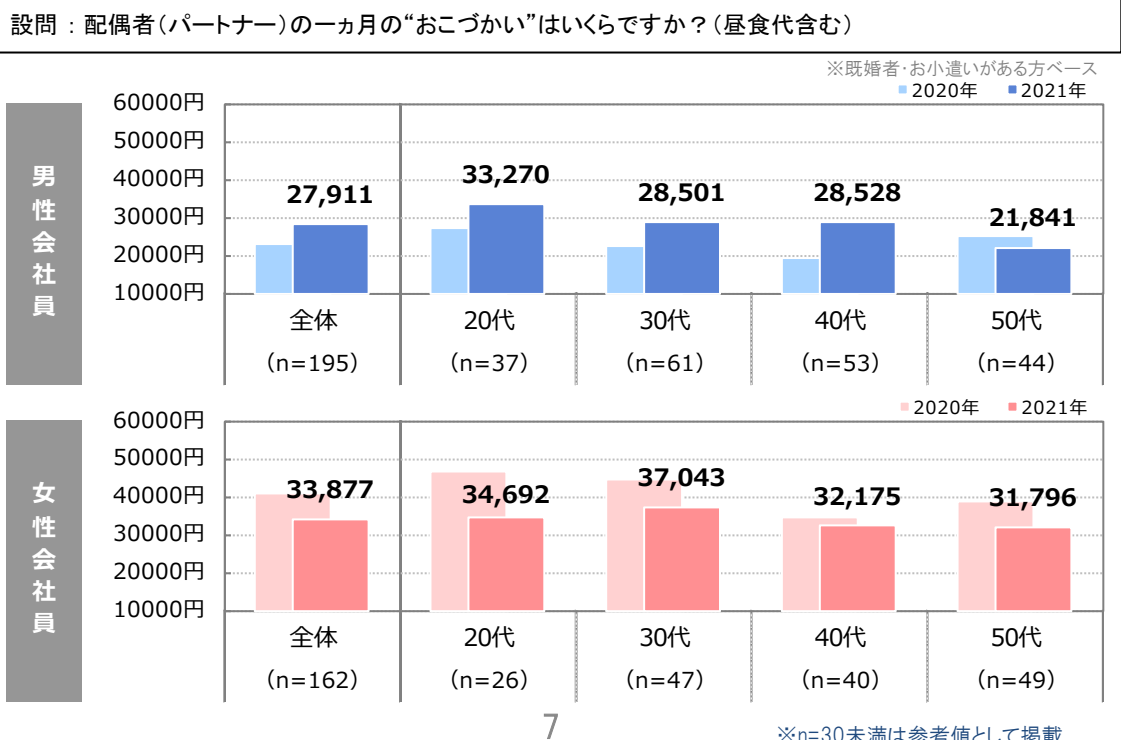
## ■ 配偶者（パートナー）のお小遣い額

男性社員の配偶者（パートナー）のお小遣い額は、昨年より4,884円増加し、27,911円となっています。

年代別では、20代で33,270円と最も高い金額となっています。

一方、女性社員の配偶者（パートナー）のお小遣い額は、6,682円減少し、33,877円となっています。

また、年代別にみると、全ての年代でお小遣いが減少しました。

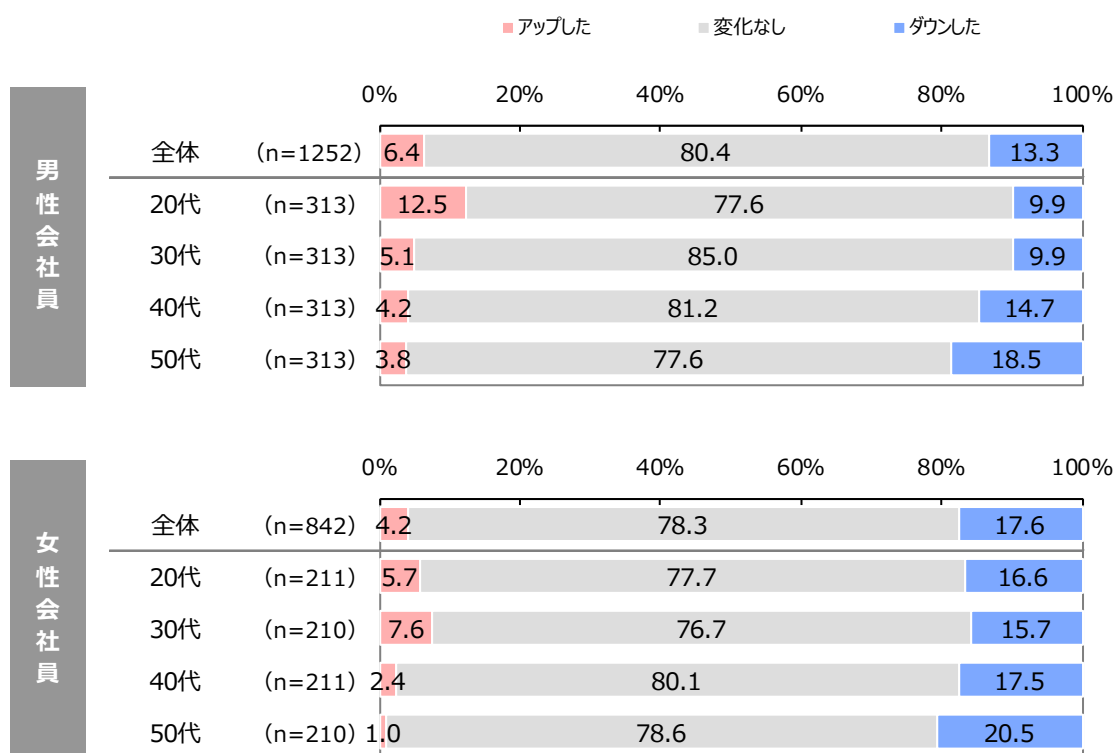


## ■ お小遣い額の変化

男性会社員では、この一年間でお小遣い額に変化があった方は限定的で、「変化なし」が8割と、多くの方が変化がないという結果でした。変化があった方では、「アップした」が6.4%、「ダウンした」が13.3%と、ダウンした方の割合がやや多い結果となっています。年代別にみると、若年の方ほど「アップした」の割合が高まり、20代では12.5%となりました。一方、「ダウンした」の割合は、50代で18.5%と最も多くなります。

女性会社員についても、多くの方が「変化なし」という結果は、男性会社員と同様です。ただし、「ダウンした」の割合が17.6%と男性会社員よりも高めで、特に50代で20.5%と高い割合となっています。

設問：この一年(2020年4月～2021年3月)の間に、あなたの“おこづかい”はどのように変化しましたか？

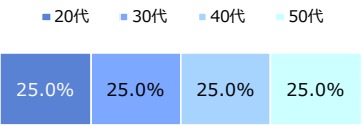
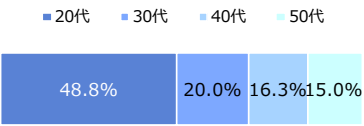
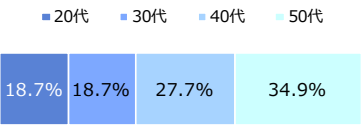
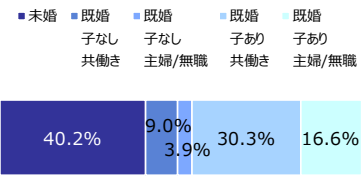
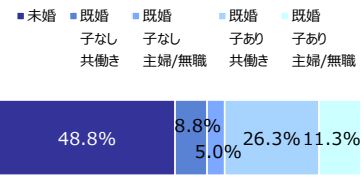
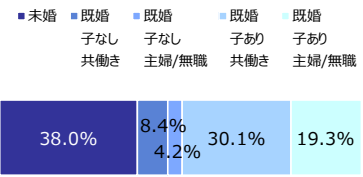
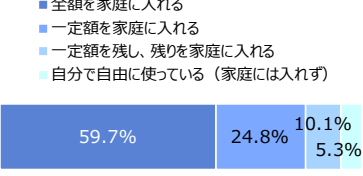
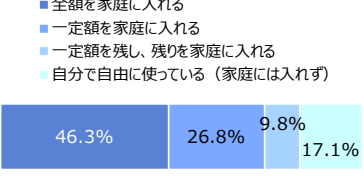
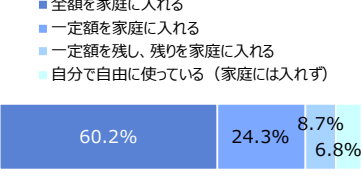


## ■ お小遣いに変化があった方のプロフィール

男性会社員でこの一年間にお小遣いがアップした方(6.4%)とダウンした方(13.3%)のプロフィールを、男性会社員全体と比較したものが以下となります。ここから、お小遣いに変化があった方がどのような方なのかを確認します。

まず、お小遣いがアップした方は、年齢は20代が48.8%を占め、若年層寄りの傾向が顕著です。年収では、個人年収・世帯年収ともに全体より高く、特に個人年収は全体と73万円の開きがあります。家族構成では未婚層の割合が高い傾向がみられます。

一方、お小遣いがダウンした方は、年齢は50代が多く、年収は、個人年収・世帯年収ともに全体より低い結果となっています。

	男性会社員 全体 (n=1252)	お小遣いがアップした方 (n=80)	お小遣いがダウンした方 (n=166)
年齢			
年収	個人年収 <b>526</b> 万円 世帯年収 <b>657</b> 万円	個人年収 <b>599</b> 万円 世帯年収 <b>700</b> 万円	個人年収 <b>427</b> 万円 世帯年収 <b>539</b> 万円
家族構成			
給与管理状況 ※既婚者ベース			

※右下にn数が記載されていないグラフは、各カテゴリーの1番上に記載している総n数が該当します。

女性社員でこの一年間にお小遣いがアップした方は4.2%、ダウンした方は17.6%という結果になりました(P8参照)。

女性社員全体と比較して、プロフィールの特徴をみると、お小遣いがアップした方は、年齢は30代が45.7%を占め、若年層寄りの傾向がみられます。個人年収・世帯年収ともに女性社員全体を大きく上回る金額となっており、特に世帯年収は全体と131万円の開きがあります。

一方、お小遣いがダウンした方は、年齢は50代が最も多く、年収は個人年収・世帯年収ともに全体より低い結果となっています。

	女性社員 全体 (n=842)	お小遣いがアップした方 (n=35)	お小遣いがダウンした方 (n=148)
年齢	<ul style="list-style-type: none"> <li>20代 25.1%</li> <li>30代 24.9%</li> <li>40代 25.1%</li> <li>50代 24.9%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>20代 34.3%</li> <li>30代 45.7%</li> <li>40代 14.3%</li> <li>50代 5.7%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>20代 23.6%</li> <li>30代 22.3%</li> <li>40代 25.0%</li> <li>50代 29.1%</li> </ul>
年収	個人年収 <b>337</b> 万円 世帯年収 <b>615</b> 万円	個人年収 <b>373</b> 万円 世帯年収 <b>746</b> 万円	個人年収 <b>314</b> 万円 世帯年収 <b>529</b> 万円
家族構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>未婚 59.5%</li> <li>既婚 子なし 15.3%</li> <li>既婚 子あり 25.2%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未婚 60.0%</li> <li>既婚 子なし 8.6%</li> <li>既婚 子あり 31.4%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未婚 60.8%</li> <li>既婚 子なし 14.2%</li> <li>既婚 子あり 25.0%</li> </ul>
給与管理状況 ※既婚者ベース	<ul style="list-style-type: none"> <li>全額を家庭に入れる 34.9%</li> <li>一定額を家庭に入れる 34.9%</li> <li>一定額を残し、残りを家庭に入れる 17.6%</li> <li>自分で自由に使っている (家庭には入れず) 12.6%</li> </ul> (n=341)	<ul style="list-style-type: none"> <li>全額を家庭に入れる 35.7%</li> <li>一定額を家庭に入れる 42.9%</li> <li>一定額を残し、残りを家庭に入れる 14.3%</li> <li>自分で自由に使っている (家庭には入れず) 7.1%</li> </ul> (n=14)	<ul style="list-style-type: none"> <li>全額を家庭に入れる 39.7%</li> <li>一定額を家庭に入れる 34.5%</li> <li>一定額を残し、残りを家庭に入れる 15.5%</li> <li>自分で自由に使っている (家庭には入れず) 10.3%</li> </ul> (n=58)

※右下にn数が記載されていないグラフは、各カテゴリの1番上に記載している総n数が該当します。

※n=30未満は参考値として掲載

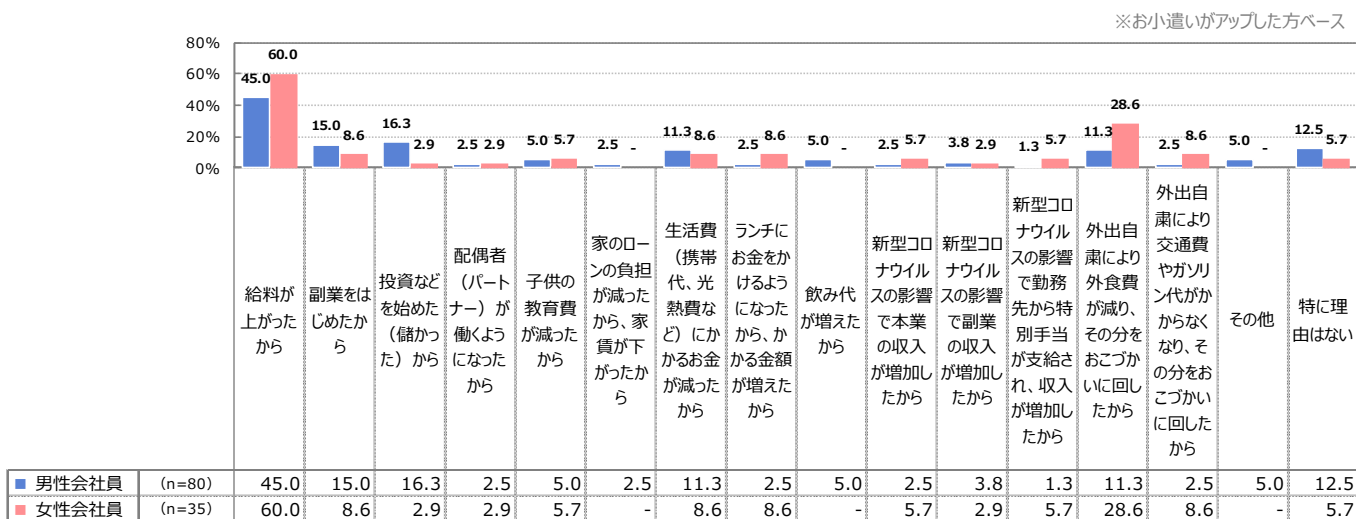
## ■ お小遣い額がアップした理由・ダウンした理由

この一年間でお小遣いがアップした方(男性会社員:6.4%、女性会社員4.2%)の理由が以下となります(P8参照)。

男性会社員におけるお小遣いがアップした理由は、「給料が上がったから」が45.0%で最も高く、「投資などを始めたから」16.3%、「副業をはじめたから」15.0%が続く結果となりました。

女性会社員の理由は1位は変わらず、2番手には「外出自粛により外食費が減り、その分をおこづかいに回したから」が挙がる点の特徴となっています。

設問：おこづかいがアップした要因としてあてはまるものをすべてお選び下さい。

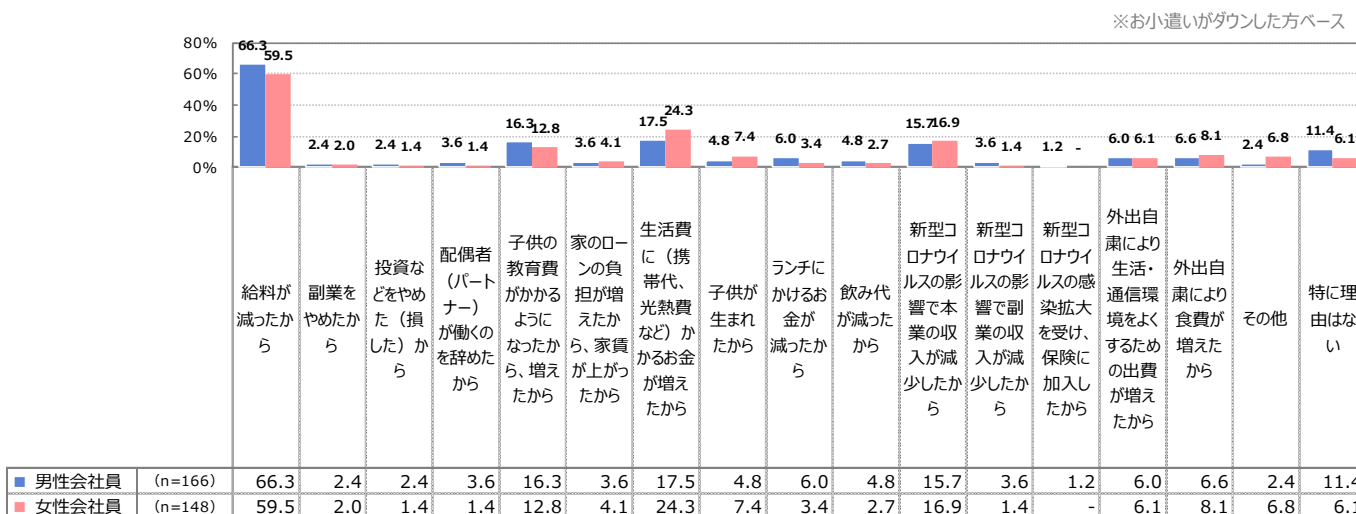


この一年間でお小遣いがダウンした方(男性会社員:13.3%、女性会社員17.6%)の理由が以下となります(P8参照)。

男性会社員のお小遣いがダウンした理由は、「給料が減ったから」が66.3%で最も高く、「生活費にかかるお金が増えたから」17.5%、「子供の教育費がかかるようになったから、増えたから」16.3%が続く結果となりました。

また、女性会社員の理由は、男性会社員同様、「給料が減ったから」が59.5%で最も高く、「生活費にかかるお金が増えたから」24.3%、「新型コロナウイルスの影響で本業の収入が減少したから」16.9%と続いています。

設問：おこづかいがダウンした要因としてあてはまるものをすべてお選び下さい。



## 【2】サラリーマンの昼食事情

- 男性社員の昼食代は昨年比で64円増加し649円となり直近10年で最高値となる。女性社員は昨年より7円微増し590円となり、男性が女性より約60円高い昼食代となる
- 男性・女性社員ともに持参弁当の割合が最も高く、男性で3割強、女性で約半数を占める
- 昼食にかかる平均時間では、男性社員が21分に対し、女性社員は29分と男性より8分程度長い

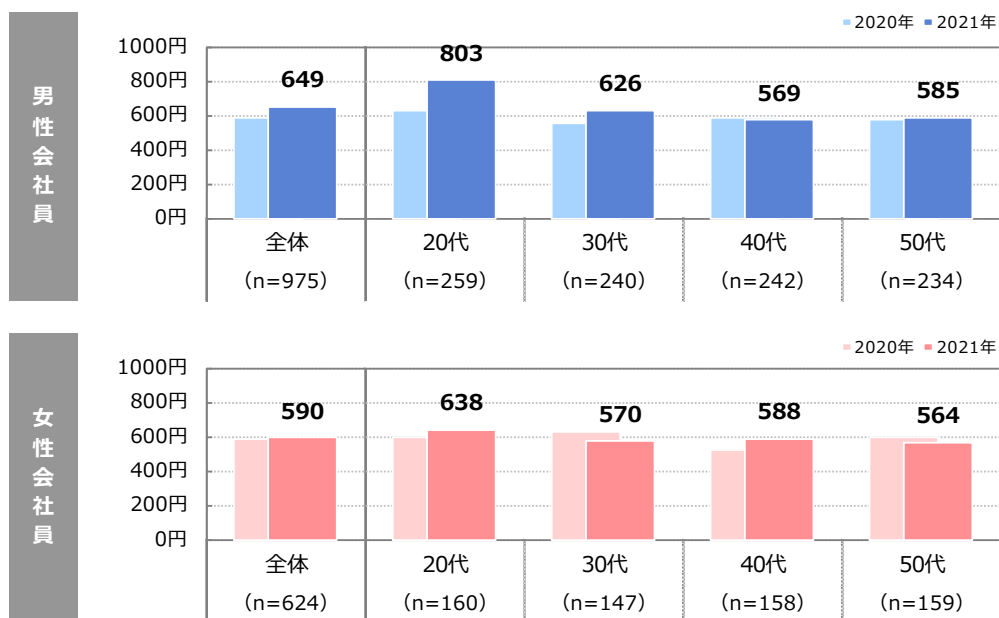
### ■ 一日の平均昼食代

男性社員の一日の昼食代は、昨年の585円から64円増加し、649円となりました。年代別にみると、20代で100円以上の増加となっています。

女性社員の一日の昼食代は、昨年の583円から7円微増し、590円となりました。年代別にみると、20代と40代では増加、30代と50代では減少となっています。

設問：昼食代(勤務日)は平均すると一回いくらですか？(弁当持参や、在宅勤務でお昼を作る時除く)

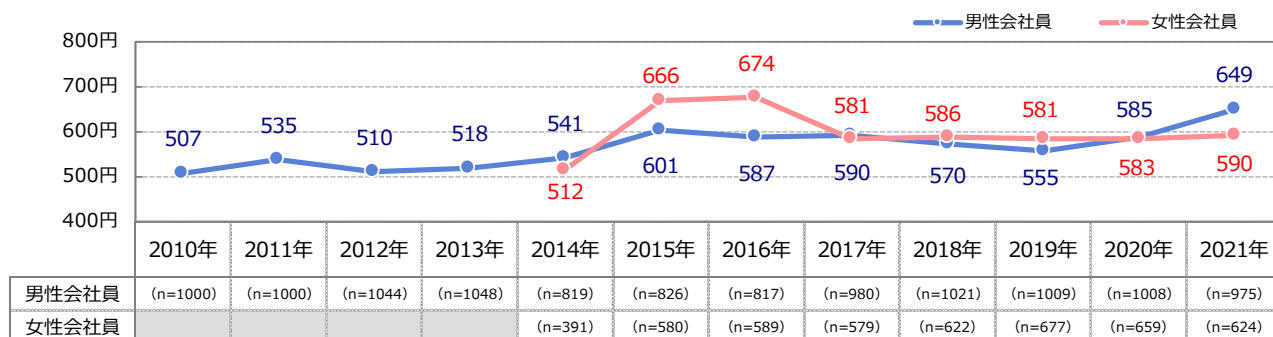
※勤務日に昼食をとる方ベース



男性社員の直近の昼食代の傾向は、昨年より64円増加し、600円台半ばとなり、直近10年で最高値となりました。

一方、女性社員の平均昼食代は、昨年より7円微増していますが、2017年以降大きな変化はみられません。

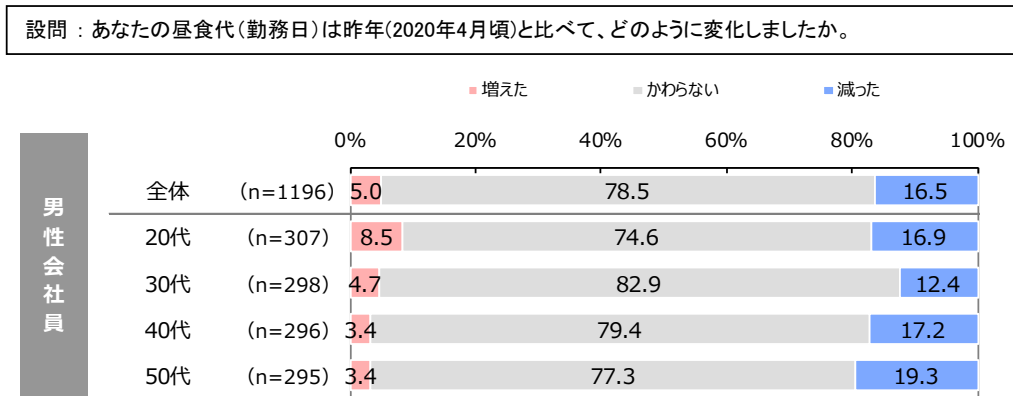
### ■ 平均昼食代の時系列推移(2010年～2021年)



## ■ 昼食代の増減

男性社員の昼食代の増減は、「減った」が16.5%となり、「増えた」の5.0%を上回ります。  
どの年代でも「減った」が「増えた」を上回っており、特に50代で「減った」が19.3%と最も高くなっています。

※昼食にお金をかける方ベース

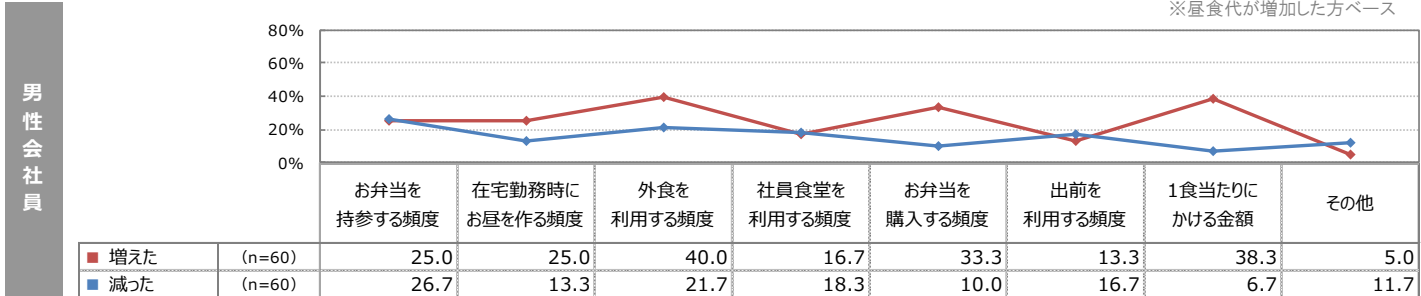


## ■ 昼食代の増加理由

昼食代の増加理由については、「外食を利用する頻度」「1食当たりにかかる金額」「お弁当を購入する頻度」などの増加が昼食代の増加理由と考えられます。

設問：前問で昼食代(勤務日)が昨年(2020年4月頃)と比べて増えた方にお伺いします。以下に関する頻度や金額の増減についてそれぞれお答えください。

※昼食代が増加した方ベース

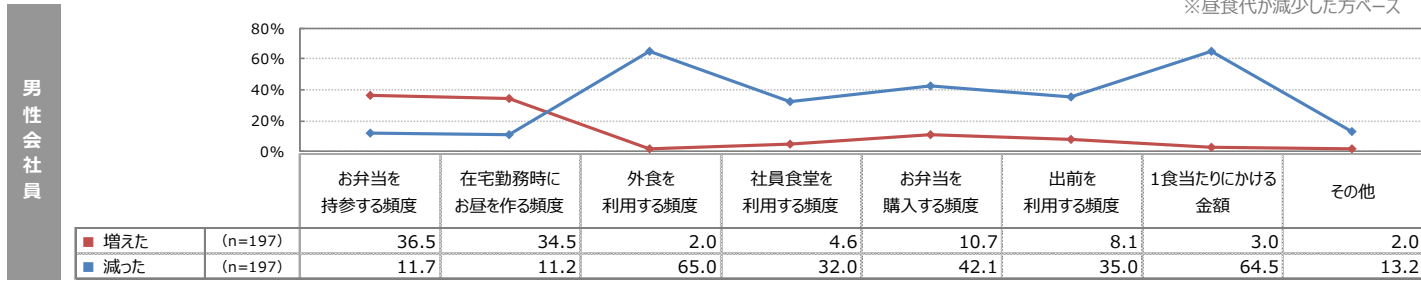


## ■ 昼食代の減少理由

昼食代の減少理由については、「お弁当を持参する頻度」「在宅勤務時にお昼を作る頻度」が増加した一方、「外食を利用する頻度」「1食当たりにかかる金額」などが大きく減少したことが昼食代の減少理由と考えられます。

設問：前問で昼食代(勤務日)が昨年(2020年4月頃)と比べて減った方にお伺いします。以下に関する頻度や金額の増減についてそれぞれお答えください。

※昼食代が減少した方ベース





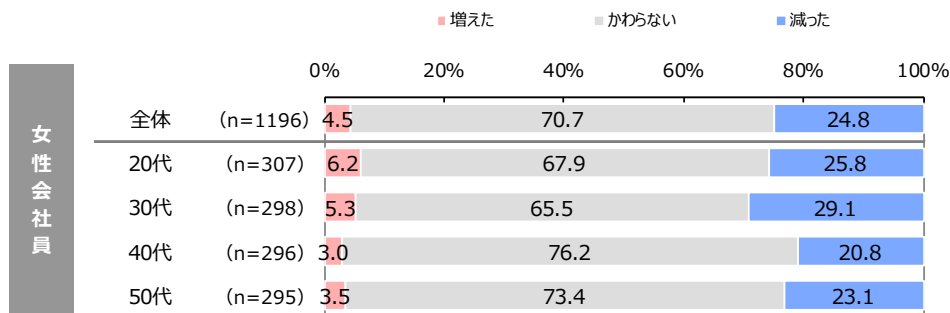
## ■ 昼食代の増減

女性社員における、昼食代の増減は、「減った」が24.8%となり、「増えた」の4.5%を上回ります。男性社員と比べて「減った」が8pt高い点が特徴となっています。

どの年代でも「減った」が「増えた」を上回っており、特に30代で「減った」が29.1%と最も高くなっています。

※昼食にお金をかける方ベース

設問：あなたの昼食代(勤務日)は昨年(2020年4月頃)と比べて、どのように変化しましたか。

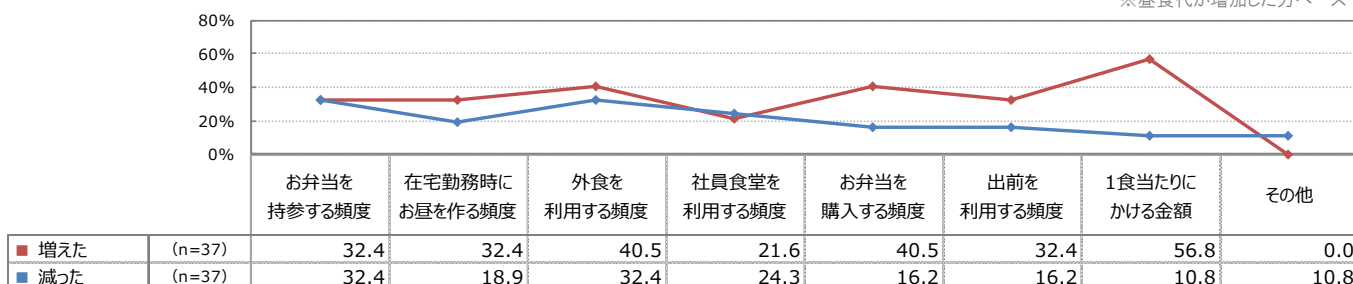


## ■ 昼食代の増加理由

昼食代の増加理由については、56.8%が「1食当たりにかかる金額」が増加したと回答しており、昼食代の増加の主な理由になっていると考えられます。

設問：前問で昼食代(勤務日)が昨年(2020年4月頃)と比べて増えた方にお伺いします。以下に関する頻度や金額の増減についてそれぞれお答えください。

※昼食代が増加した方ベース

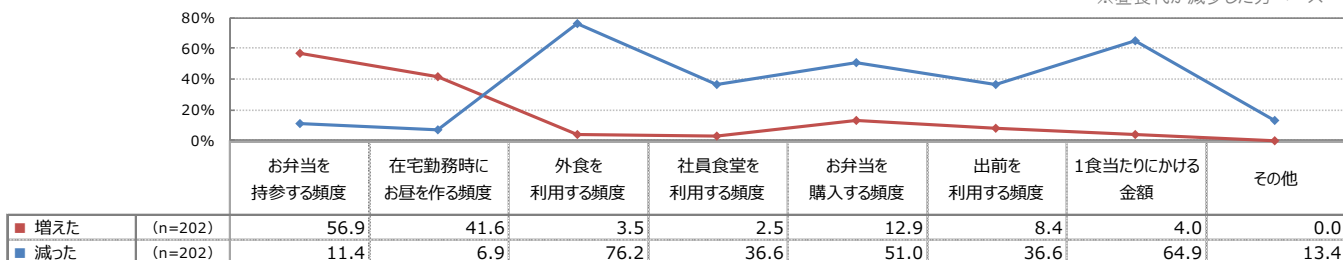


## ■ 昼食代の減少理由

昼食代の減少理由については、男性社員と同様、「お弁当を持参する頻度」「在宅勤務時にお昼を作る頻度」が増加した一方、「外食を利用する頻度」「1食当たりにかかる金額」などが大きく減少したことが昼食代の減少理由と考えられます。

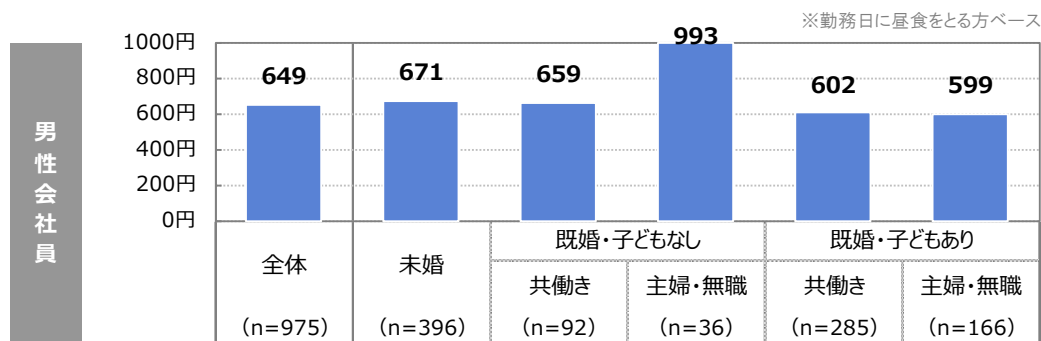
設問：前問で昼食代(勤務日)が昨年(2020年4月頃)と比べて減った方にお伺いします。以下に関する頻度や金額の増減についてそれぞれお答えください。

※昼食代が減少した方ベース



男性会社員の一日の昼食代をライフステージ別にみると、既婚・子どもなし・主婦・無職が993円と最も高い金額となっています。

設問：昼食代(勤務日)は平均すると一回いくらですか？(弁当持参や、在宅勤務でお昼を作る時除く)

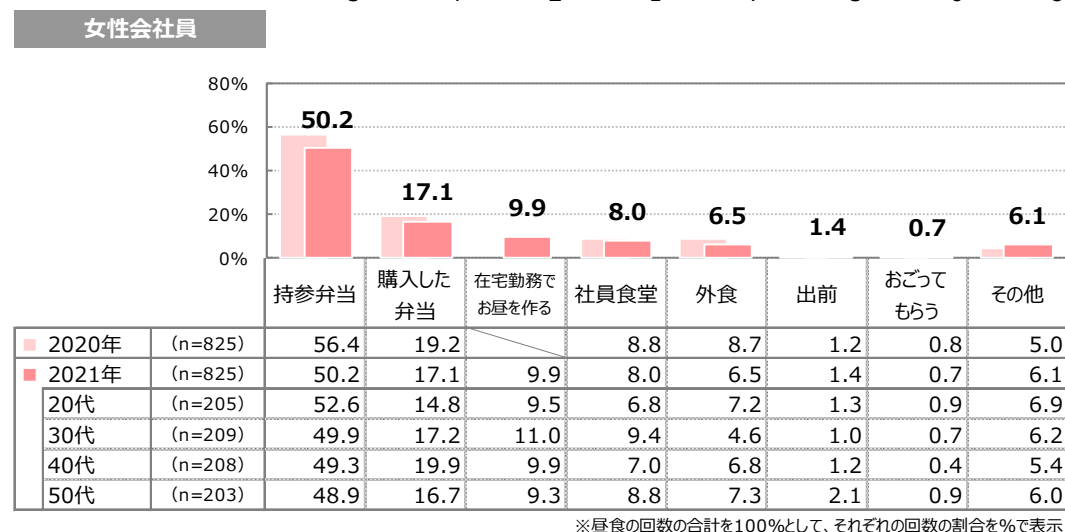
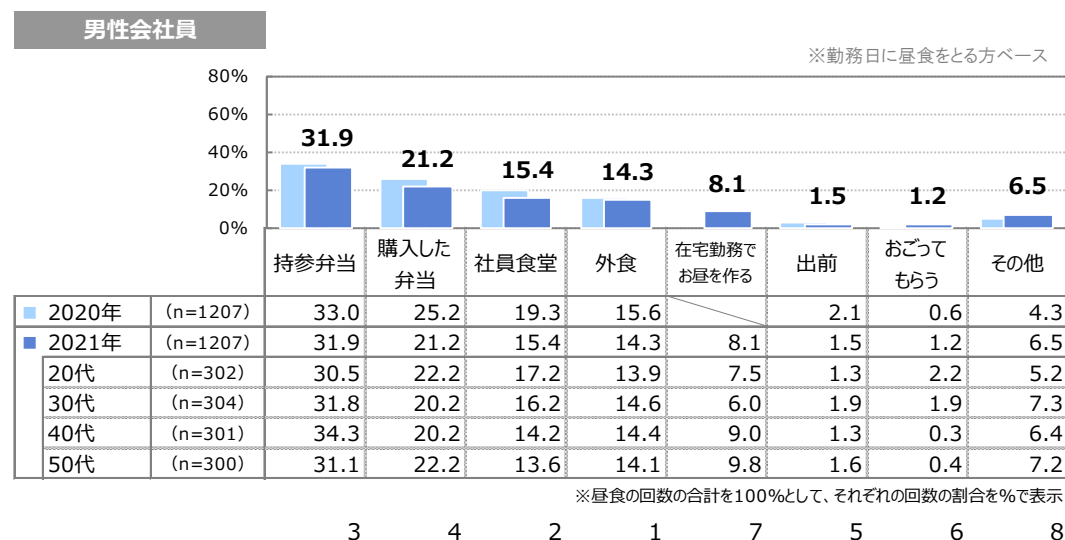


## ■ 昼食の内訳

男性会社員における、昼食の内訳トップ3は、「持参弁当」31.9%、「購入した弁当」21.2%、「社員食堂」15.4%の順で、昨年と比較して大きな変化はみられませんでした。

女性会社員では、「持参弁当」50.2%、「購入した弁当」17.1%、「在宅勤務でお昼を作る」9.9%の順となっています。

設問：あなたの平均的な一週間の昼食(勤務日)のそれぞれの回数の内訳を教えてください。

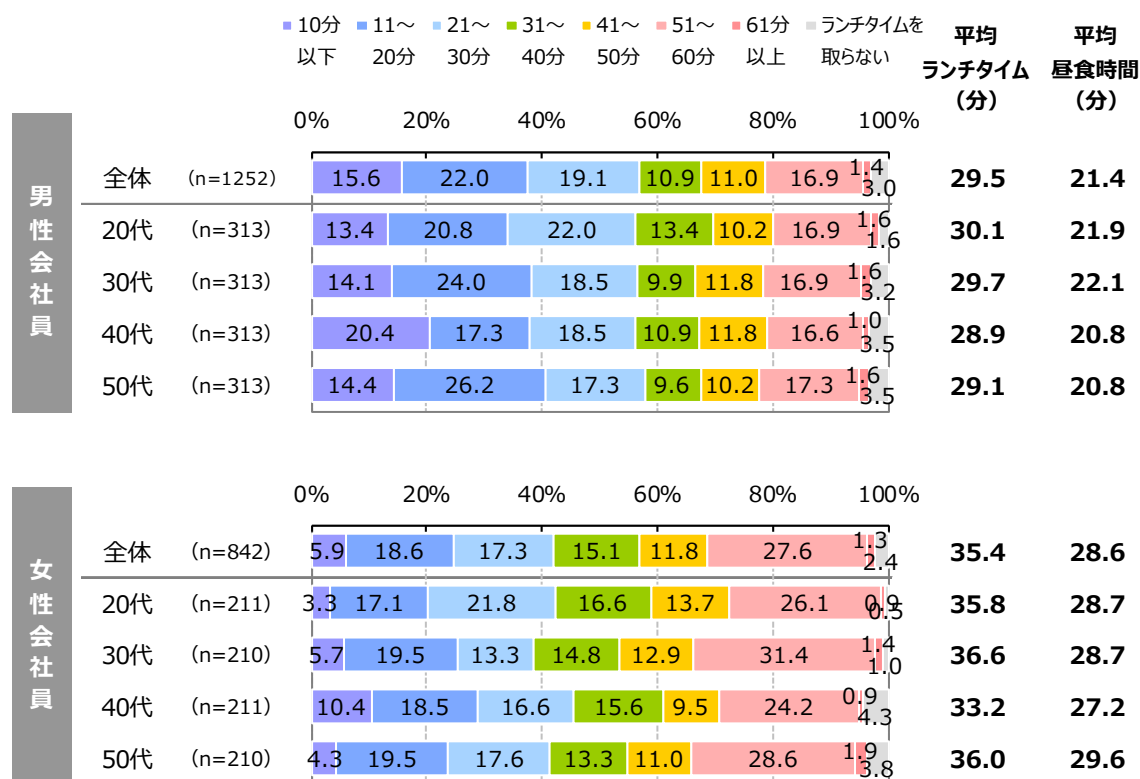


## ■ ランチタイムにかける時間

男性社員における、ランチタイム時間は平均29.5分。そのうち、昼食時間は平均21.4分となっています。なお、ランチタイム時間の回答は、「11～20分」と「21～30分」が2割前後と比較的多いです。また、年代別にみると、40代で「10分以下」が2割と割合が高い点が特徴です。

女性社員においては、「51～60分」が3割弱と多く、ランチタイム時間は平均35.4分、昼食時間は平均28.6分と、男性社員よりやや長い傾向がみられます。

設問：ランチタイム(昼食を含む勤務日のお昼休憩時間)にかける時間は平均して、どのくらいですか。  
 昼食(勤務日)にかける時間は平均して、どのくらいですか。



## ■ ランチタイムの過ごし方

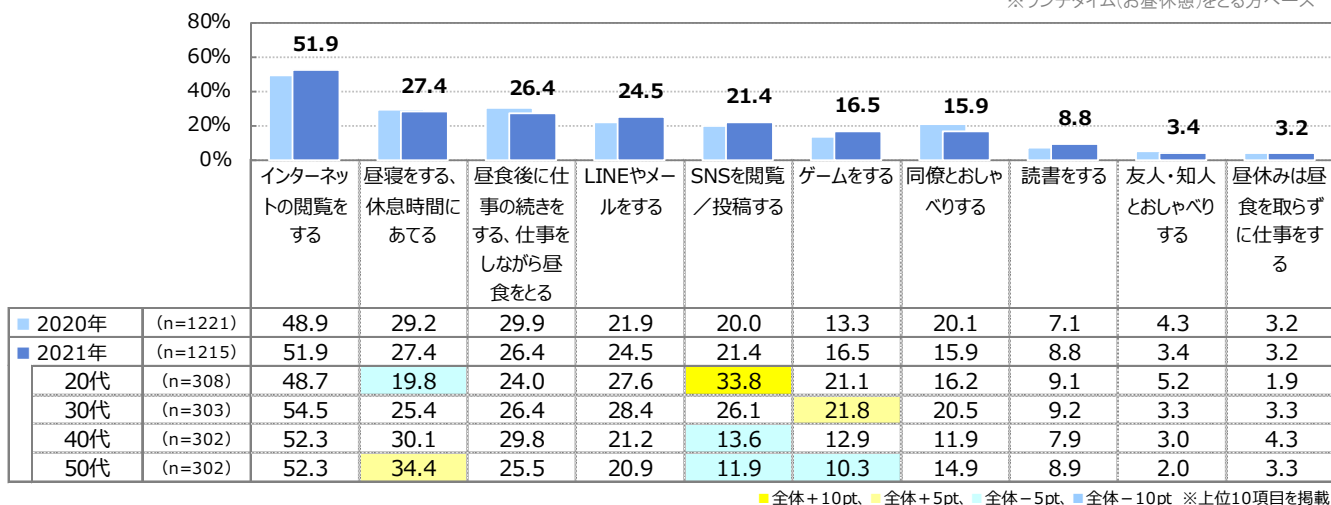
男性社員における、ランチタイムの過ごし方トップ3は、「インターネットの閲覧」51.9%、「昼寝や休息」27.4%、「仕事の続き/仕事をしながら」26.4%となっております。20代では「SNSを閲覧/投稿する」が3割強と高い点が特徴です。

女性社員においても、男性同様、「インターネットの閲覧」55.1%がトップになっています。しかし、「LINEやメールをする」48.7%、「SNSを閲覧/投稿する」39.9%、「同僚とおしゃべり」27.6%が続いており、男性社員とやや異なる傾向にあることがわかります。昨年と比較すると「LINEやメールをする」「SNSを閲覧/投稿する」が5pt以上増加している点が特徴です。また、年代別では、30代以下で「LINEやメールをする」「SNSを閲覧/投稿する」が5割以上と高くなっております。

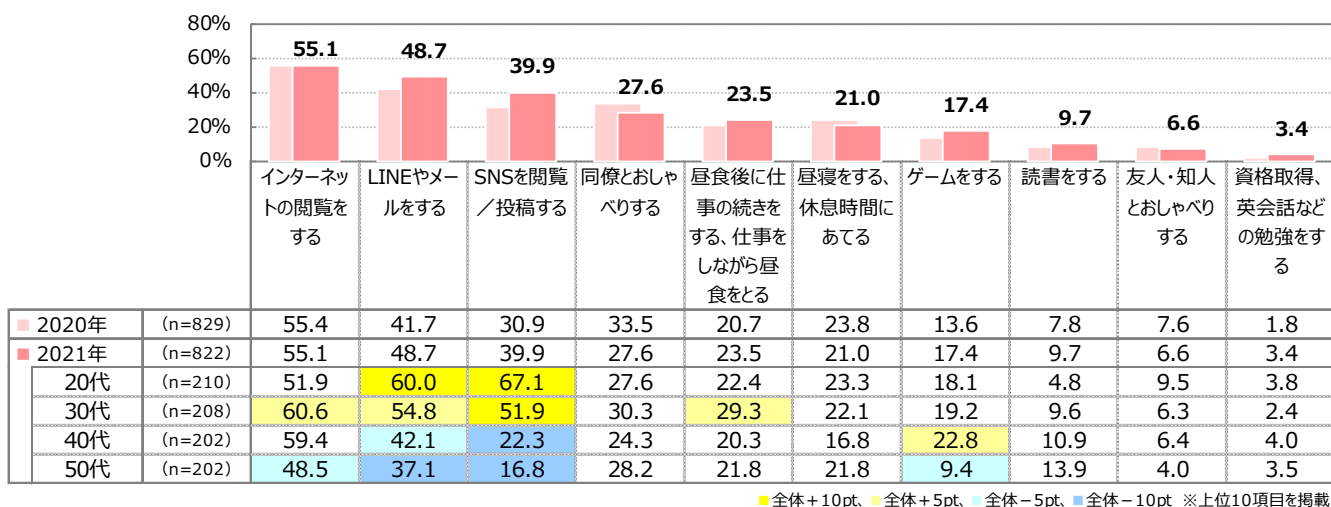
設問：あなたの「ランチタイムの過ごし方」として、あてはまるものを、全てお答えください。

### 男性社員

※ランチタイム(お昼休憩)をとる方ベース



### 女性社員



### 【3】サラリーマンの飲み事情

- ▶ 昨年と比べて飲酒している男性社員の割合は約5pt減少し、仕事終わりに飲みに行く、および自宅含めた飲酒は70.9%となり、「お酒を飲まない人」は29.2%と約3割は飲酒しない状況
- ▶ 男性社員の1回あたりの外での飲み代は6,159円、女性社員の1回あたりの外での飲み代は5,357円
- ▶ 1カ月の飲み代は、男性社員は前年より1,609円増え13,229円、女性社員は1,252円増え9,707円に(※飲み行く方ベース比較、23ページ参照)

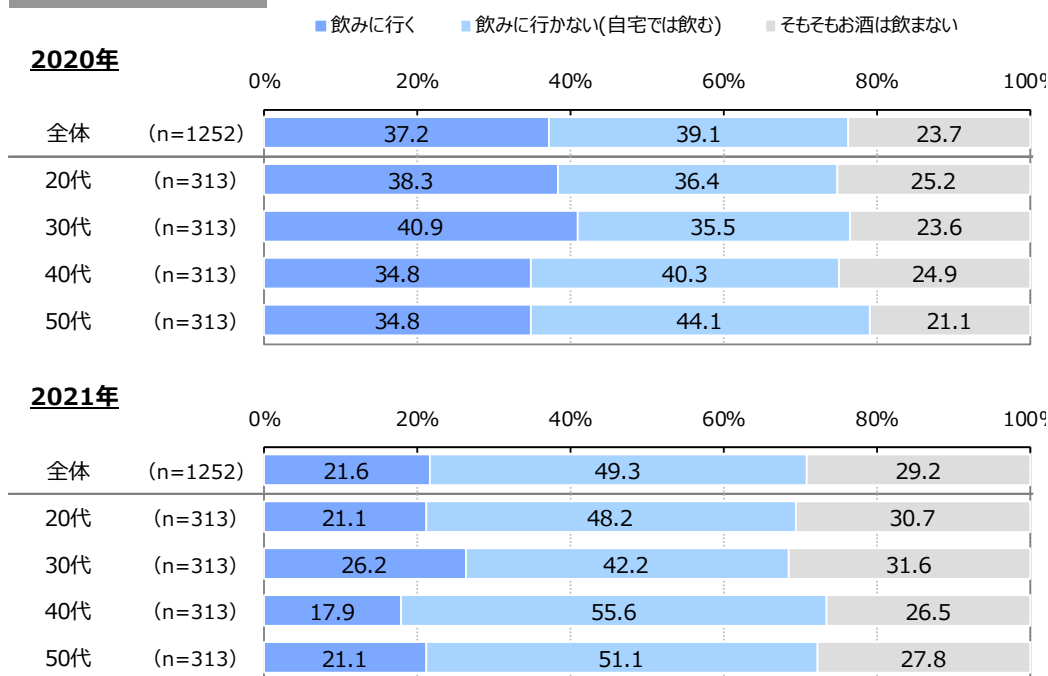
#### ■ 仕事後の飲酒状況と1回あたりの飲み代

男性社員の仕事終わりの飲酒状況は、「飲みに行く」が21.6%、外には飲みに行かないものの自宅では飲む、「飲みに行かない(自宅では飲む)」が49.3%を占めており、飲酒している方は70.9%にのびります。年代別では、30代で「飲みに行く」が高い傾向がみられます。昨年と比較すると、「飲みに行く」は15pt以上減少したものの、「飲みに行かない(自宅では飲む)」は10pt増加しており、飲酒している方全体では5pt程度の減少にとどまっています。

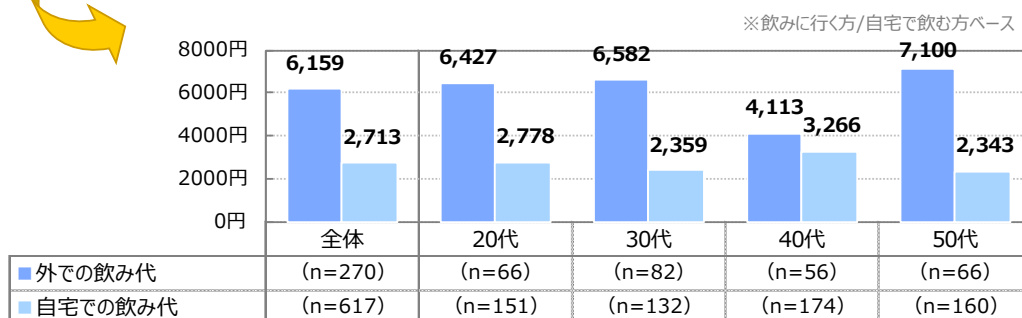
外に飲みに行く方と自宅で飲む方の、1回あたりの飲み代を比較すると、外での飲み代が平均6,159円に対し、自宅での飲み代が平均2,713円と、3,446円の開きがみられます。

設問：仕事が終わった後、一カ月で平均何回くらいお酒を飲みに行きますか？  
あなたの飲み代は平均すると一回いくらですか？

#### 男性社員

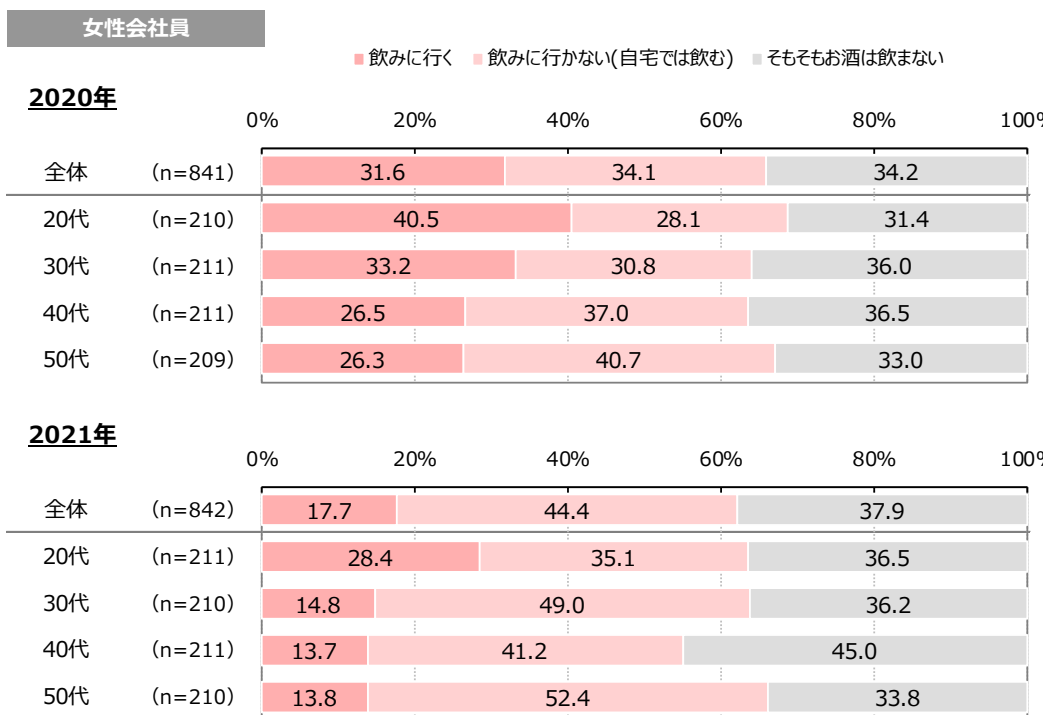


#### 1回の平均飲み代は・・・？

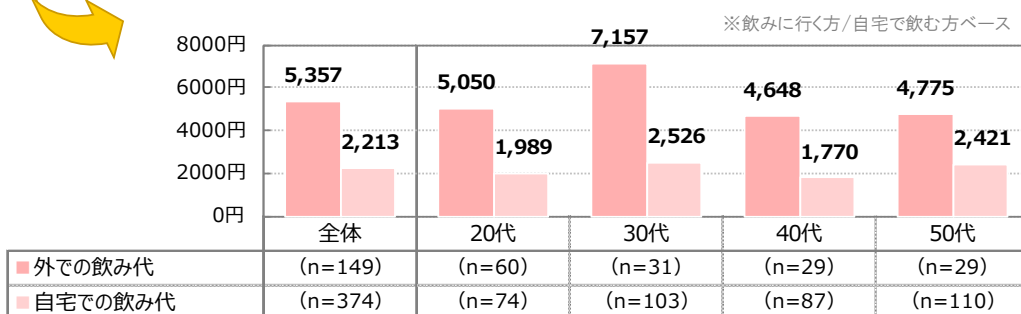


女性会社員の仕事終わりの飲酒状況は、「飲みに行く」が17.7%、外には飲みに行かないものの自宅では飲む、「飲みに行かない(自宅では飲む)」は44.4%を占めており、飲酒している方は62.1%となっています。昨年と比較すると、「飲みに行く」は14pt減少したものの、「飲みに行かない(自宅では飲む)」は10pt増加しており、飲酒している方全体では4pt程度の減少にとどまっています。

外に飲みに行く方と自宅で飲む方の、1回あたりの飲み代をみると、外での飲み代が平均5,357円に対し、自宅での飲み代が平均2,213円と、3,144円の開きがみられます。また、年代別では、30代で外での飲み代が高い点の特徴です。



1回の平均飲み代は・・・？

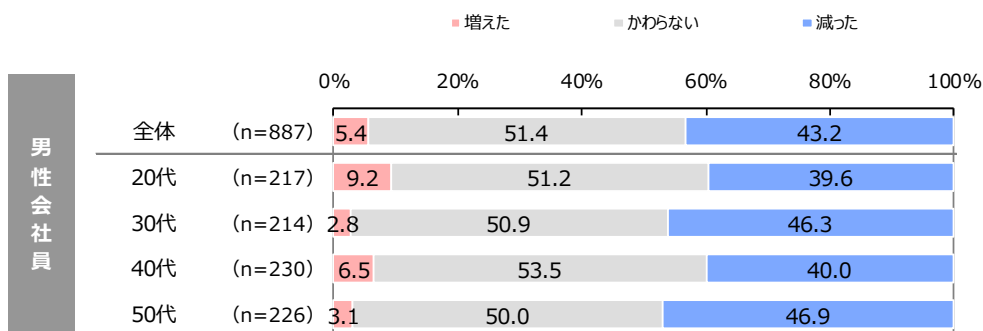


## ■ 飲み代の増減

男性社員における、飲み代の増減は、「減った」が43.2%となり、「増えた」の5.4%を大きく上回ります。どの年代でも「減った」が「増えた」を上回っており、特に30代と50代で「減った」と回答した方の割合が高くなっています。

※仕事後お酒を飲む方ベース

設問 あなたの飲み代は昨年(2020年4月頃)と比べて、どのように変化しましたか。

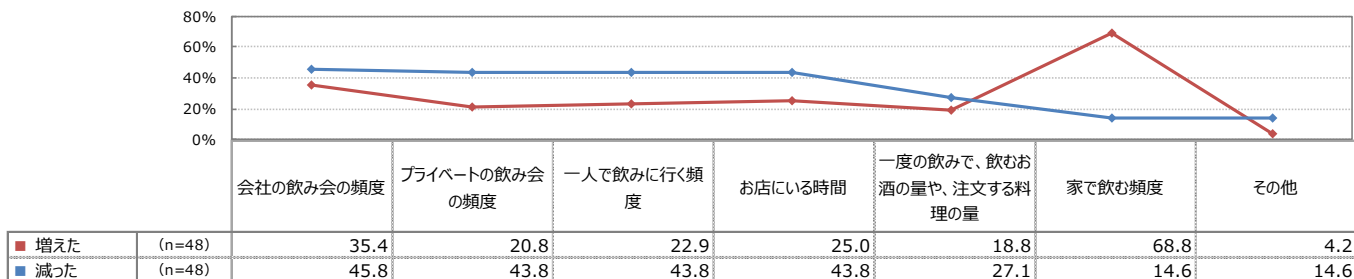


## ■ 飲み代の増加理由

飲み代の増加理由は、「会社の飲み会の頻度」「プライベートの飲み会の頻度」「一人で飲みに行く頻度」のいずれも減少していますが、「家で飲む頻度」の増加が飲み代の増加理由となっていると考えられます。

※飲み代が増加した方ベース

設問：前問で飲み代が昨年(2020年4月頃)と比べて増えた方にお伺いします。以下に関する頻度や金額の増減についてそれぞれお答えください。

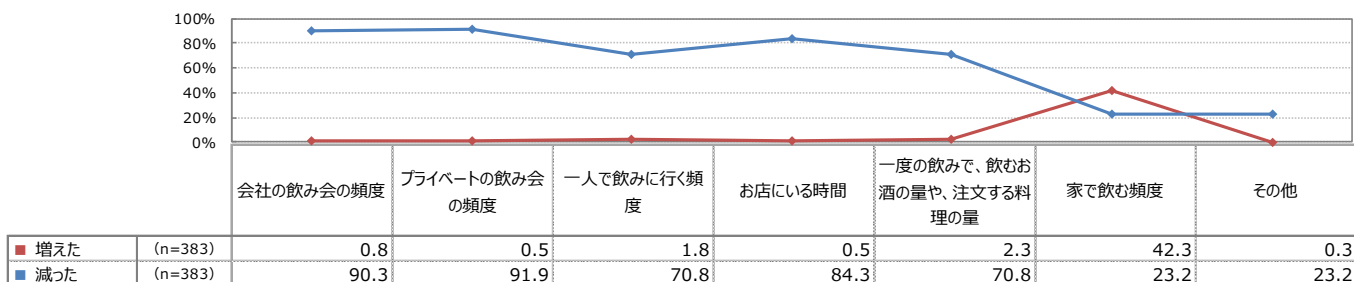


## ■ 飲み代の減少理由

飲み代の減少理由は、「会社の飲み会の頻度」「プライベートの飲み会の頻度」「一人で飲みに行く頻度」がいずれも減少しており、「お店にいる時間」「一度の飲みで、飲むお酒の量や、注文する料理の量」も減少していることが、飲み代の減少理由と考えられます。

※飲み代が減少した方ベース

設問：前問で飲み代が昨年(2020年4月頃)と比べて減った方にお伺いします。以下に関する頻度や金額の増減についてそれぞれお答えください。





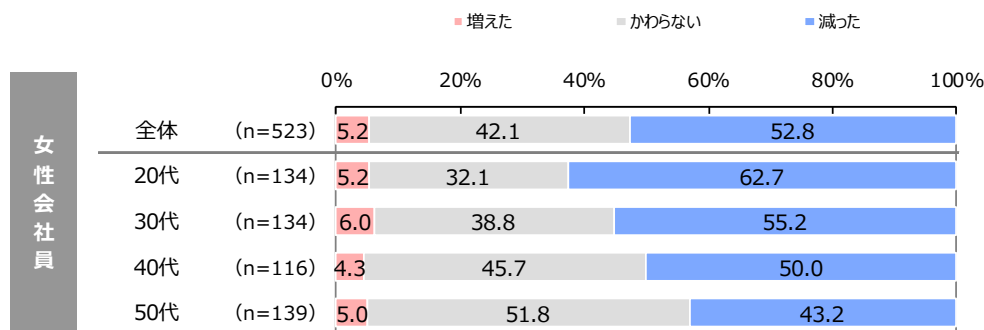
## ■ 飲み代の増減

女性社員における、飲み代の増減は、「減った」が52.8%となり、「増えた」の5.2%を大きく上回ります。男性社員と比べて「減った」が10pt高い点が特徴となっています。

女性社員は年代が低いほど「減った」との回答が多くなり、20代で62.7%と最も高くなっています。

※仕事後お酒を飲む方ベース

設問：あなたの飲み代は昨年(2020年4月頃)と比べて、どのように変化しましたか。

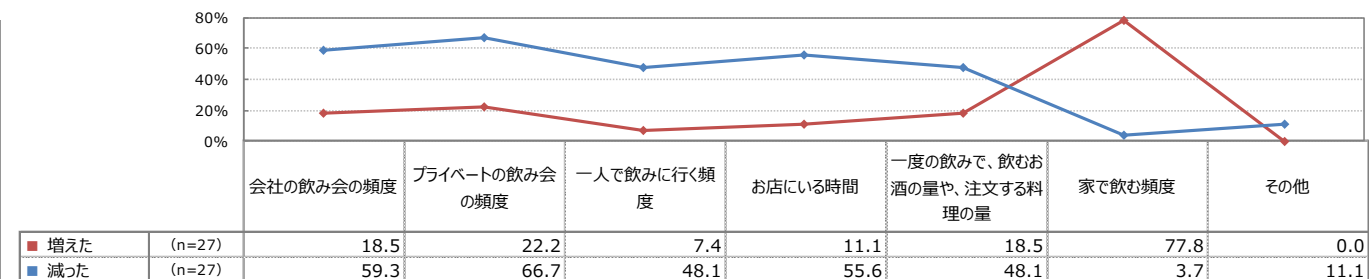


## ■ 飲み代の増加理由

飲み代の増加理由は、「プライベートの飲み会の頻度」「会社の飲み会の頻度」「一人で飲みに行く頻度」のいずれも減少していますが、「家で飲む頻度」の増加が飲み代の増加理由となっていると考えられます。

※飲み代が増加した方ベース

設問：前問で飲み代が昨年(2020年4月頃)と比べて増えた方にお伺いします。以下に関する頻度や金額の増減についてそれぞれお答えください。

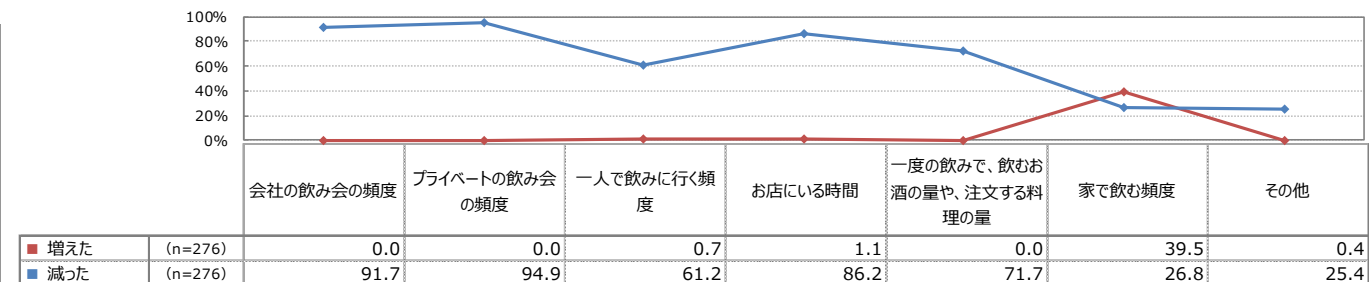


## ■ 飲み代の減少理由

飲み代の減少理由については、「プライベートの飲み会の頻度」「会社の飲み会の頻度」「一人で飲みに行く頻度」がいずれも減少しており、「お店にいる時間」「一度の飲みで、飲むお酒の量や、注文する料理の量」も減少していることが、飲み代の減少理由と考えられます。

※飲み代が減少した方ベース

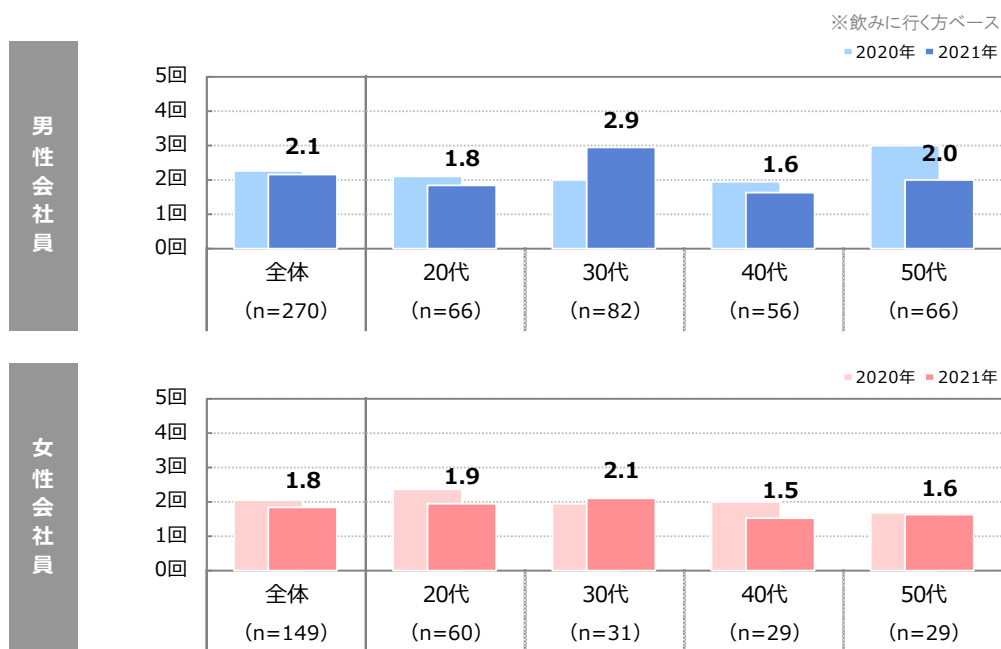
設問：前問で飲み代が昨年(2020年4月頃)と比べて減った方にお伺いします。以下に関する頻度や金額の増減についてそれぞれお答えください。



■ 1カ月の飲み回数 ※飲みに行く方/自宅で飲む方ベース

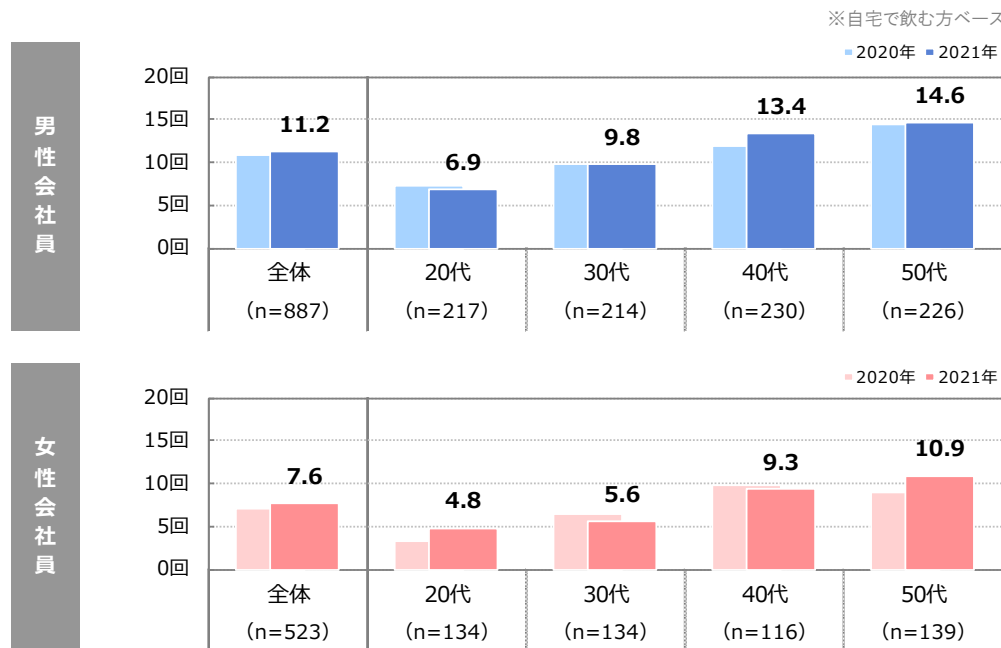
男性社員の1カ月の平均外飲み回数は2.1回、女性社員は1.8回と、どちらも昨年からやや減少しました。年代別にみると、男性社員は、唯一、30代で飲み回数が増加しておりますが、その他の年代ではいずれも減少しています。また、女性社員も同様の傾向となっており、30代のみ僅かながら増加しています。

設問：仕事が終わった後、一ヶ月で平均何回くらいお酒を飲みに行きますか？



1ヶ月の自宅での飲みの回数の平均は、男性社員が11.2回、女性社員が7.6回と、昨年より増加しています。年代別にみると、年代とともに自宅で飲む回数が増加する傾向となっています。

設問：1ヶ月あたり平均何回くらい自宅でお酒を飲みますか？

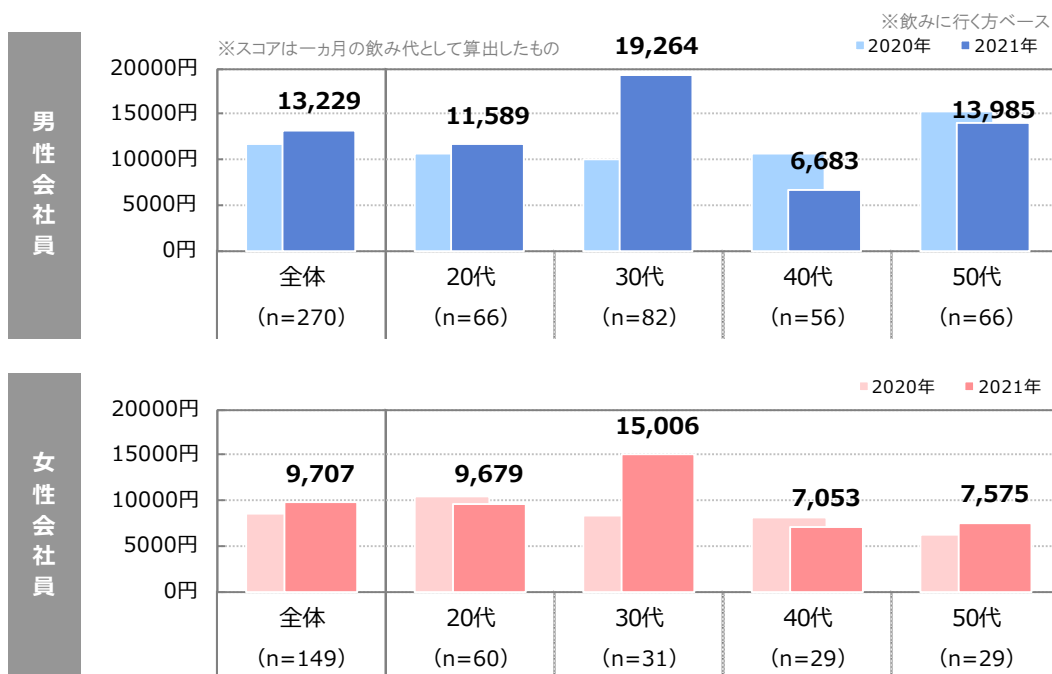


■ 1カ月の飲み代 ※飲みに行く方ベース

1回の飲み代と1カ月の飲み回数から算出した男性会社員の1カ月の飲み代は、昨年より1,609円増加し、13,229円となりました。年代別にみると、30代では大幅に増加している点が特徴となっています。

女性会社員は、男性会社員より3,522円少ない、9,707円という結果となりました。年代別にみると、男性会社員と同様に30代で昨年より大幅に増加している点が特徴的です。

設問：仕事が終わった後、一ヶ月で平均何回くらいお酒を飲みに行きますか？  
あなたの飲み代は平均すると一回いくらですか？



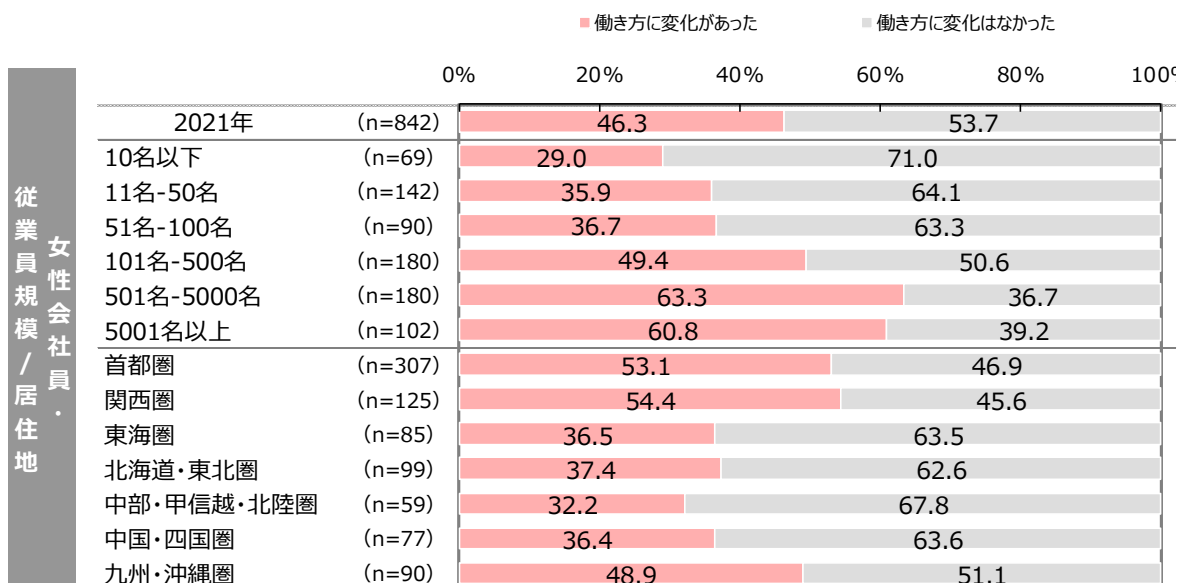
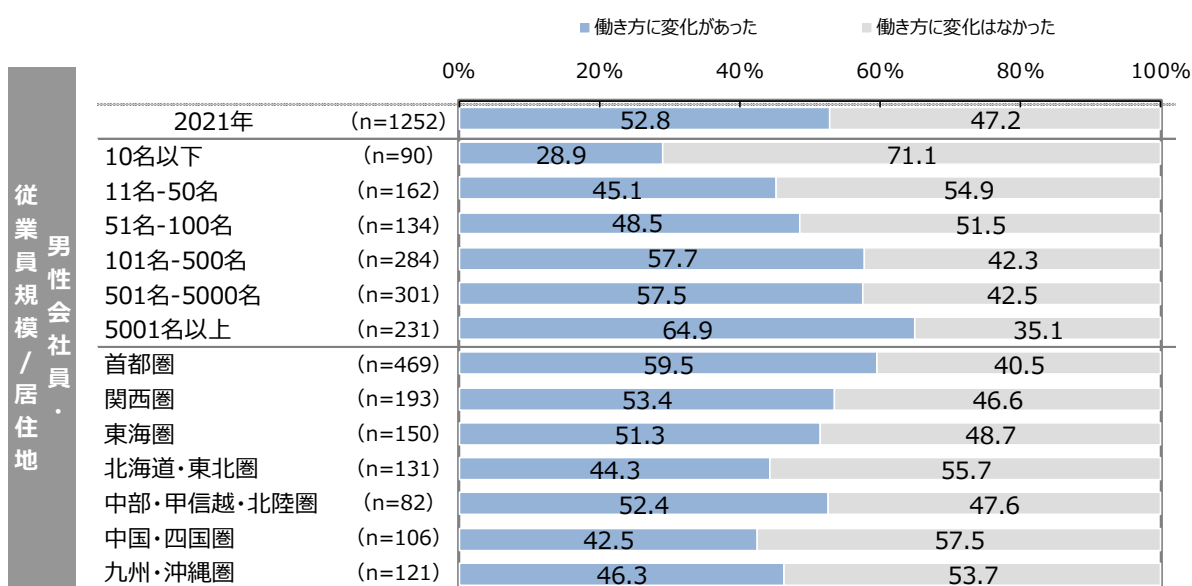
## 【4】新型コロナウイルスの影響による働き方の変化

- 働き方変化の有無は、「変化があった」が男性会社員で52.8%、女性会社員で46.3%となる。男性で従業員規模が101名以上、女性で501名以上で「変化があった」が5割後半～6割台と高め
- 男性・女性会社員の働き方変化の内容は同じで、「残業が減った」と「テレワークで働くようになった」が上位に
- 新型コロナウイルスの影響で支出が増えたものは、男性会社員は「水道・光熱費」34.0%、「テレワーク関連費」20.9%、「子どもの教育費」20.1%、女性会社員は「水道・光熱費」44.4%、「食費」26.4%、「子どもの教育費」25.8%と続く

### ■ 働き方変化の有無

男性会社員において、働き方変化の有無は「変化があった」が52.8%と半数を超えます。また、女性会社員においては46.3%と男性よりは低いスコアとなっています。どちらも従業員規模が大きくなるほど、「変化があった」のスコアが高くなる傾向です。

設問：あなたのお勤め先の、新型コロナウイルスの影響による働き方の変化にあてはまるものをお選びください。



## ■ 働き方変化の内容

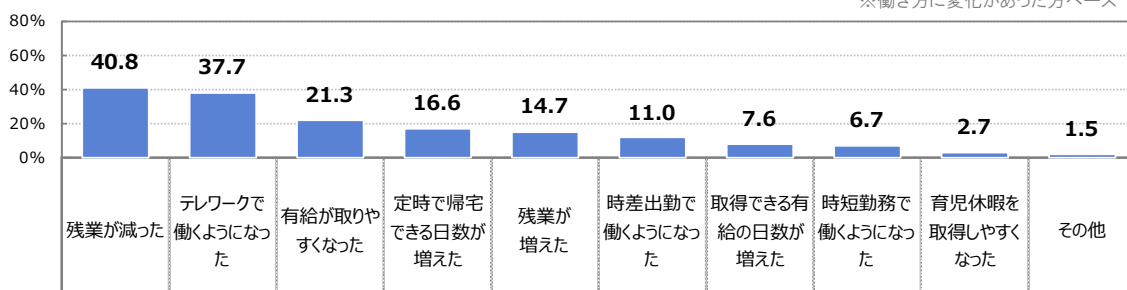
男性社員の働き方変化の内容は、「残業が減った」が40.8%で最も高く、「テレワークで働くようになった」37.7%、「有給がとりやすくなった」21.3%が続きます。「テレワークで働くようになった」については、従業員規模が大きいほどスコアが高くなる傾向で、501名以上では5割前後と高くなっています。また、首都圏でもスコアが高い傾向が見られます。

女性社員の働き方変化の内容は、男性社員と同様、「テレワークで働くようになった」39.2%、「残業が減った」34.9%が上位となっております。「テレワークで働くようになった」については、男性同様に従業員規模が大きいほどスコアが高くなる傾向で、501名以上では4割以上と高くなっています。また、首都圏でもスコアが高い傾向が見られます。

設問：あなたのお勤め先の、新型コロナウイルスの影響による働き方の変化にあてはまるものをお選びください。

### 男性社員

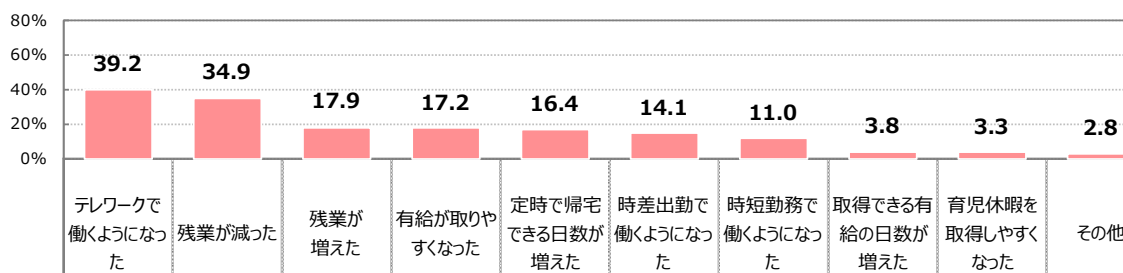
※働き方に変化があった方ベース



属性	人数 (n)	残業が減った	テレワークで働くようになった	有給が取りやすくなった	定時で帰宅できる日数が増えた	残業が増えた	時差出勤で働くようになった	取得できる有給の日数が増えた	時短勤務で働くようになった	育児休暇を取得しやすくなった	その他
2021年	(n=661)	40.8	37.7	21.3	16.6	14.7	11.0	7.6	6.7	2.7	1.5
従業員規模											
10名以下	(n=26)	30.8	11.5	26.9	34.6	15.4	7.7	-	15.4	-	-
11名-50名	(n=73)	52.1	19.2	27.4	17.8	11.0	6.8	4.1	12.3	4.1	5.5
51名-100名	(n=65)	43.1	16.9	27.7	7.7	20.0	6.2	4.6	1.5	-	3.1
101名-500名	(n=164)	38.4	32.9	18.9	17.1	17.7	11.6	11.0	6.7	3.0	1.2
501名-5000名	(n=173)	36.4	53.2	17.9	16.8	14.5	16.8	8.1	6.9	1.2	-
5001名以上	(n=150)	43.3	49.3	22.0	15.3	10.7	9.3	8.0	4.7	5.3	0.7
居住地											
首都圏	(n=279)	39.8	52.7	19.4	15.4	8.6	15.4	3.6	7.5	1.4	0.7
関西圏	(n=103)	47.6	37.9	18.4	14.6	9.7	13.6	9.7	9.7	1.0	1.9
東海圏	(n=77)	46.8	27.3	19.5	20.8	22.1	6.5	7.8	6.5	2.6	-
北海道・東北圏	(n=58)	27.6	19.0	27.6	13.8	22.4	3.4	17.2	1.7	5.2	3.4
中部・甲信越・北陸圏	(n=43)	44.2	9.3	34.9	18.6	23.3	2.3	9.3	4.7	9.3	2.3
中国・四国圏	(n=45)	37.8	22.2	17.8	8.9	26.7	6.7	6.7	2.2	2.2	4.4
九州・沖縄圏	(n=56)	39.3	30.4	25.0	28.6	19.6	8.9	12.5	7.1	5.4	1.8

■ 全体+10pt, ■ 全体+5pt, ■ 全体-5pt, ■ 全体-10pt

### 女性社員



属性	人数 (n)	テレワークで働くようになった	残業が減った	残業が増えた	有給が取りやすくなった	定時で帰宅できる日数が増えた	時差出勤で働くようになった	時短勤務で働くようになった	取得できる有給の日数が増えた	育児休暇を取得しやすくなった	その他
2021年	(n=390)	39.2	34.9	17.9	17.2	16.4	14.1	11.0	3.8	3.3	2.8
従業員規模											
10名以下	(n=20)	35.0	30.0	10.0	5.0	20.0	15.0	15.0	-	5.0	5.0
11名-50名	(n=51)	27.5	31.4	13.7	11.8	17.6	15.7	11.8	-	3.9	9.8
51名-100名	(n=33)	30.3	33.3	18.2	18.2	12.1	3.0	18.2	3.0	3.0	3.0
101名-500名	(n=89)	37.1	36.0	21.3	25.8	14.6	11.2	11.2	3.4	1.1	1.1
501名-5000名	(n=114)	43.0	36.0	20.2	18.4	19.3	19.3	9.6	8.8	4.4	-
5001名以上	(n=62)	53.2	33.9	16.1	11.3	14.5	16.1	8.1	1.6	1.6	4.8
居住地											
首都圏	(n=163)	54.6	30.1	19.6	15.3	15.3	19.6	11.7	2.5	3.1	0.6
関西圏	(n=68)	30.9	36.8	13.2	14.7	19.1	19.1	17.6	2.9	2.9	4.4
東海圏	(n=31)	29.0	29.0	19.4	19.4	3.2	6.5	9.7	3.2	9.7	3.2
北海道・東北圏	(n=37)	24.3	43.2	21.6	18.9	21.6	16.2	10.8	2.7	-	-
中部・甲信越・北陸圏	(n=19)	36.8	36.8	15.8	26.3	15.8	-	5.3	5.3	5.3	5.3
中国・四国圏	(n=28)	21.4	42.9	10.7	28.6	14.3	-	7.1	7.1	7.1	10.7
九州・沖縄圏	(n=44)	27.3	40.9	20.5	13.6	22.7	4.5	4.5	9.1	-	4.5

■ 全体+10pt, ■ 全体+5pt, ■ 全体-5pt, ■ 全体-10pt

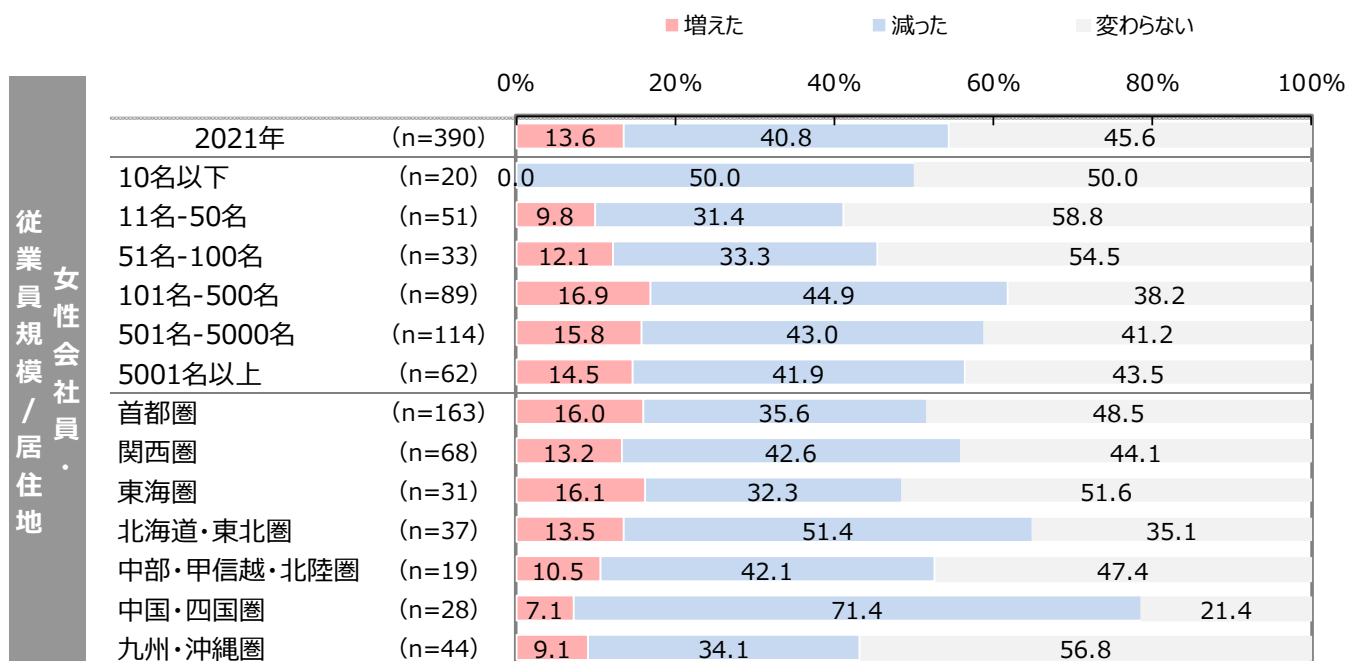
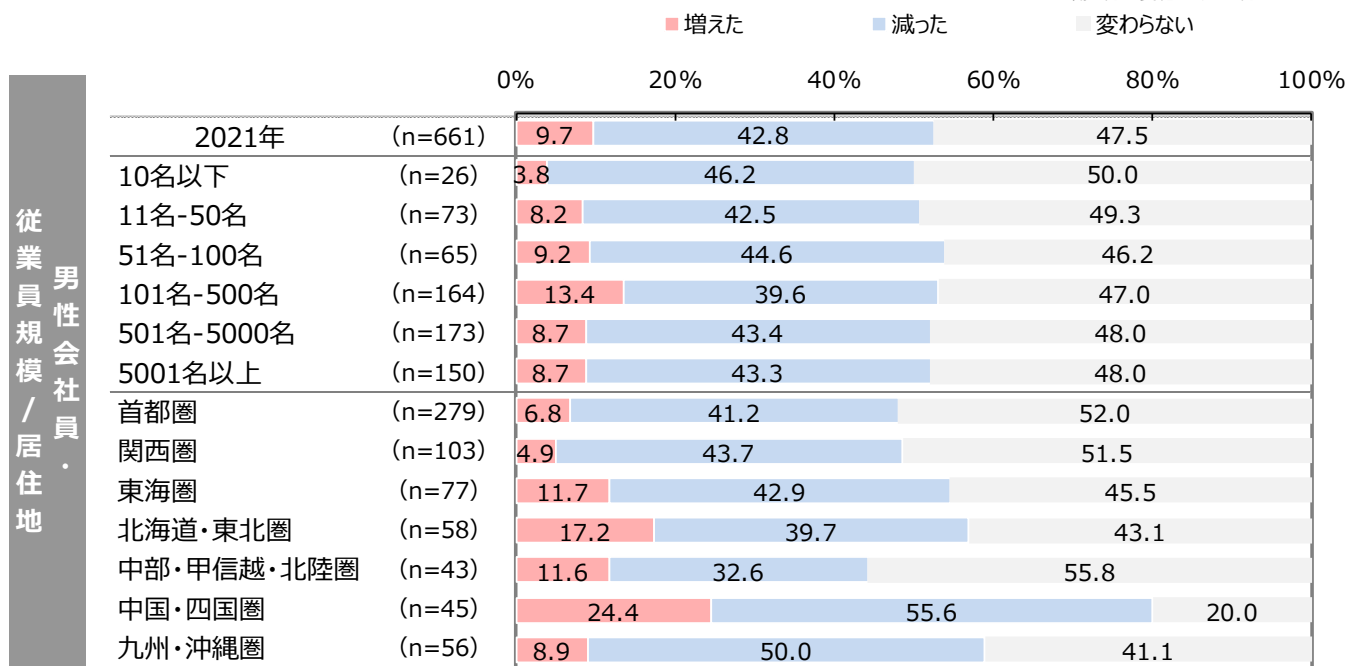
## ■ 残業代の変化

男性社員において、残業代の変化は「変わらない」が47.5%と最も多くなっており、「減った」が42.8%となっています。従業員規模別で見ても、大きな差はなく、「変わらない」が5割弱、「減った」が4割前後となっています。

女性社員においても「変わらない」が45.6%と最も多く、「減った」が40.8%となっています。なお、「増えた」が13.6%と、男性社員よりやや多い点が特徴となっています。

設問：新型コロナウイルスの影響により、以下の項目の支出や残業代に変化はありましたか。【残業代】

※働き方に変化があった方ベース



## ■ 新型コロナウイルスの影響による支出変化

男性社員の新型コロナウイルスの影響による支出の変化を見ると、支出が増えたものは、「水道光熱費」が34.0%で最も高く、「テレワーク関連費」20.9%、「子どもの教育関連の費用」20.1%が続きます。「テレワーク関連費」は、従業員が501名以上や、首都圏、関西圏、東海圏において、2割半ばと他のエリアより高くなっている点が特徴となっています。

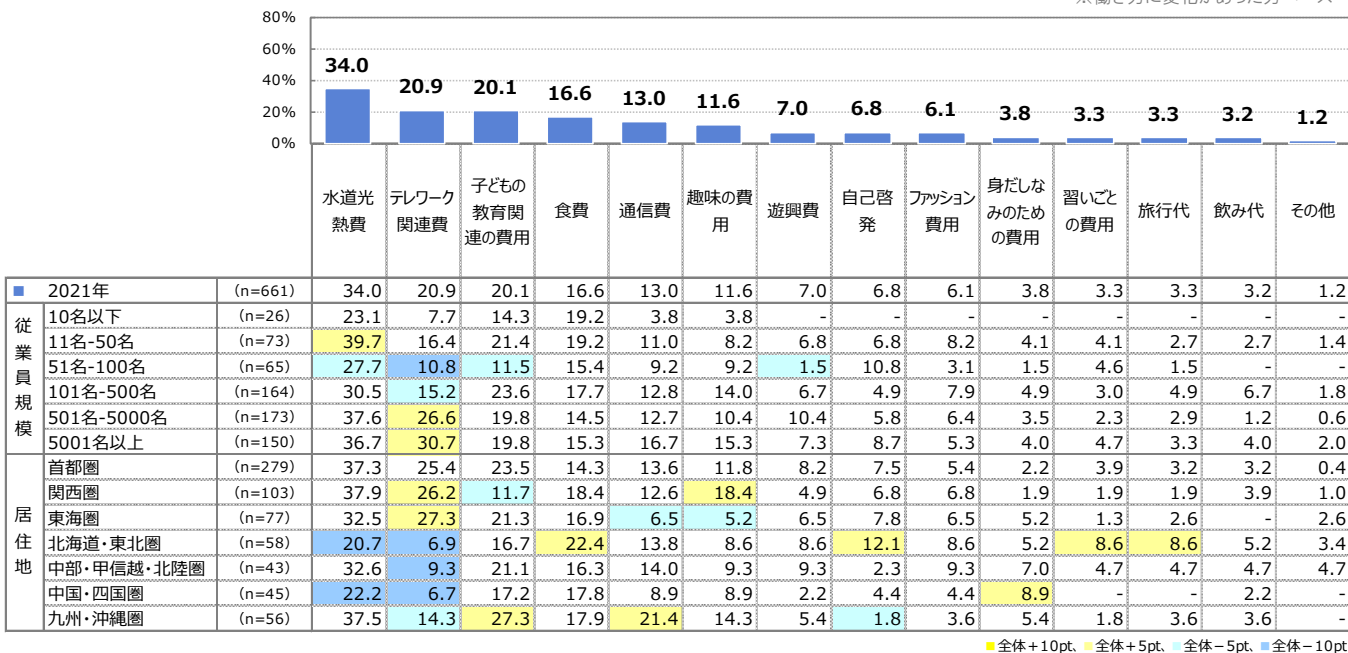
一方、支出が減ったものは、「旅行代」63.8%、「飲み代」63.2%が上位を占めます。次いで、「ファッション費用」42.4%、「身だしなみのための費用」36.2%が続きます。

設問：新型コロナウイルスの影響により、以下の項目の支出や残業代に変化はありましたか。

### ■ 支出増えたもの

男性社員

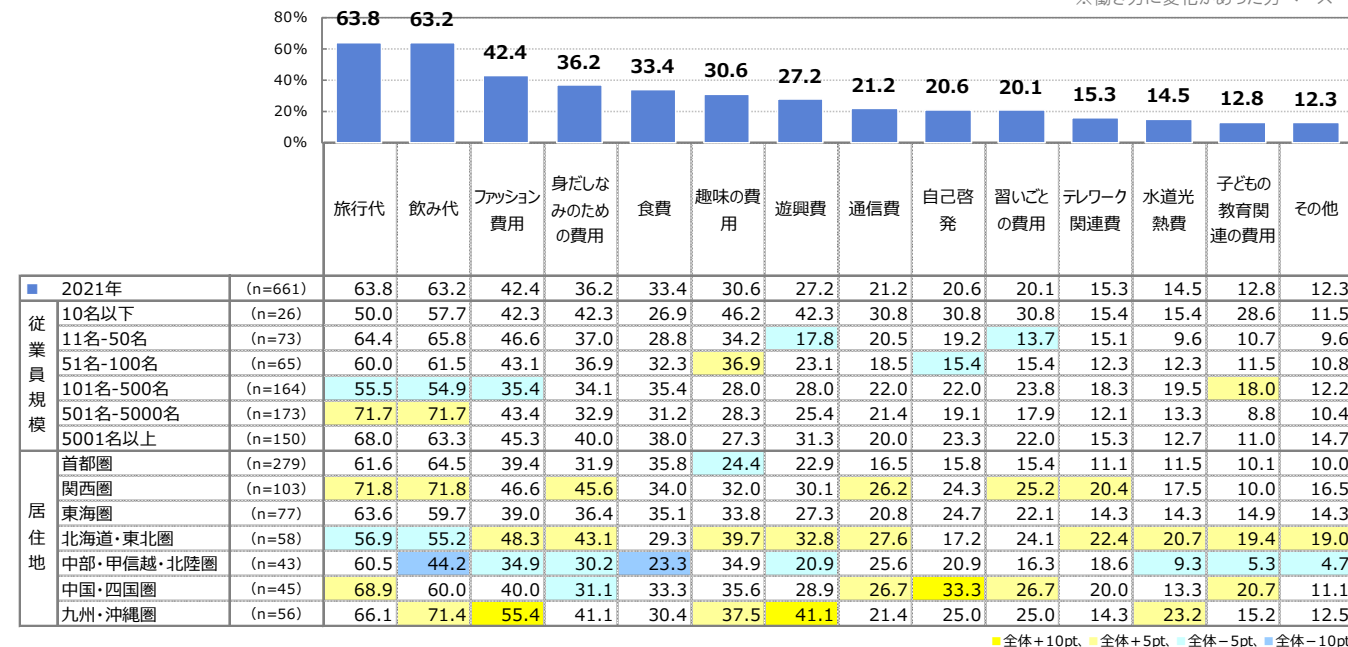
※働き方に変化があった方ベース



### ■ 支出減ったもの

男性社員

※働き方に変化があった方ベース





女性会社員の残業代の変化による支出の変化を見ると、支出が増えたものは、男性社員と同様、「水道光熱費」が44.4%で最も高く、「食費」26.4%、「子どもの教育関連の費用」25.8%、「テレワーク関連費」20.5%が続きます。

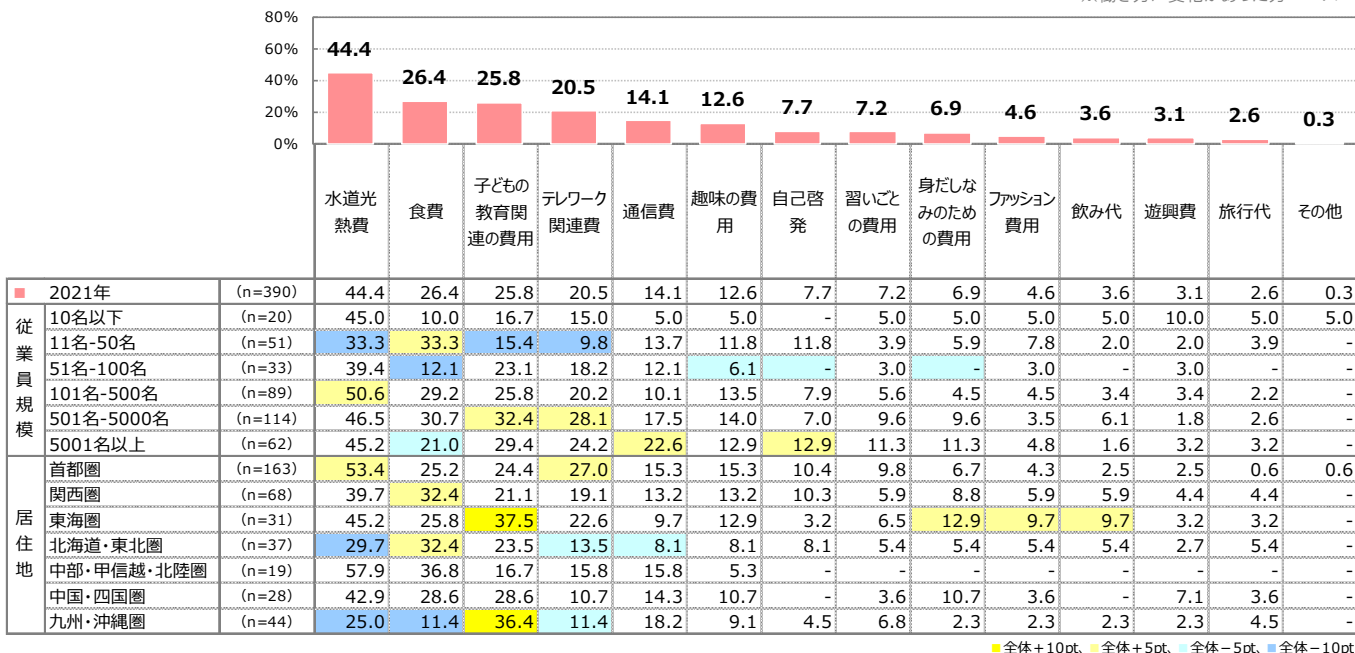
一方、支出が減ったものは、「旅行代」が70.5%で最も高く、「飲み代」64.1%、「ファッション費用」62.8%が6割以上で続きます。

設問：新型コロナウイルスの影響により、以下の項目の支出や残業代に変化はありましたか。

■ 支出増えたもの

女性会社員

※働き方に変化があった方ベース

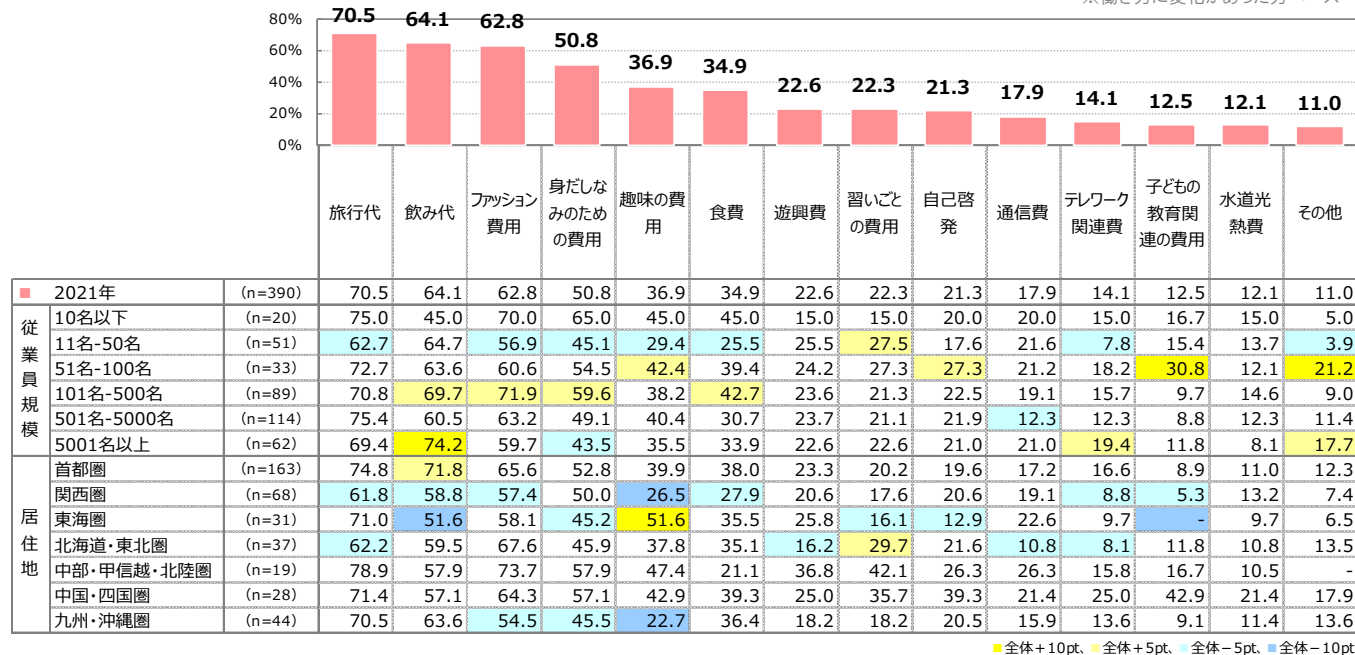


■全体+10pt. ■全体+5pt. ■全体-5pt. ■全体-10pt

■ 支出減ったもの

女性会社員

※働き方に変化があった方ベース



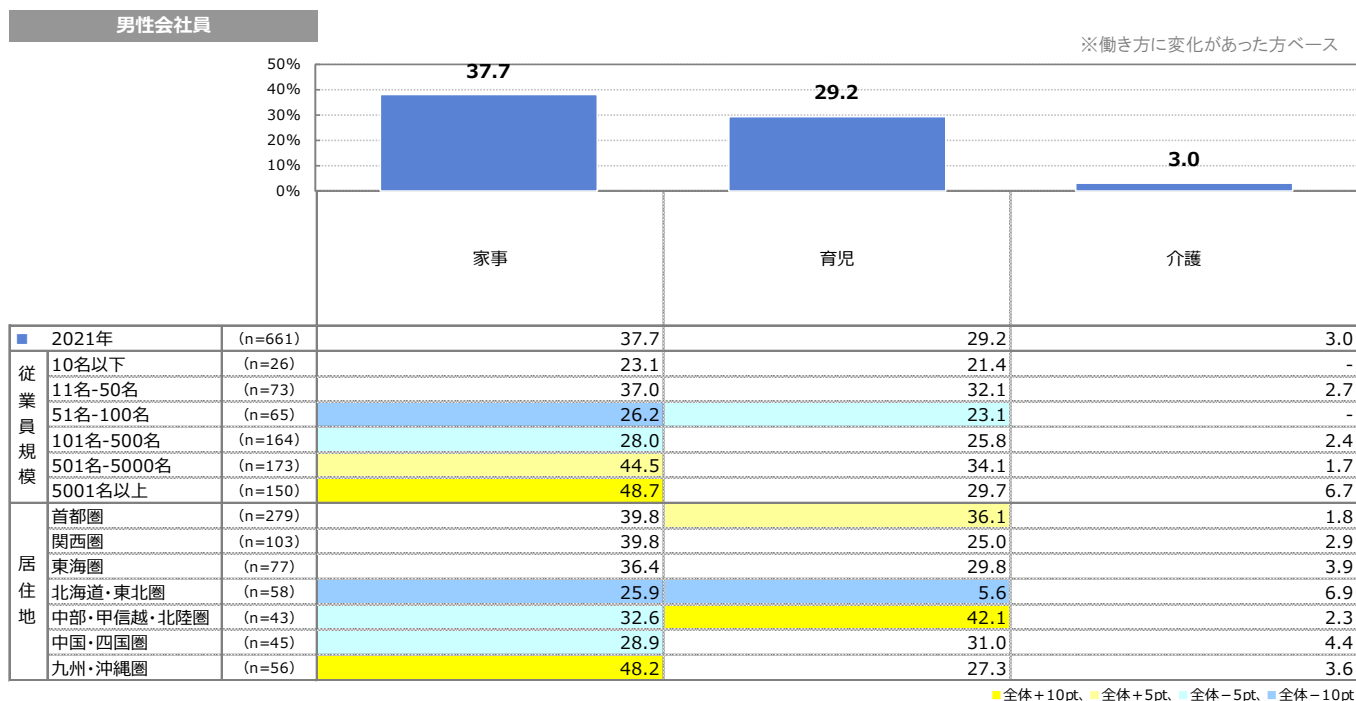
■全体+10pt. ■全体+5pt. ■全体-5pt. ■全体-10pt

## ■ 働き方の変化による時間の使い方の変化

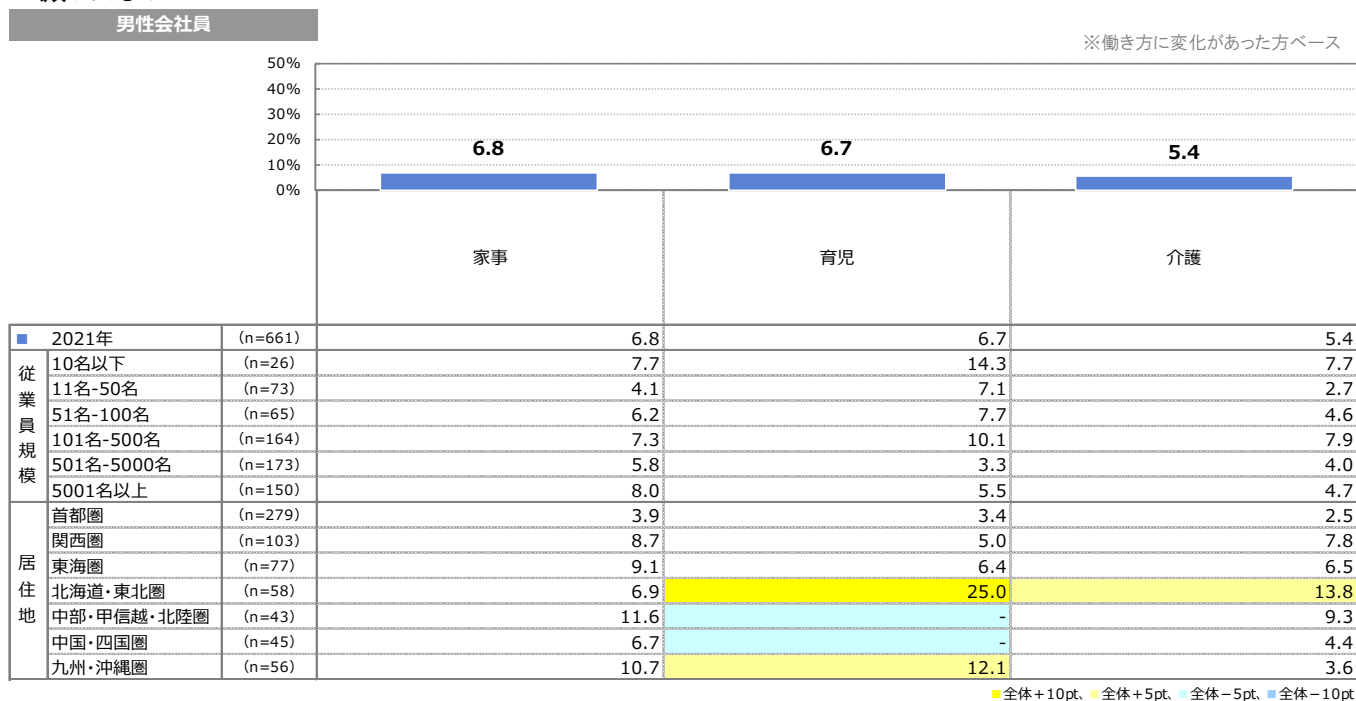
男性社員の働き方の変化による時間の使い方の変化を見ると、増えたものは、「家事」が37.7%と最も高くなっています。次いで、「育児」が29.2%です。特にテレワーク率が高めの従業員規模501名以上で「家事」のスコアが高くなっている点が特徴となっています。一方、減ったものは、いずれも1割未満にとどまっています。

## ■ 増えたもの

設問：働き方の変化により、以下の項目への時間の使い方に変化はありましたか。



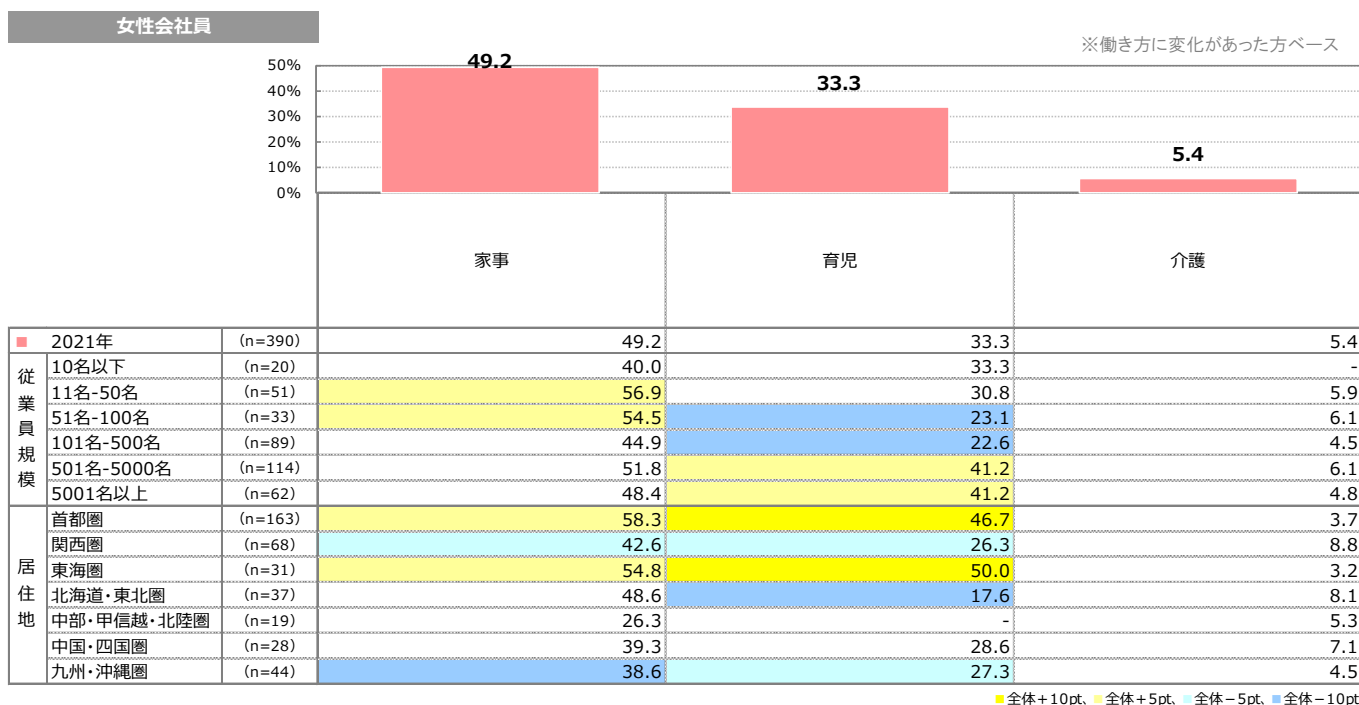
## ■ 減ったもの



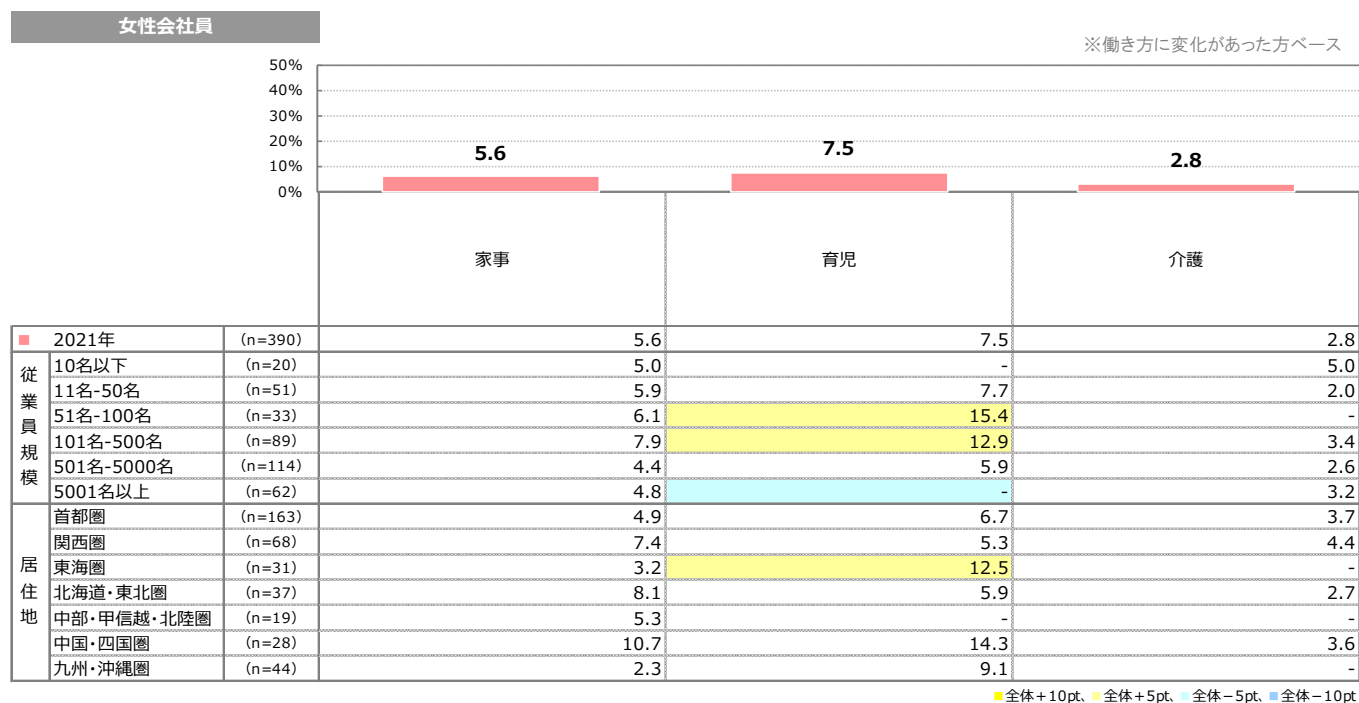
女性社員の働き方の変化による時間の使い方の変化を見ると、増えたものは、「家事」が49.2%と最も高くなっています。次いで、「育児」が33.3%です。どちらも男性社員より高い点が特徴です。従業員規模501名以上では「育児」が4割以上と高くなっている点が特徴です。一方、減ったものは、いずれも1割未満にとどまっています。

## ■ 増えたもの

設問：働き方の変化により、以下の項目への時間の使い方に変化はありましたか。



## ■ 減ったもの



## ■ 新型コロナウイルスの影響による支出や残業代の変化

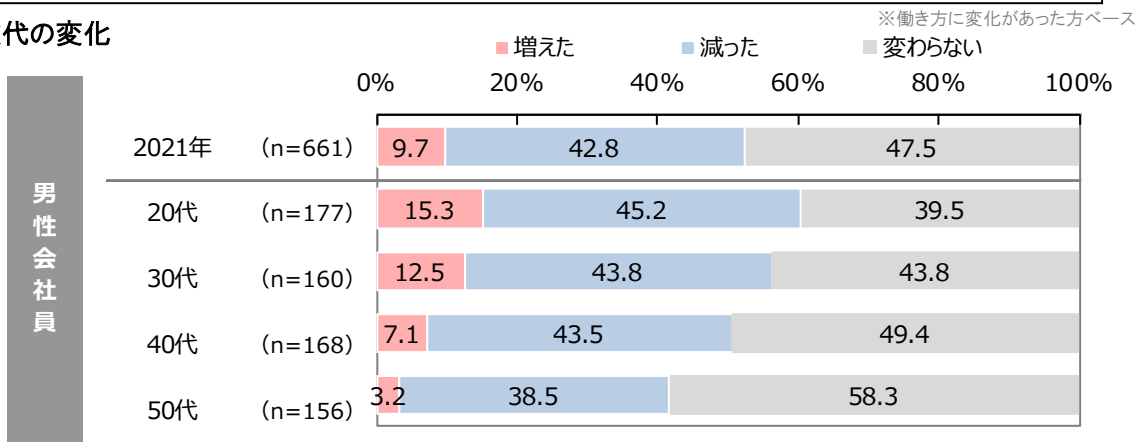
次に、働き方に変化があった方の、働き方の変化による支出や残業代への影響をみていきます。

まず、残業代の変化については、男性社員では、42.8%の方が、「減った」と回答しており、「増えた」との回答は1割未満にとどまります。「増えた」との回答は少ないものの若年層ほど高い傾向となっています。

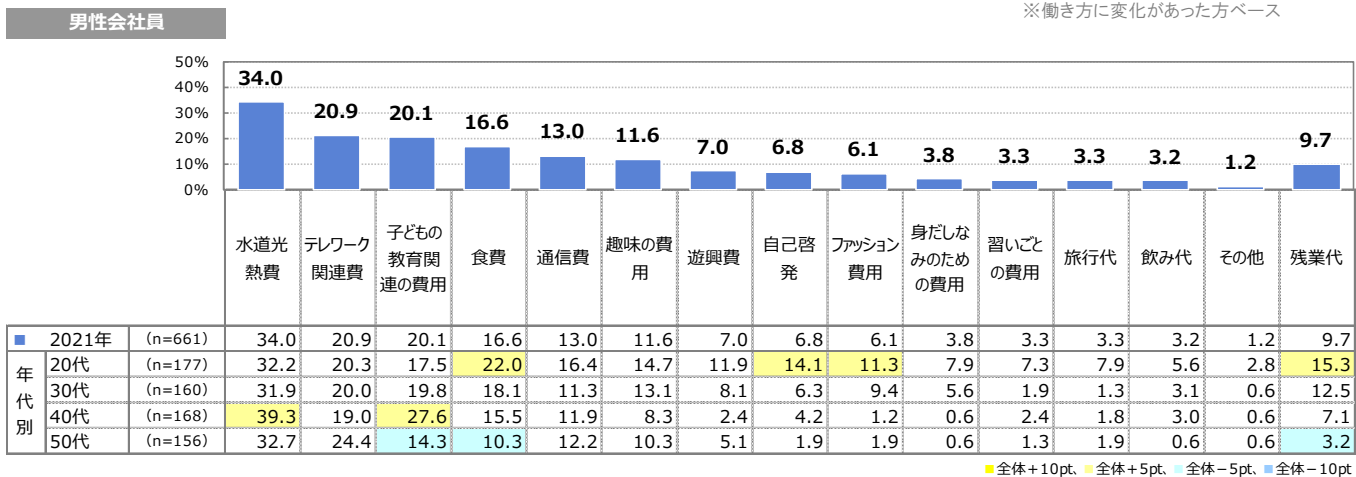
支出が増えたものは、「水道光熱費」が34.0%で最も高く、「テレワーク関連費」20.9%、「子供の教育関連の費用」20.1%と続いています。一方、支出が減ったものは、「旅行代」「飲み代」が6割以上と突出しており、「ファッション費用」42.4%、「身だしなみのための費用」36.2%と続いています。

設問：新型コロナウイルスの影響により、以下の項目の支出や残業代に変化はありましたか。

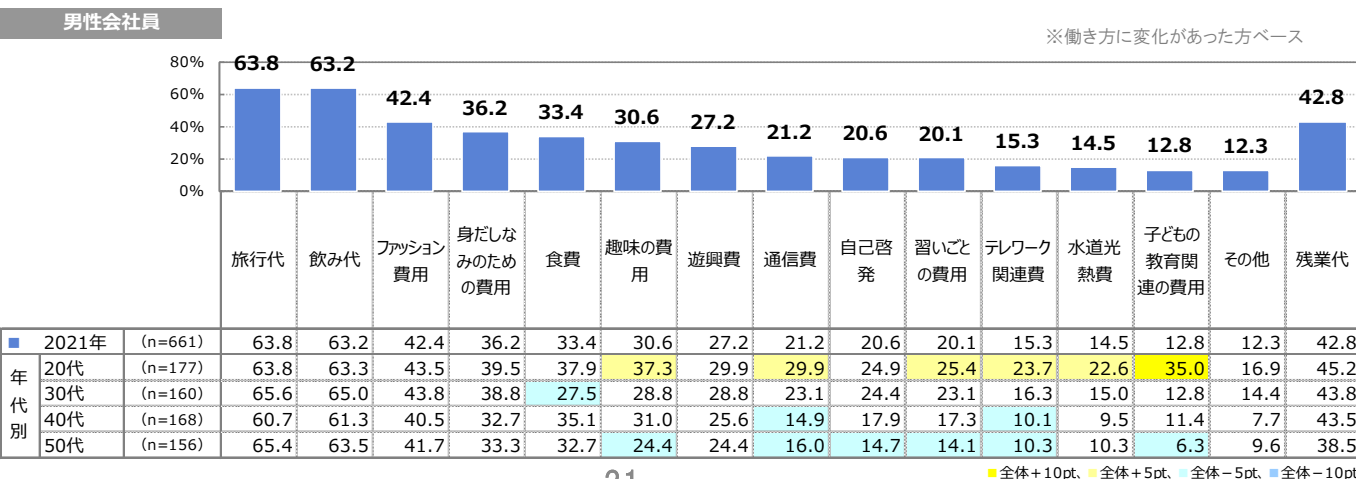
### ■ 残業代の変化



### ■ 支出が増えたもの



### ■ 支出が減ったもの

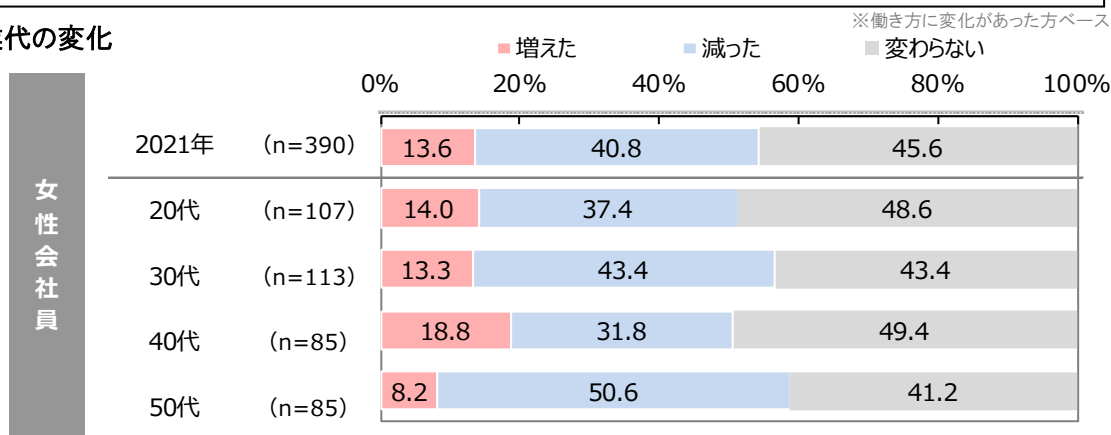


女性社員では、残業代の変化については、40.8%の方が、「減った」と回答しており、「増えた」との回答は1割強にとどまります。

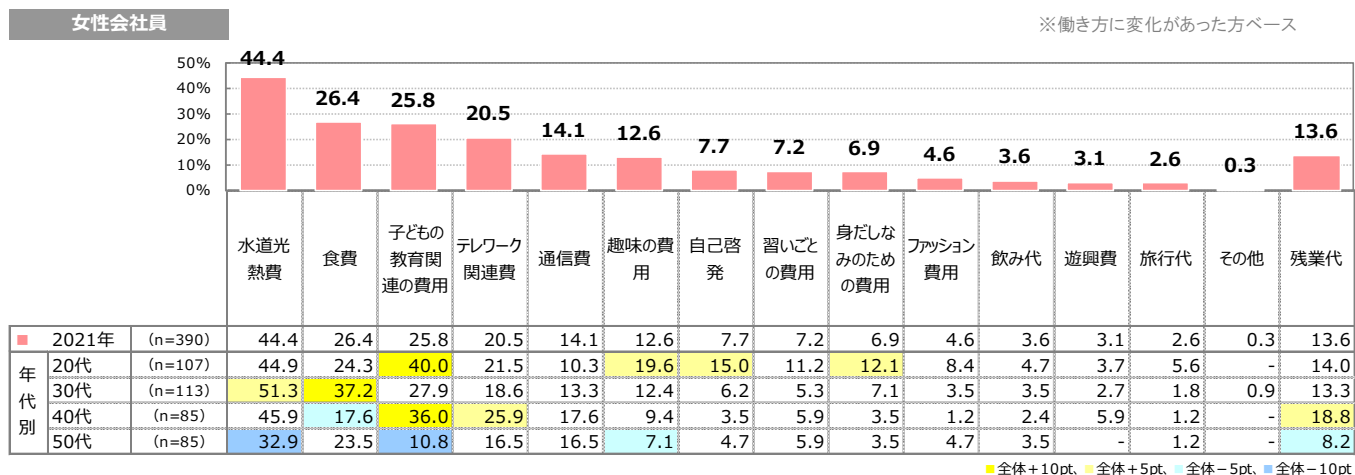
支出が増えたものは、「水道光熱費」が44.4%で最も高く、「食費」26.4%、「子供の教育関連の費用」25.8%、「テレワーク関連費」20.5%と続いています。一方、支出が減ったものは、「旅行代」が70.5%と最も高く、「飲み代」64.1%、「ファッション費用」62.8%、「身だしなみのための費用」50.8%と続いています。

設問：新型コロナウイルスの影響により、以下の項目の支出や残業代に変化はありましたか。

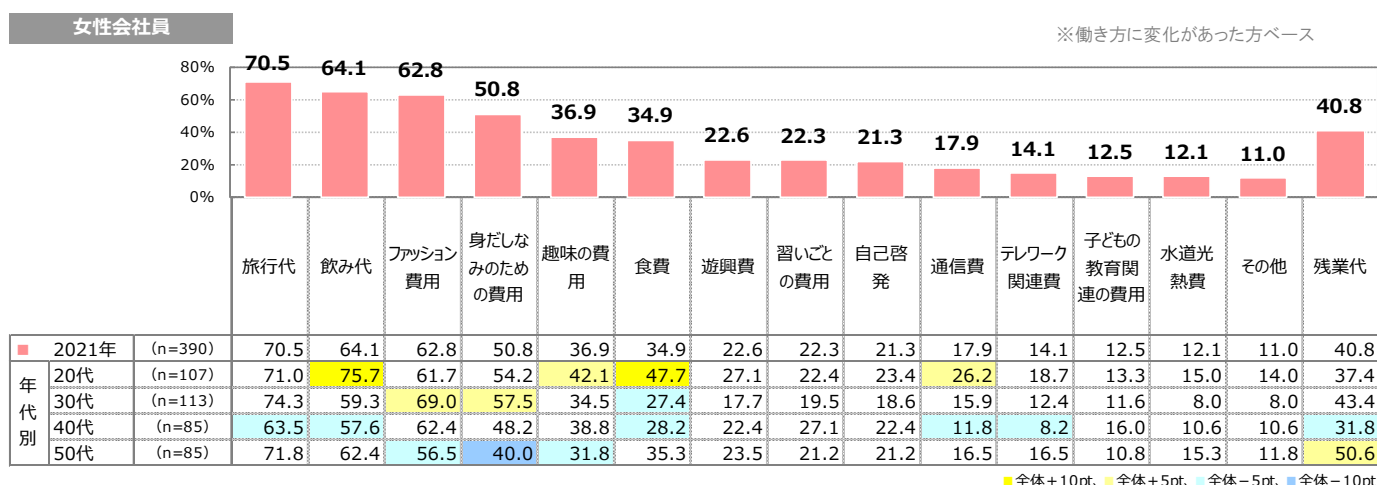
■ 残業代の変化



■ 支出が増えたもの



■ 支出が減ったもの



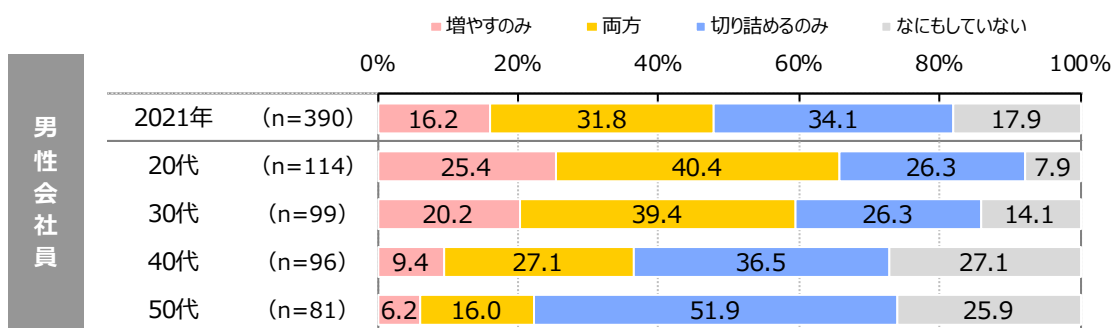
## ■ 支出が増えた分のまかない方

では、支出が増えた方は、増えた分のお金をどのようにして賅っているのでしょうか。

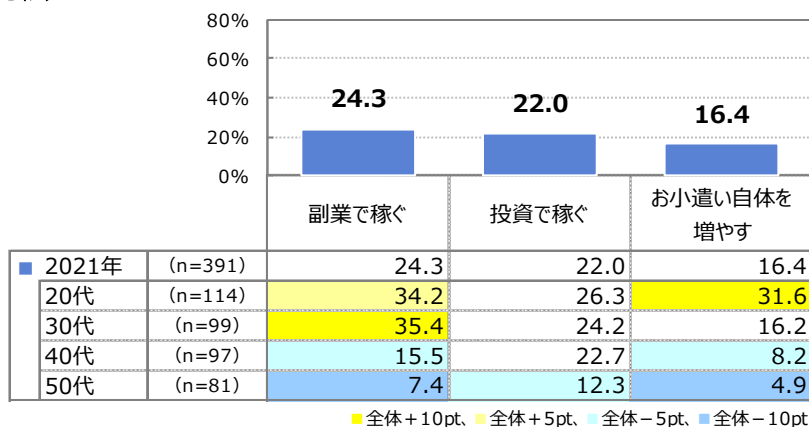
男性社員の支出が増えた分の賅い方は、お金を「増やすのみ」が16.2%、「両方」行っている方が31.8%、「切り詰めるのみ」が34.1%となっており、8割強の方が何かしらの行動をしています。お金を増やす方法では、「副業で稼ぐ」が24.3%で最も高く、30代以下で3割以上と高い点が特徴的です。一方、お金を切り詰める方法では、「食費」が36.8%で最も高く、「飲み代」が28.6%と続くことから、飲食代を切り詰める傾向がみられます。

設問：支出が増えた分を、どのように賅っていますか(賅う予定ですか)。

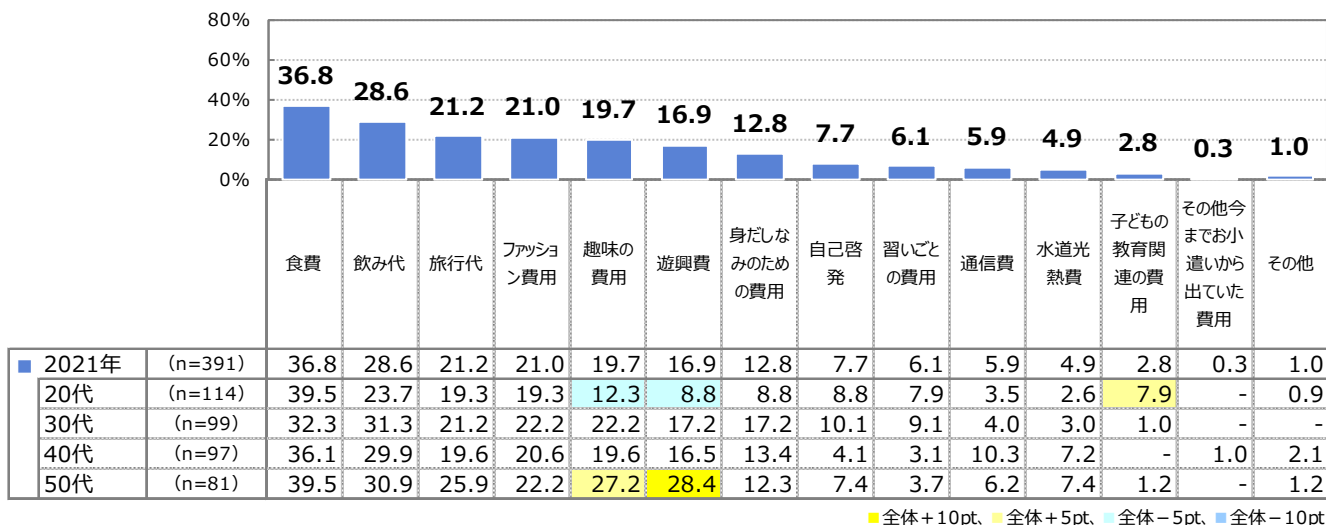
※無回答除く かつ 働き方に变化があった人ベース



## ■ お金を増やす方法



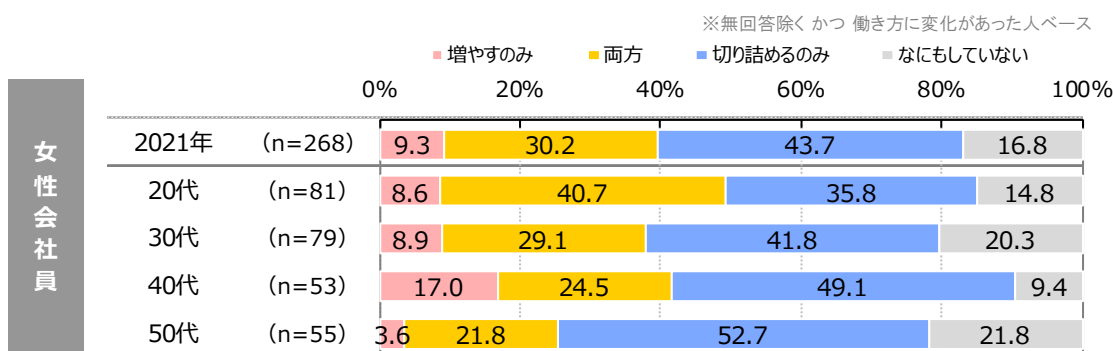
## ■ お金を切り詰める方法



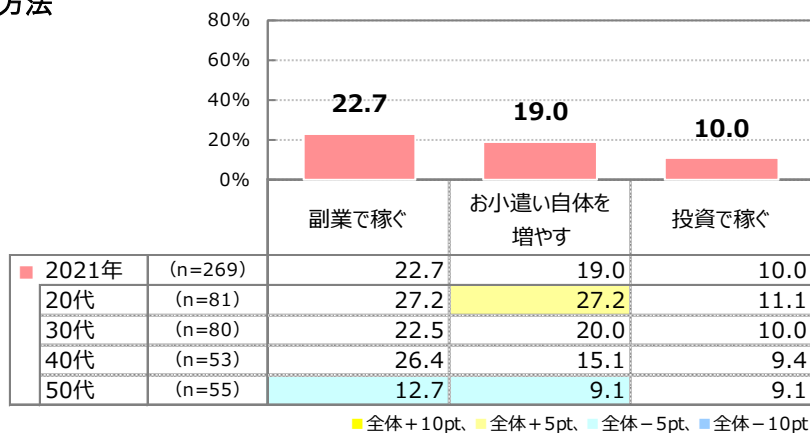
女性会社員では、「お金を増やすのみ」が9.3%、「両方」行っている方が30.2%、「お金を切り詰めるのみ」が43.7%となっており、男性会社員と比較して、「お金を切り詰める」方が多い傾向がみられます。

お金を増やす方法は、「副業で稼ぐ」が22.7%と最も高くなっています。また、「お小遣い自体を増やす」が若年層ほど高い点が特徴的です。一方、お金を切り詰める方法は、「ファッション費用」が46.5%で最も高く、「食費」43.1%、「身だしなみのための費用」32.7%と続きます。男性会社員と比較して、「ファッション」「身だしなみ」を切り詰める方が多い結果となっています。

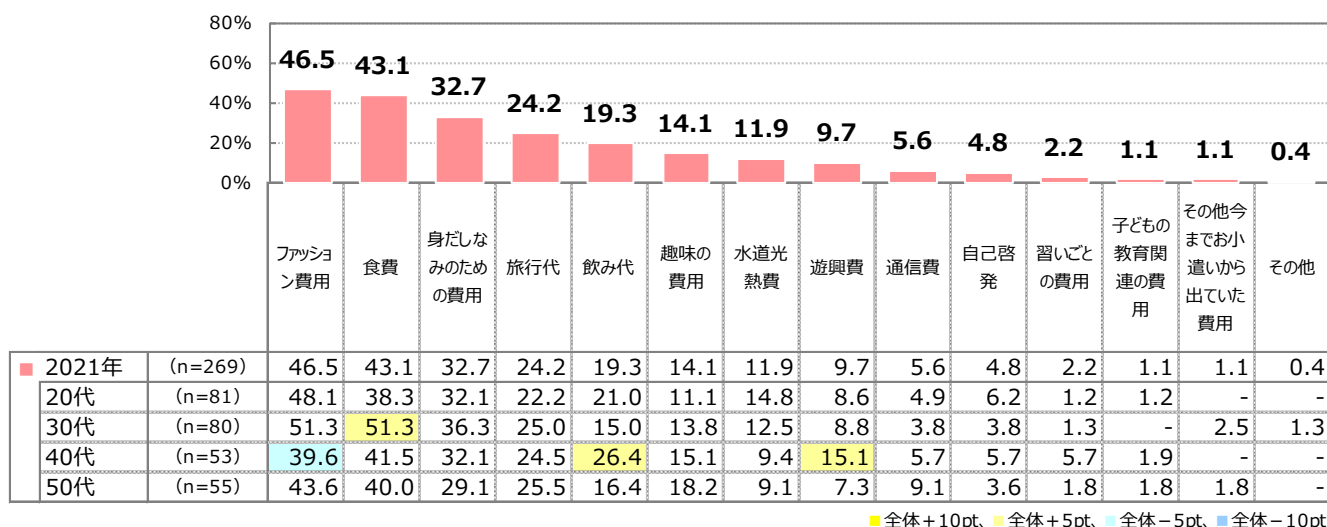
設問：支出が増えた分を、どのように賄っていますか(賄う予定ですか)。



### ■ お金を増やす方法



### ■ お金を切り詰める方法



※n=30未満は参考値として掲載



## 【5】 経済的なゆとり

- ▶ 経済的なゆとりについて、男性・女性会社員とも大きな変化はない
- ▶ お小遣い面からみて男性会社員の「ゆとりがある層」は、20代、30代がやや多く、若年層寄りで個人年収も全体より64万円高め

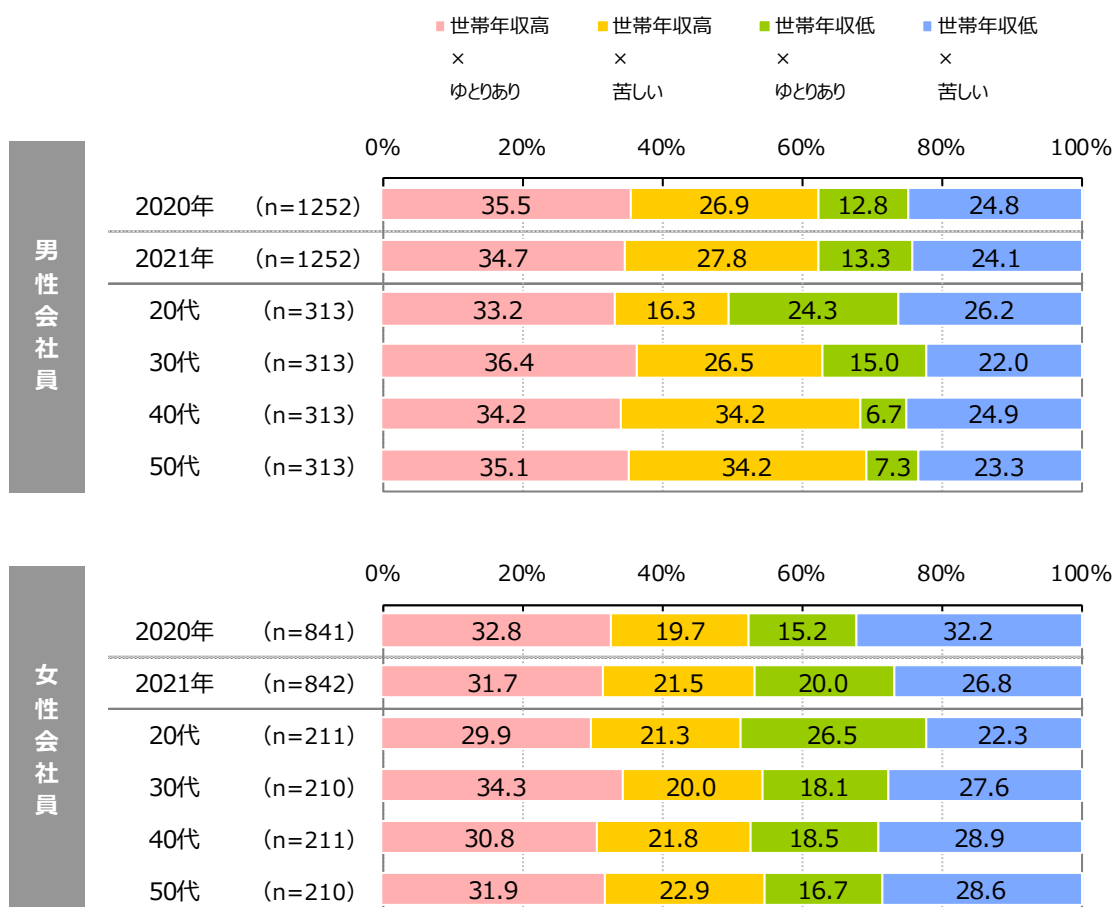
### ■ 経済的なゆとり

『世帯年収』と『日常生活のゆとり』から、経済的なゆとりを確認します。『世帯年収』は、500万円以上を“高”、500万円未満を“低”と定義し、『日常生活のゆとり』は、「大いにゆとりがある」+「まあまあゆとりがある」を“ゆとりあり”、「大変苦しい」+「やや苦しい」を“苦しい”と定義します。それぞれを掛け合わせ、経済的なゆとりにおいて、4層のグループを作成しました。

男性会社員では、昨年同様「世帯年収高×ゆとりあり」が34.7%と最も多く、「世帯年収高×苦しい」、「世帯年収低×苦しい」がそれぞれ2割台で続きます。昨年と比較しても全般的に大きな変化は見られません。また、年代別にみると、20代において「世帯年収低×ゆとりあり」層が24.3%と他の年代よりも高くなっており、世帯年収は低いが、ゆとりある生活を送っている様子がうかがえます。一方で、年代が上がるほど、「世帯年収高」層が増えますが、「世帯年収高×ゆとりあり」の割合は大きく変化せず、「世帯年収高×苦しい」層の割合が高くなっている点が特徴的です。

女性会社員では、「世帯年収高×ゆとりあり」が31.7%と最も多く、「世帯年収低×苦しい」が26.8%と続きます。男性会社員と同様に、20代において「世帯年収低×ゆとりあり」層が26.5%と他の年代よりも高い点が特徴となっています。

設問：“おこづかい”面からみて、この一年間のあなたの日常生活はいかがですか？

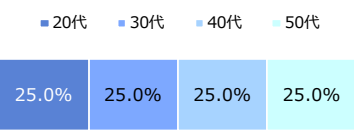
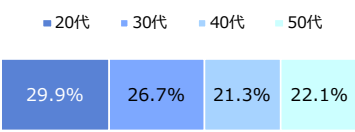
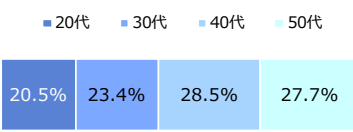
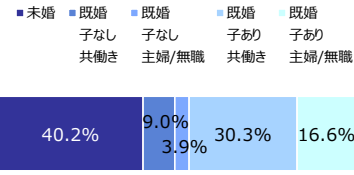
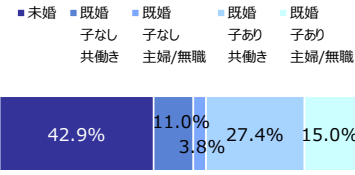
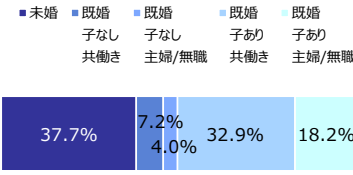


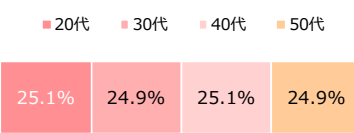
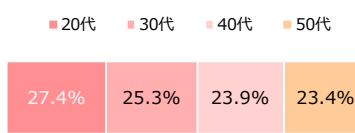
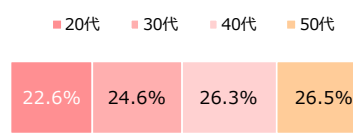
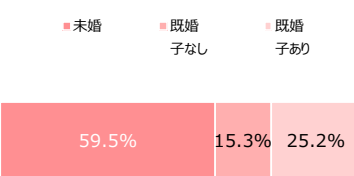
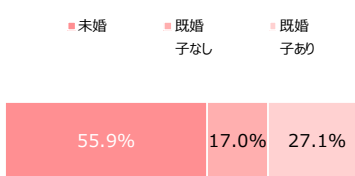
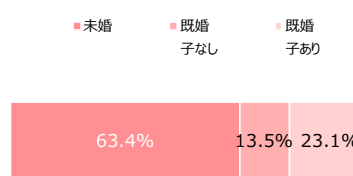
## ■ ゆとりがある層／ない層のプロファイル比較

お小遣い面からみて、「ゆとりがある層」と「ゆとりがない層」を、会社員全体と比較したものを以下に掲載します。ここから、「ゆとりがある層」と「ゆとりがない層」がどのような方なのかを確認します。

男性会社員の「ゆとりがある層」は、20代、30代がやや多く、若年層寄りの傾向がみられます。また、全体と比較して、個人年収は64万円、世帯年収では85万円高い結果となり、収入自体の多さがわかります。一方、「ゆとりがない層」は、全体より40代、50代が多く、個人年収・世帯年収ともに、全体よりも低い結果でした。

女性会社員の「ゆとりがある層」は、男性会社員同様、20代、30代がやや多いですが、男性会社員ほどの差は見られません。また、個人年収、世帯年収については、男性会社員と同様に、ゆとりがある層で、ともに高い結果となっています。

	男性会社員 全体 (n=1252)	ゆとりがある層 (n=602)	ゆとりがない層 (n=650)
年齢			
年収	個人年収 <b>526</b> 万円 世帯年収 <b>657</b> 万円	個人年収 <b>590</b> 万円 世帯年収 <b>742</b> 万円	個人年収 <b>466</b> 万円 世帯年収 <b>577</b> 万円
家族構成			

	女性会社員 全体 (n=842)	ゆとりがある層 (n=435)	ゆとりがない層 (n=407)
年齢			
年収	個人年収 <b>337</b> 万円 世帯年収 <b>615</b> 万円	個人年収 <b>374</b> 万円 世帯年収 <b>704</b> 万円	個人年収 <b>298</b> 万円 世帯年収 <b>520</b> 万円
家族構成			

## 【6】 お小遣いの使いみち、やりくり術

- ▶ お小遣いの使いみちトップ3は、男性会社員は「昼食代」が46.7%、「携帯電話代」が27.3%、「趣味の費用」が24.9%。女性会社員は「携帯電話代」が36.1%、「昼食代」が34.9%、「身だしなみのための費用」が31.1%
- ▶ 男性会社員の73.0%、女性会社員の87.9%がお小遣い面で何らかのやりくりを実施しており、具体的なやりくり術は男性は「昼食費を安くする」が33.2%、女性は「弁当持参」が44.7%でトップ
- ▶ 男性会社員は17.3%、女性会社員は17.5%は副収入があり、1か月あたりの副収入額が男性会社員で平均36,104円に対し、女性会社員は平均25,548円と金額に1万円強の差がある

### ■ 必要不可欠な使いみちと必要額(月額)

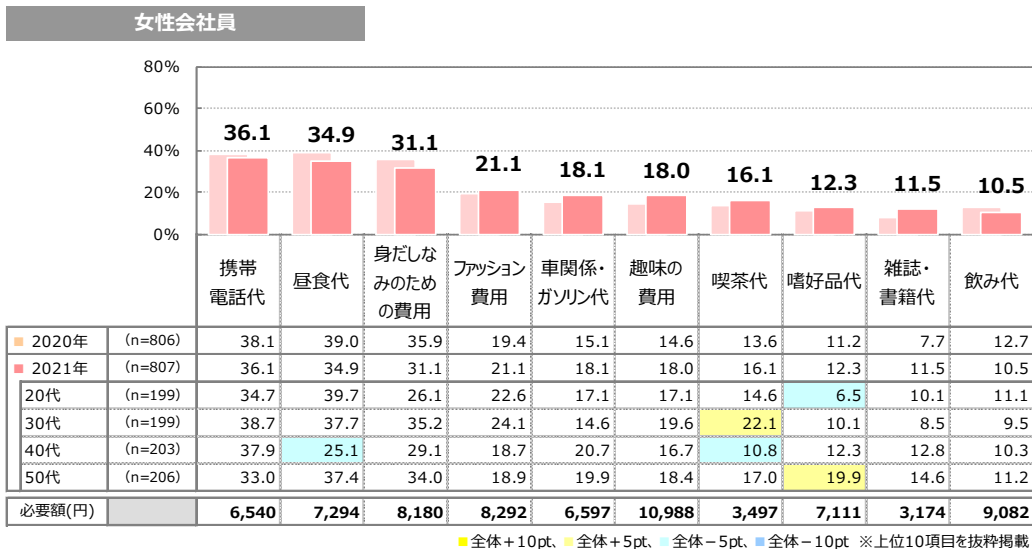
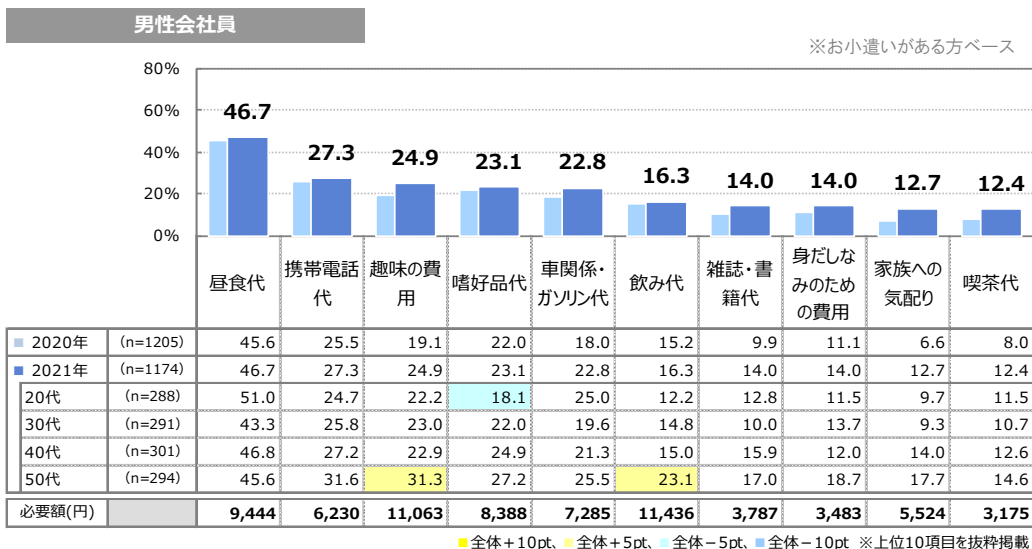
お小遣いの使いみちとして必要不可欠な項目を、上位10項目抜粋したものが以下となります。

男性会社員では、「昼食代」が46.7%と突出しており、昨年同様トップとなりました。

「昼食代」の必要額は平均9,444円です。なお、必要額が最も高い項目は、必要不可欠な項目順位としては6番目に高い「飲み代」で11,436円となっています。

女性会社員は、「携帯電話代」が36.1%と最も高く、以下「昼食代」、「身だしなみのための費用」が続きます。必要額が最も高い項目は、「趣味の費用」で10,988円という結果となりました。

設問：あなたの“おこづかい”の使いみちとして、必要不可欠なものは何ですか？  
また、その項目の月々に必要な金額をお答えください。



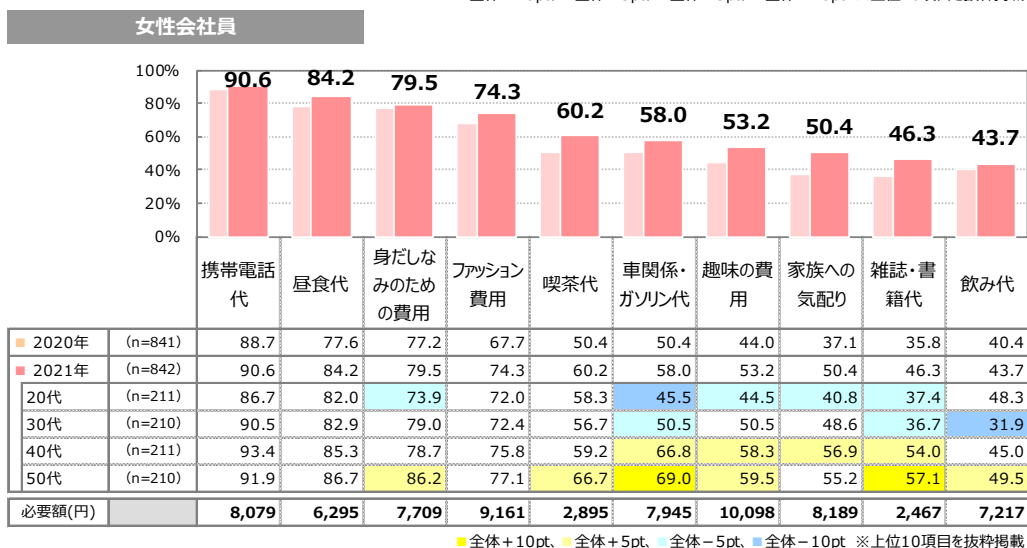
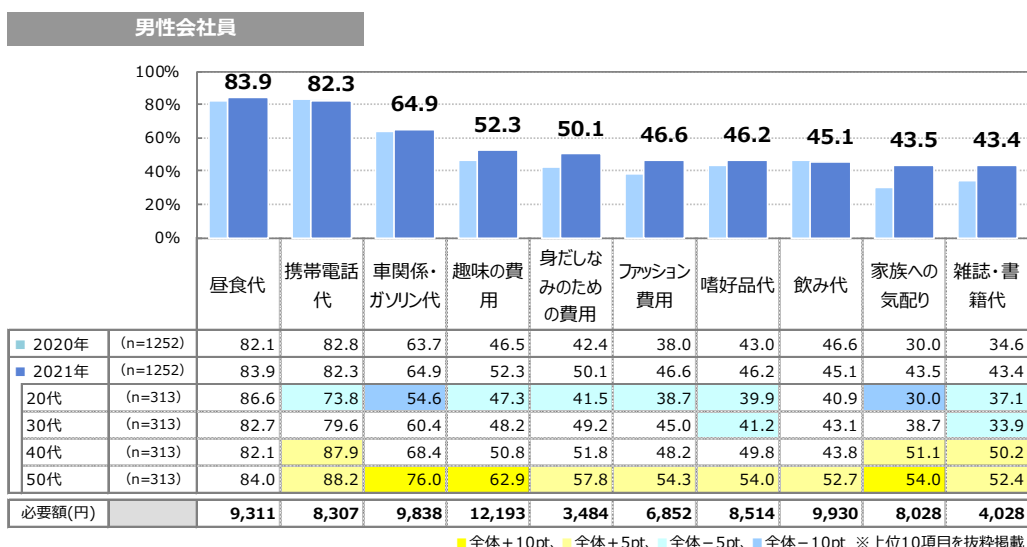
## ■ 月々の出費

月々の出費として使用している項目の上位10項目抜粋したものが以下となります。

男性会社員では、「昼食代」が83.9%と最も高く、以下「携帯電話代」、「車関係・ガソリン代」が続きます。なお、使用額が最も高い項目は「趣味の費用」で12,193円となっています。

女性会社員では、「携帯電話代」が90.6%と最も高く、以下「昼食代」、「身だしなみのための費用」、「ファッション費用」が続きます。男性会社員と比較して、「身だしなみのための費用」、「ファッション費用」が上位に来ており、男性会社員と女性会社員で、「携帯電話代」や「昼食代」以外のお金のかけ方に違いがみられます。

設問：あなたは、下記の項目に月々いくらかけていますか。



## ■ お小遣いのやりくりと節約術

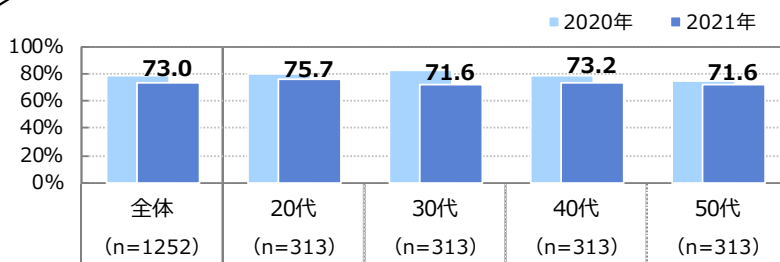
男性会社員における、お小遣いのやりくり実施率は73.0%と、多くの方が、何かしらの節約策を実行していることがわかります。具体的なやりくり術には、「昼食費を安くする」、「水筒を持参する」、「外で飲む回数を減らす」などが上位にあります。また、すべての年代に共通して「昼食費を安くする」が最も高くなっています。

女性会社員におけるやりくり実施率は、男性会社員よりも高く、87.9%の方が節約策を実行しています。具体的なやりくり術には、「弁当を持参する」、「水筒を持参する」、「昼食費を安くする」などが上位にあります。また、男性会社員と比較して、洋服・靴に関する項目が上位にあがる点特徴的です。

設問：あなたは、“おこづかい”面でみて、ここ最近、やりくりをすることがありますか。

### 男性会社員

#### <やりくり実施率>



■ 1位 ■ 2位 ■ 3位 ■ 4位 ■ 5位

#### 具体的なやりくり術

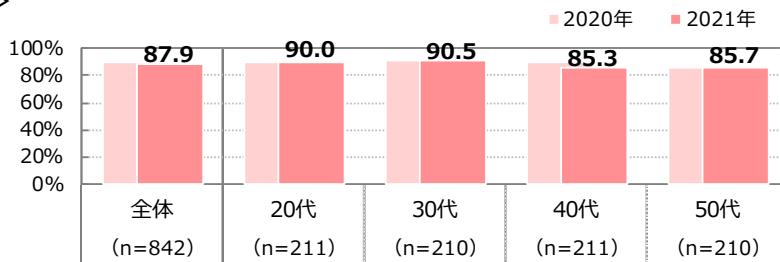
(%)

やりくり術	2020年 (%)	2021年 (%)
昼食費を安くするように努力している	33.2	33.5
水筒を持参するようにしている	25.2	22.7
外で飲む回数を減らしている	23.9	24.6
弁当を持参するようにしている	21.1	23.6
衝動買いをしないようにしている	20.3	15.3
少し遠くても歩くようにしている	17.3	15.7
ネット通販やバーゲンなどで価格が安いものを買うようにしている	15.3	9.3
洋服・靴など、安いものを買うようにしている	14.3	10.2

※上位8項目を抜粋掲載

### 女性会社員

#### <やりくり実施率>



■ 1位 ■ 2位 ■ 3位 ■ 4位 ■ 5位

#### 具体的なやりくり術

(%)

やりくり術	2020年 (%)	2021年 (%)
弁当を持参するようにしている	44.7	50.2
水筒を持参するようにしている	41.2	43.6
昼食費を安くするように努力している	39.7	44.5
衝動買いをしないようにしている	33.6	35.1
洋服・靴など、安いものを買うようにしている	31.6	25.1
洋服・靴などを買わないようにしている	28.0	24.2
床屋・美容院などに行く回数を減らしている	26.8	24.6
喫茶店・コーヒーショップの利用回数を減らしている	25.5	28.4

※上位8項目を抜粋掲載

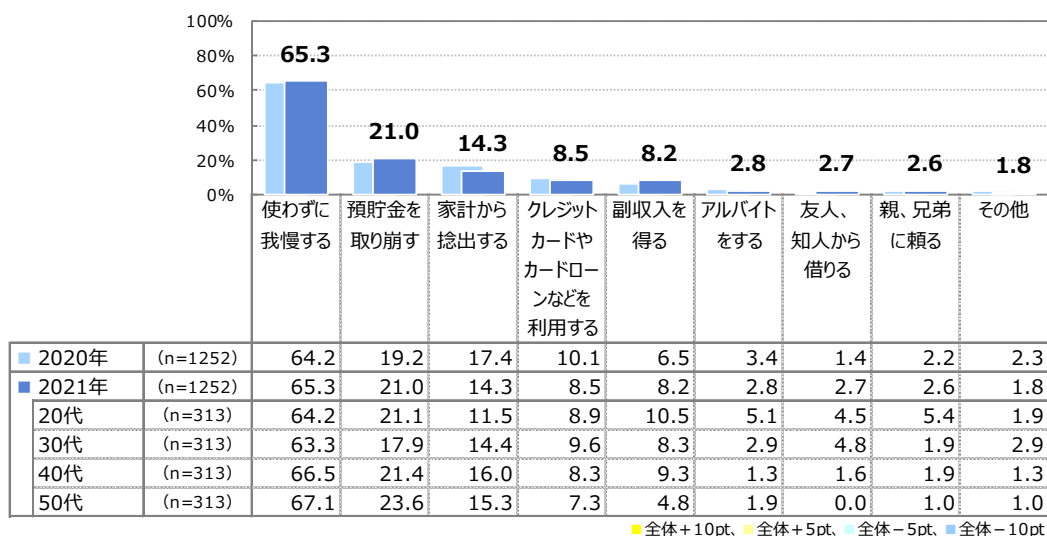
## ■ お小遣い不足時の対応

男性社員における、お小遣い不足時の対応では、「使わずに我慢する」が65.3%で突出しています。以降、「預貯金を取り崩す」、「家計から捻出する」が続き、昨年同様、手持ちのお金で対応するケースが多いようです。年代別にみても、どの年代でも「使わずに我慢する」が突出している点に変化はありません。

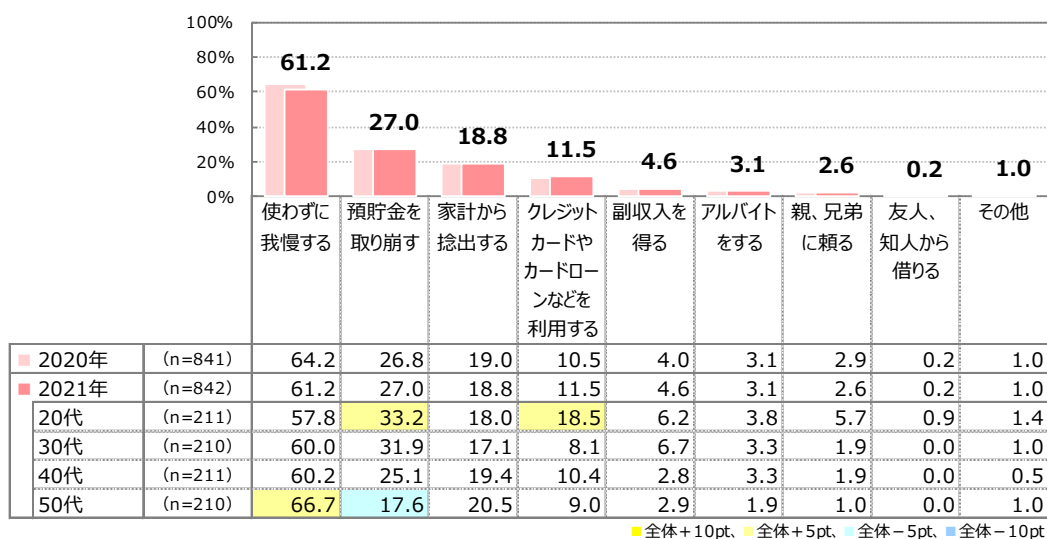
女性社員においても、男性社員と同様に、「使わずに我慢する」が61.2%と突出しています。以降、「預貯金を取り崩す」、「家計から捻出する」が続く点も共通しております。

設問：“おこづかい”が足りなくなったとき、あなたはどのようにやりくりしていますか？

### 男性社員



### 女性社員



## ■ 副収入事情

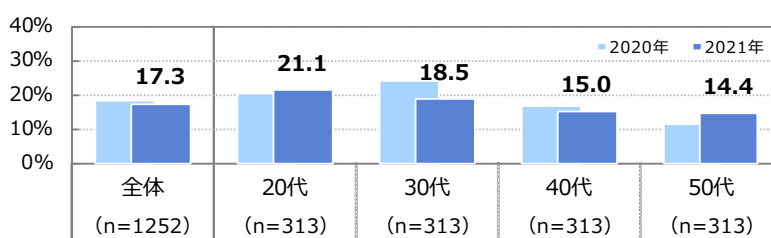
男性会社員の17.3%は副収入があり、1ヵ月あたり平均36,104円の収入額となっています。その収入源は、「ポイント・アンケートサイト」が44.4%と最も多く、「株式投資」、「アルバイト・副業」が続きます。年代別にみると、副収入を得ている割合は、若年層ほど高く、20代で21.1%と最も高くなっております。また、40代以上では副収入を得ている割合は少ないものの、副収入額は20代、30代より高い傾向となっております。

女性会社員は17.5%が副収入ありで、僅差ながら30代が最も副収入を得ている割合が高いです。1ヶ月あたりの副収入額は25,548円となっており、男性会社員よりも10,000円以上低い結果となっております。

設問：あなたは給与以外に副収入がありますか？ある方は月にどのくらいの収入を得ていますか？  
どのような方法で副収入を得ていますか？

### 男性会社員

#### <副収入を得ている割合>



#### 副収入額と収入源 ※副収入がある方ベース

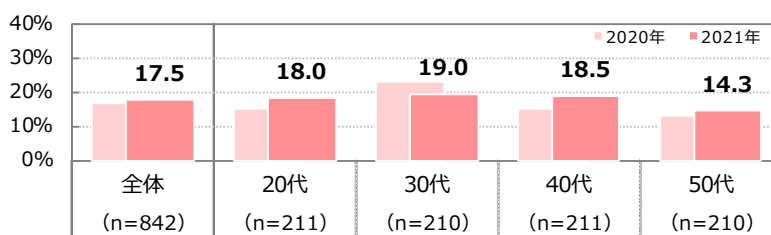
	(n=211)	(n=65)	(n=57)	(n=46)	(n=43)
1ヶ月当たりの副収入額	<b>36,104円</b>	<b>28,306円</b>	<b>31,526円</b>	<b>51,728円</b>	<b>37,244円</b>

収入源	割合 (%)				
	1位	2位	3位	4位	5位
ポイントサイト、アンケートサイト	44.4	40.9	41.4	48.9	48.9
株式投資	33.3	40.9	22.4	40.4	28.9
アルバイト・副業	22.7	22.7	22.4	19.1	26.7
FX等の外国為替取引	11.6	19.7	15.5	4.3	2.2
ネットオークション	10.6	6.1	13.8	4.3	20.0
フリーマーケット	10.6	12.1	17.2	2.1	8.9
不動産投資（売買収益、賃貸収入など）	8.3	7.6	8.6	8.5	8.9
せどり、古物売買など	6.9	6.1	12.1	4.3	4.4

1位 2位 3位 4位 5位 ※上位8項目を抜粋

### 女性会社員

#### <副収入を得ている割合>



#### 副収入額と収入源 ※副収入がある方ベース

	(n=144)	(n=37)	(n=39)	(n=39)	(n=29)
1ヶ月当たりの副収入額	<b>25,548円</b>	<b>9,886円</b>	<b>15,967円</b>	<b>40,115円</b>	<b>38,824円</b>

収入源	割合 (%)				
	1位	2位	3位	4位	5位
ポイントサイト、アンケートサイト	60.5	65.8	62.5	59.0	53.3
アルバイト・副業	27.2	21.1	20.0	35.9	33.3
フリーマーケット	19.7	26.3	20.0	17.9	13.3
株式投資	9.5	5.3	10.0	12.8	10.0
ネットオークション	8.2	5.3	12.5	10.3	3.3
不動産投資（売買収益、賃貸収入など）	6.1	0.0	2.5	7.7	16.7
せどり、古物売買など	5.4	7.9	5.0	7.7	0.0
懸賞	5.4	5.3	5.0	5.1	6.7

1位 2位 3位 4位 5位 ※上位8項目を抜粋

※インターネットサーチを行っているため、「ポイントサイト、アンケートサイト」が高くなっています。



## 【7】 サラリーマンの給与管理状況

- 既婚男性社員の約6割が「お給料の“全額”を家庭に入れている」と回答。20代は48.0%と他世代に比べて低くはあるが、若い世代も全額を家庭にいれてる層が主流
- 女性社員の既婚世帯は、男性社員に比べて全額を家庭に入れる割合が低く34.9%
- 共働き世帯の給与管理状況では、男性社員では48.8%が「配偶者が管理し、お小遣いを渡す」となり、女性社員はその割合が1割以下と自分で給与管理する割合が高い

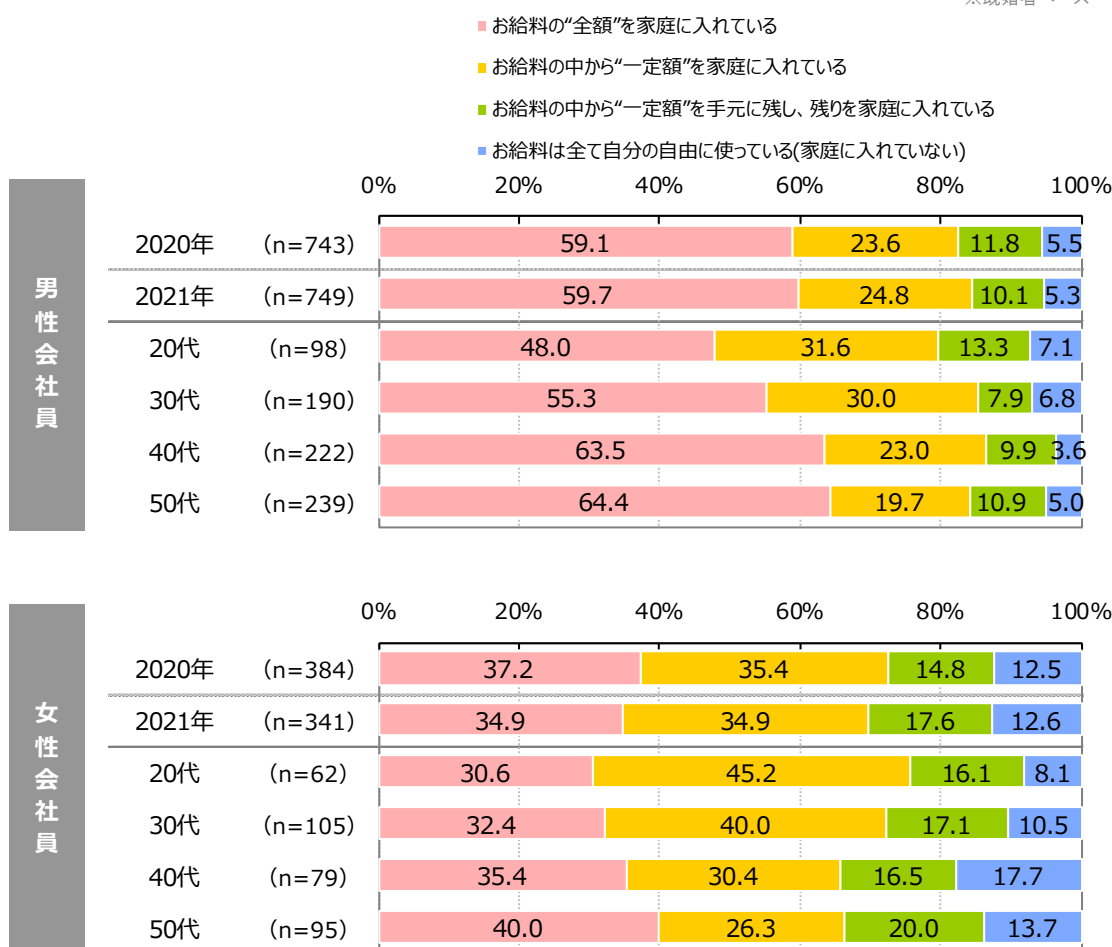
### ■ 給与管理状況

男性社員の既婚世帯では、59.7%が「お給料の“全額”を家庭に入れている」という結果で、昨年と同様、およそ6割がお小遣い制であることが分かります。年代別にみると、若年層ほど「お給料の“全額”を家庭に入れている」割合が低く、20代で最も低くなっている点が特徴です。

女性社員の既婚世帯では、「お給料の“全額”を家庭に入れている」と「お給料の中から“一定額”を家庭に入れている」の割合が3割半ばで同水準となり、男性社員と比べて全額を家庭に入れている割合は低くなっています。

設問：あなたのお給料は、どのようにして管理していますか。

※既婚者ベース





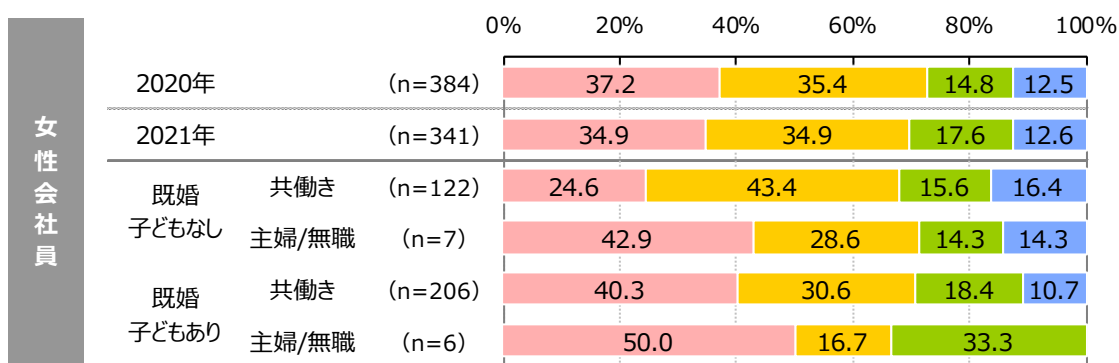
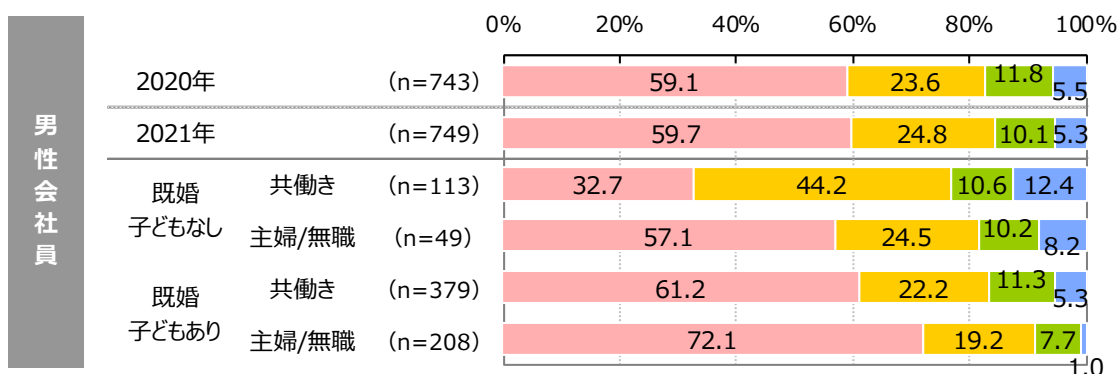
男性社員の給与管理状況をライフステージ別にみると、DINKS世帯(既婚・子どもなし・共働き)は、「お給料は“全額”を家庭に入れている」が32.7%にとどまり、全額を家庭に入れる方は全体よりも20pt以上低くなっています。

女性社員でも、DINKS世帯(既婚・子どもなし・共働き)は、「お給料は“全額”を家庭に入れている」が24.6%にとどまり、全額を家庭に入れる方は全体よりも10pt以上低くなっています。

設問：あなたのお給料は、どのようにして管理していますか。

※既婚者ベース

- お給料の“全額”を家庭に入れている
- お給料の中から“一定額”を家庭に入れている
- お給料の中から“一定額”を手元に残し、残りを家庭に入れている
- お給料は全て自分の自由に使っている(家庭に入れていない)



※n=30未満は参考値として掲載

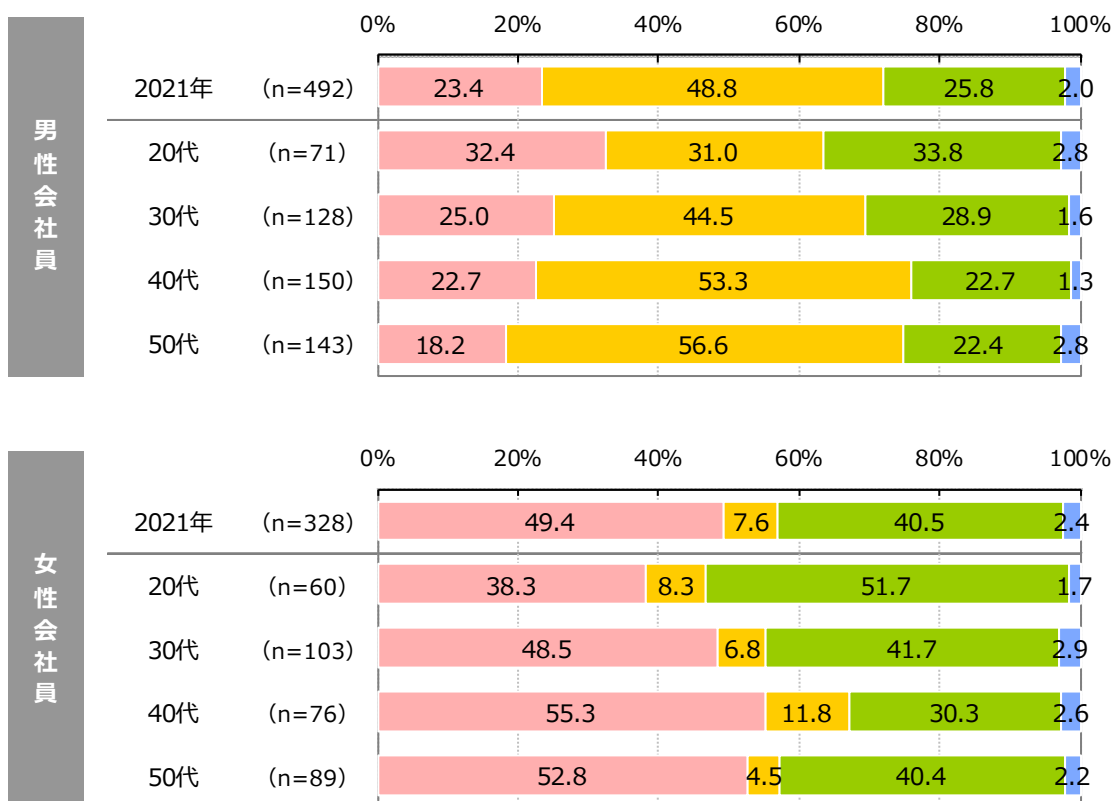
共働き世帯の給与管理状況をみると、男性会社員では48.8%が「配偶者(パートナー)が管理し、あなたに生活費やお小遣いを渡す」という結果となりました。また、「あなたが管理し、配偶者(パートナー)に生活費やお小遣いとして渡す」「配偶者(パートナー)とは別々で管理している」がそれぞれ2割台となっております。年代別にみると、若年層ほど「あなたが管理し、配偶者(パートナー)に生活費やお小遣いとして渡す」割合が高くなる傾向となっており、20代では3割を超えている点が特徴です。また、「配偶者(パートナー)とは別々で管理している」も3割を超えています。

女性会社員では、「あなたが管理し、配偶者(パートナー)に生活費やお小遣いとして渡す」が49.4%とおおよそ半数という結果となりました。次いで、「配偶者(パートナー)とは別々で管理している」が40.5%となります。男性会社員と比べて、自身、もしくは別々で管理する割合が高くなっています。

設問：あなたと配偶者(パートナー)のお給料は、どのように管理していますか。

※既婚共働きベース

- あなたが管理し、配偶者(パートナー)に生活費やお小遣いとして渡す
- 配偶者(パートナー)が管理し、あなたに生活費やお小遣いとして渡す
- 配偶者(パートナー)とは別々で管理している
- その他



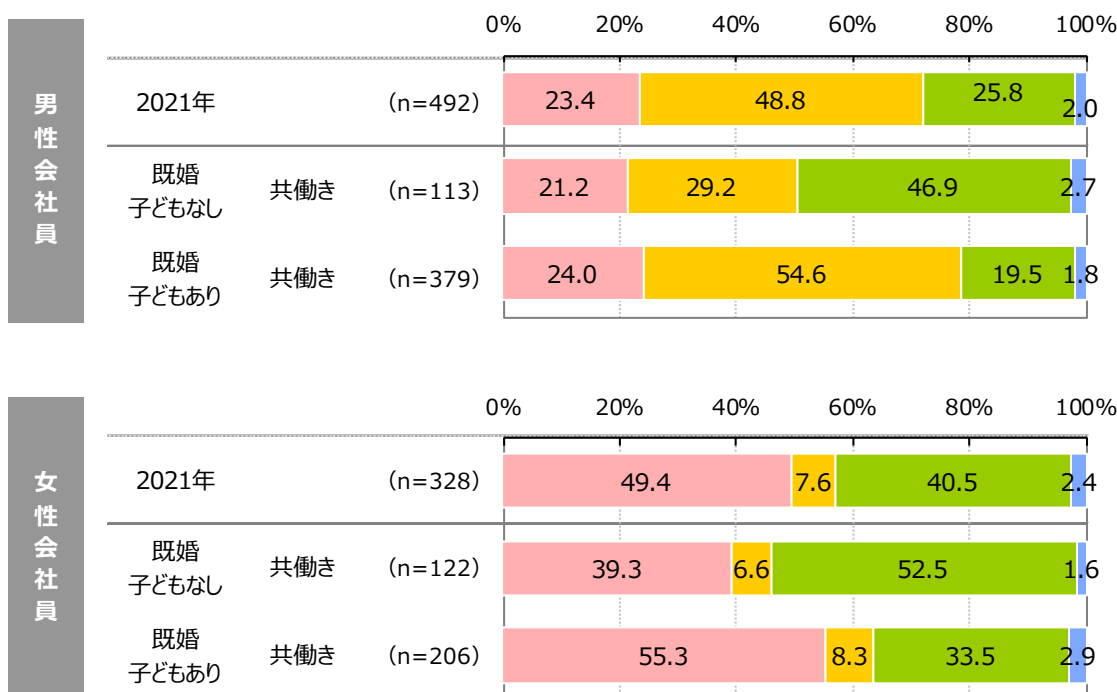
共働き世帯の給与管理状況をライフステージ別にみると、男性会社員の子どもなし世帯では、「配偶者(パートナー)とは別々に管理している」が46.9%と最も高い割合を占めます。一方、子どもあり世帯では、「配偶者(パートナー)が管理し、あなたに生活費やお小遣いとして渡す」が54.6%と最も高い割合を占める点が特徴です。

女性会社員では、子どもあり世帯で「あなたが管理し、配偶者(パートナー)に生活費やお小遣いとして渡す」が55.3%と5割半ばを占める点が特徴です。子どもができることにより、別財布から、女性が管理する同じ財布へ移行する様子が見えられます。

設問：あなたと配偶者(パートナー)のお給料は、どのように管理していますか。

※既婚共働きベース

- あなたが管理し、配偶者(パートナー)に生活費やお小遣いとして渡す
- 配偶者(パートナー)が管理し、あなたに生活費やお小遣いとして渡す
- 配偶者(パートナー)とは別々に管理している
- その他



## 【8】 支払い手段

- ▶ 男性・女性会社員ともに、昼食代の支払い手段としては、「現金」がトップで7割半ばを超える。ついで、「クレジットカード」が約3～4割、「QRコード決済」が3割強と続く
- ▶ 昼食代の支払い時の「QRコード決済」は昨年から増加し、男性会社員で7pt以上、女性会社員で10pt以上増加

### ■ 昼食代・飲み代の支払い手段

男性会社員の昼食代の支払い方法は、「現金」が75.9%で最も高く、「クレジットカード」31.9%、「QRコード決済」30.7%が続きます。「QRコード決済」については、昨年から7pt以上の増加となっております。また、性年代別でみると、「クレジットカード」は20代が4割弱と高い点が特徴となっております。

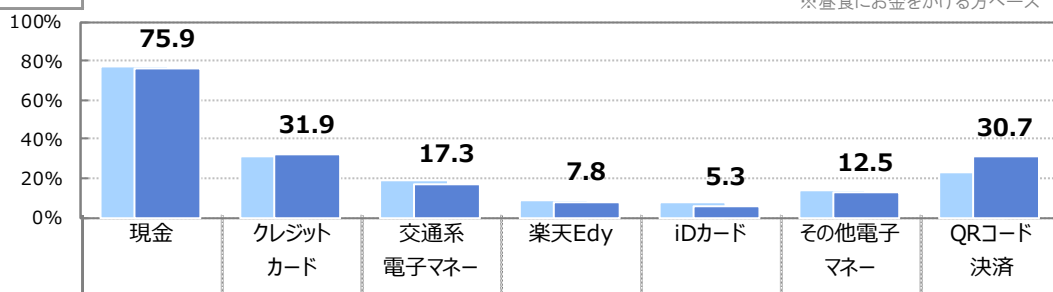
また、飲み代の支払い方法も昼食代と同様に、「現金」が77.8%と最も高く、「クレジットカード」49.3%、「QRコード決済」22.2%が続きます。飲み代に関しても「QRコード決済」は、昨年から7pt以上の増加となっております。また、昼食代と比較して、「クレジットカード」が17pt以上高い点が特徴的です。

設問：以下の項目について、あなたの支払手段としてあてはまるものをすべてお選びください。

#### 男性会社員

##### 昼食代

※昼食にお金をかける方ベース

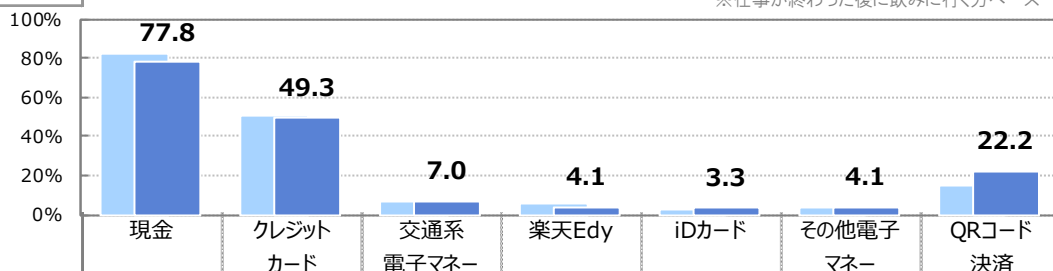


年	サンプル数 (n)	現金	クレジットカード	交通系電子マネー	楽天Edy	iDカード	その他電子マネー	QRコード決済
2020年	(n=1,025)	77.1	31.4	18.8	8.9	7.5	13.5	23.3
2021年	(n=998)	75.9	31.9	17.3	7.8	5.3	12.5	30.7
20代	(n=265)	74.3	38.5	20.0	7.5	6.0	9.1	28.7
30代	(n=250)	74.8	29.6	13.6	6.4	4.8	12.0	33.6
40代	(n=246)	76.8	29.3	15.4	6.9	5.3	12.2	32.1
50代	(n=237)	77.6	29.5	20.3	10.5	5.1	17.3	28.3

■全体+10pt ■全体+5pt ■全体-5pt ■全体-10pt

##### 飲み代

※仕事が終わった後に飲みに行く方ベース



年	サンプル数 (n)	現金	クレジットカード	交通系電子マネー	楽天Edy	iDカード	その他電子マネー	QRコード決済
2020年	(n=466)	82.4	50.4	6.2	5.2	2.4	3.9	15.0
2021年	(n=270)	77.8	49.3	7.0	4.1	3.3	4.1	22.2
20代	(n=66)	69.7	43.9	9.1	4.5	6.1	3.0	19.7
30代	(n=82)	74.4	48.8	7.3	6.1	2.4	8.5	25.6
40代	(n=56)	80.4	46.4	5.4	1.8	3.6	1.8	16.1
50代	(n=66)	87.9	57.6	6.1	3.0	1.5	1.5	25.8

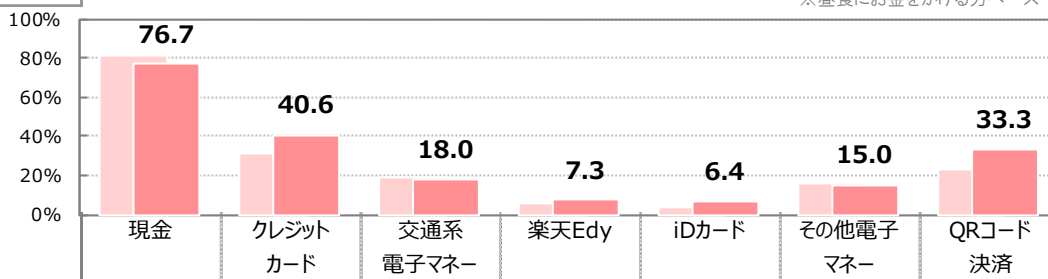
■全体+10pt ■全体+5pt ■全体-5pt ■全体-10pt

女性会社員の昼食代の支払い方法は、「現金」が76.7%で最も高く、「クレジットカード」40.6%、「QRコード決済」33.3%が続きます。「クレジットカード」「QRコード決済」については、昨年から10pt程度の増加となっています。

また、飲み代の支払い方法は、「現金」が80.5%で最も高く、「クレジットカード」55.0%、「QRコード決済」18.1%が続きます。昨年と比較して、「現金」が減少し、「クレジットカード」「QRコード決済」が増加している点が特徴となっています。

**女性会社員**
**昼食代**

※昼食にお金をかける方ベース

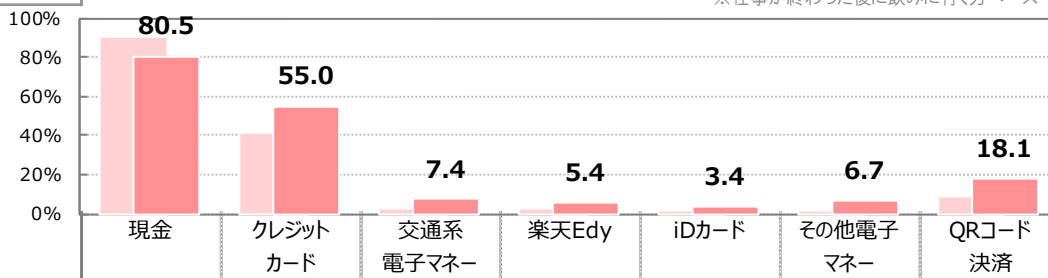


■ 2020年	(n=673)	80.7	31.1	19.0	5.9	4.0	16.0	22.9
■ 2021年	(n=645)	76.7	40.6	18.0	7.3	6.4	15.0	33.3
■ 20代	(n=165)	72.7	48.5	21.8	5.5	6.7	12.7	32.1
■ 30代	(n=154)	80.5	44.2	18.8	7.1	6.5	16.2	36.4
■ 40代	(n=162)	74.7	40.7	19.1	9.9	7.4	16.7	37.0
■ 50代	(n=164)	79.3	29.3	12.2	6.7	4.9	14.6	28.0

■全体+10pt ■全体+5pt ■全体-5pt ■全体-10pt

**飲み代**

※仕事が終わった後に飲みに行く方ベース



■ 2020年	(n=266)	90.6	41.0	3.0	2.6	1.1	1.5	9.0
■ 2021年	(n=149)	80.5	55.0	7.4	5.4	3.4	6.7	18.1
■ 20代	(n=60)	76.7	65.0	5.0	3.3	0.0	5.0	11.7
■ 30代	(n=31)	87.1	58.1	9.7	3.2	6.5	6.5	29.0
■ 40代	(n=29)	82.8	51.7	6.9	10.3	6.9	17.2	17.2
■ 50代	(n=29)	79.3	34.5	10.3	6.9	3.4	0.0	20.7

■全体+10pt ■全体+5pt ■全体-5pt ■全体-10pt

## 【9】 投資状況

- ▶ 男性・女性会社員ともに、現在投資しているものとして「株式投資」と「投資信託」がトップ。40代男性会社員と50代女性会社員で「株式投資」が高め
- ▶ 検討中の投資としては、20代男性会社員がどの投資の種類においても高め

### ■ 投資状況

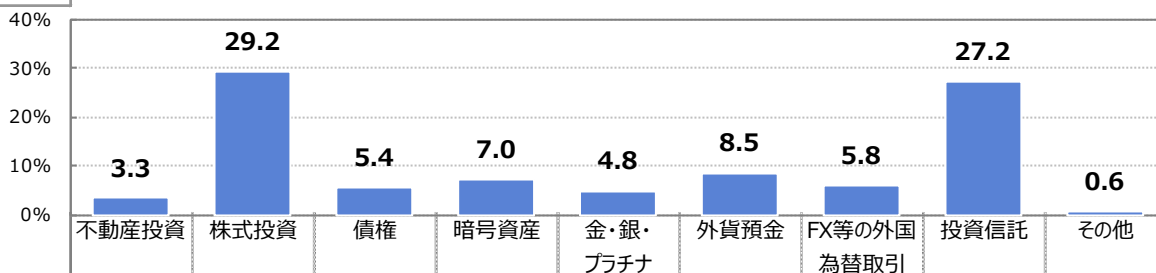
男性会社員の投資状況は、現在、投資しているものを見ると、「株式投資」が29.2%で最も高く、「投資信託」27.2%が続きます。その他のものはいずれも1割未満にとどまります。「株式投資」については、30代以下では2割強にとどまりますが、40代以上では3割後半と高い点が特徴となっています。

また、検討中のものについては、大差がなく、「債権」「金・銀・プラチナ」「株式投資」「投資信託」が1割半ばとなっており、年代別では、20代でいずれも他の年代よりスコアが高い点が特徴となっています。

設問：以下の項目についての、あなたの現在の投資状況について当てはまるものをお答えください。

#### 男性会社員

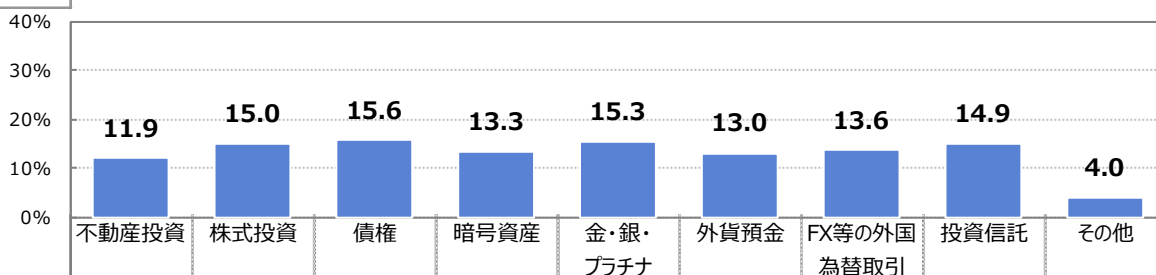
##### 現在、投資をしている



年代	サンプル数 (n)	不動産投資	株式投資	債権	暗号資産	金・銀・プラチナ	外貨預金	FX等の外国為替取引	投資信託	その他
2021年	(n=1,252)	3.3	29.2	5.4	7.0	4.8	8.5	5.8	27.2	0.6
20代	(n=313)	4.8	22.4	5.4	9.9	6.1	6.4	7.3	26.2	1.6
30代	(n=313)	3.8	23.3	4.2	7.3	4.8	8.9	6.4	28.1	1.0
40代	(n=313)	2.2	38.0	6.7	6.4	6.4	8.9	5.8	31.0	0.0
50代	(n=313)	2.2	33.2	5.4	4.5	1.9	9.6	3.8	23.3	0.0

■ 全体+10pt. ■ 全体+5pt. ■ 全体-5pt. ■ 全体-10pt

##### 検討中



年代	サンプル数 (n)	不動産投資	株式投資	債権	暗号資産	金・銀・プラチナ	外貨預金	FX等の外国為替取引	投資信託	その他
2021年	(n=1,252)	11.9	15.0	15.6	13.3	15.3	13.0	13.6	14.9	4.0
20代	(n=313)	20.8	22.7	24.6	20.8	22.0	20.8	20.8	24.9	8.6
30代	(n=313)	14.7	17.6	16.3	16.9	16.6	15.3	16.0	16.9	4.8
40代	(n=313)	7.0	11.2	12.8	9.6	13.1	10.2	10.9	9.9	2.2
50代	(n=313)	5.1	8.6	8.6	5.8	9.6	5.8	6.7	7.7	0.3

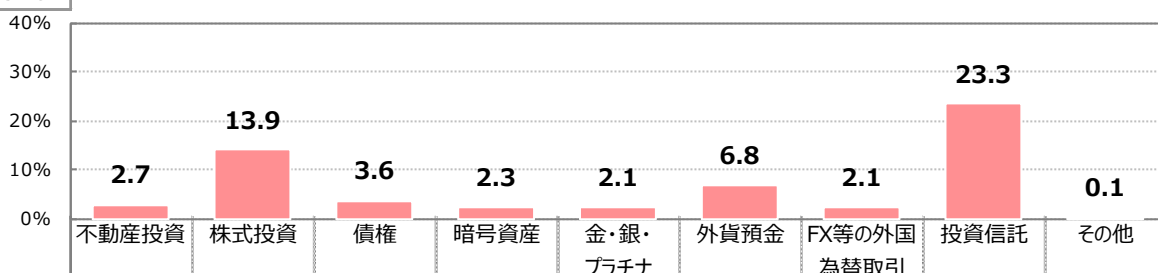
■ 全体+10pt. ■ 全体+5pt. ■ 全体-5pt. ■ 全体-10pt

女性社員の投資状況は、現在、投資しているものを見ると、「投資信託」が23.3%で最も高く、「株式投資」13.9%が続きます。どちらも男性社員より低くなっており、特に「株式投資」は男性社員を10pt以上下回ります。また、その他のものはいずれも1割未満にとどまります。「株式投資」については、50代で2割強と高い点の特徴となっています。

また、検討中のものについては、現在、投資しているものと同様、「投資信託」が17.5%で最も高く、「株式投資」14.3%が続きます。年代別では、20代でいずれも他の年代よりスコアが高めで、特に「投資信託」「株式投資」が高くなっています。

### 女性社員

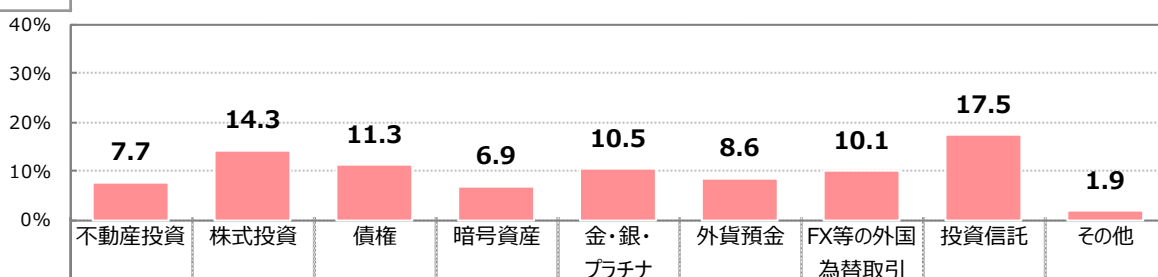
#### 現在、投資をしている



年代	サンプル数 (n)	不動産投資	株式投資	債権	暗号資産	金・銀・プラチナ	外貨預金	FX等の外国為替取引	投資信託	その他
2021年	(n=842)	2.7	13.9	3.6	2.3	2.1	6.8	2.1	23.3	0.1
20代	(n=211)	1.4	6.2	1.4	3.3	1.4	2.4	1.9	17.1	0.5
30代	(n=210)	1.9	13.3	1.4	1.9	1.0	6.2	1.0	26.7	0.0
40代	(n=211)	2.8	12.8	4.7	2.8	2.4	8.5	2.8	25.1	0.0
50代	(n=210)	4.8	23.3	6.7	1.0	3.8	10.0	2.9	24.3	0.0

■ 全体+10pt. ■ 全体+5pt. ■ 全体-5pt. ■ 全体-10pt

#### 検討中



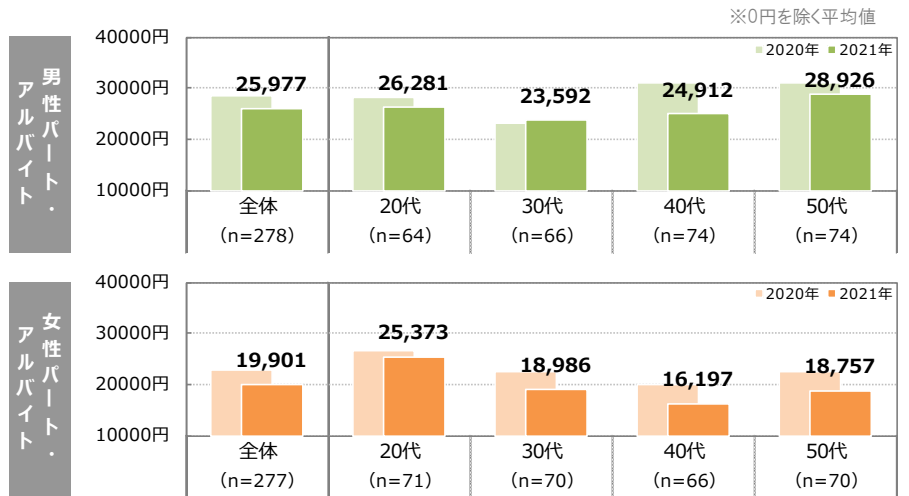
年代	サンプル数 (n)	不動産投資	株式投資	債権	暗号資産	金・銀・プラチナ	外貨預金	FX等の外国為替取引	投資信託	その他
2021年	(n=842)	7.7	14.3	11.3	6.9	10.5	8.6	10.1	17.5	1.9
20代	(n=211)	12.3	21.8	13.3	9.5	10.4	11.8	12.8	28.4	2.8
30代	(n=210)	8.1	15.2	13.3	6.7	11.4	10.0	12.4	21.4	2.4
40代	(n=211)	5.7	11.4	9.5	5.2	10.9	5.7	6.2	10.9	0.9
50代	(n=210)	4.8	8.6	9.0	6.2	9.0	6.7	9.0	9.0	1.4

■ 全体+10pt. ■ 全体+5pt. ■ 全体-5pt. ■ 全体-10pt

## 【10】パート・アルバイトの基本データ

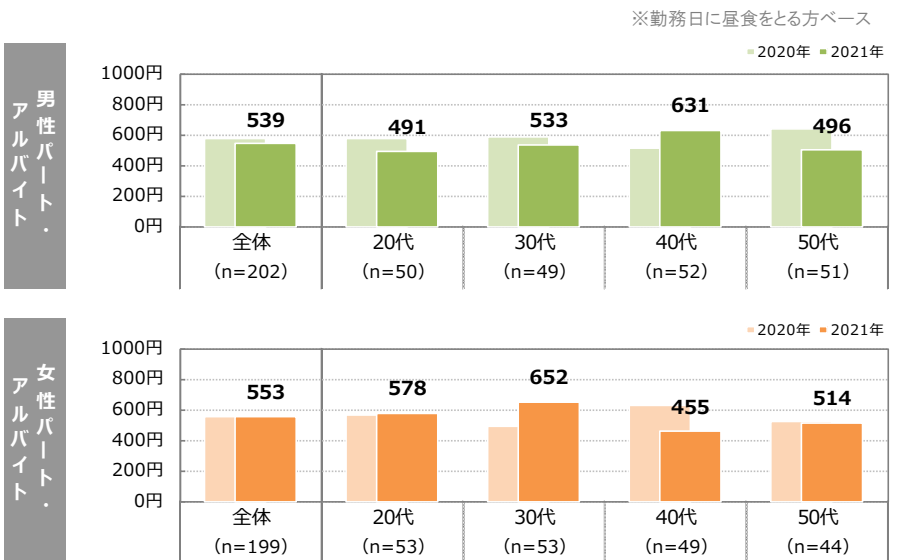
### ■ お小遣い

1カ月の平均お小遣い額



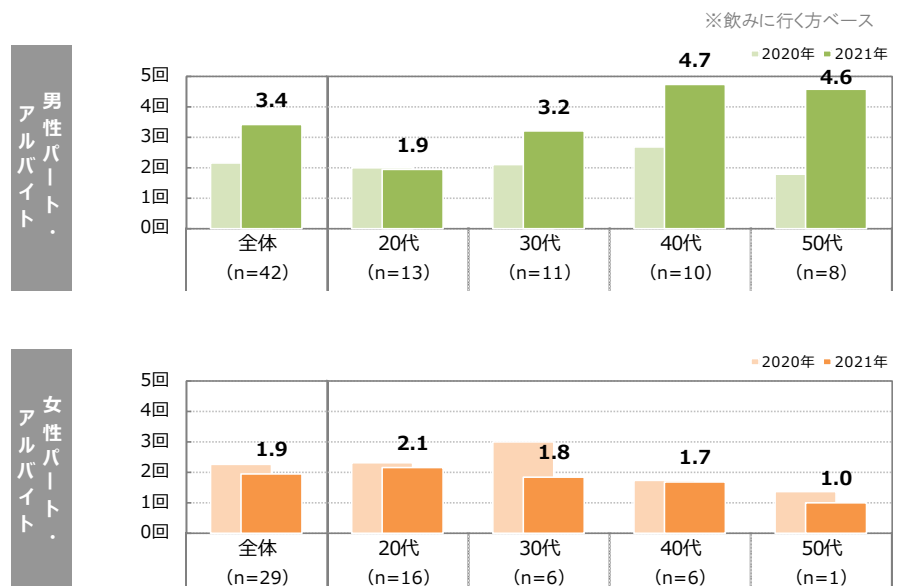
### ■ 昼食事情

1日の平均昼食代



### ■ 飲み事情

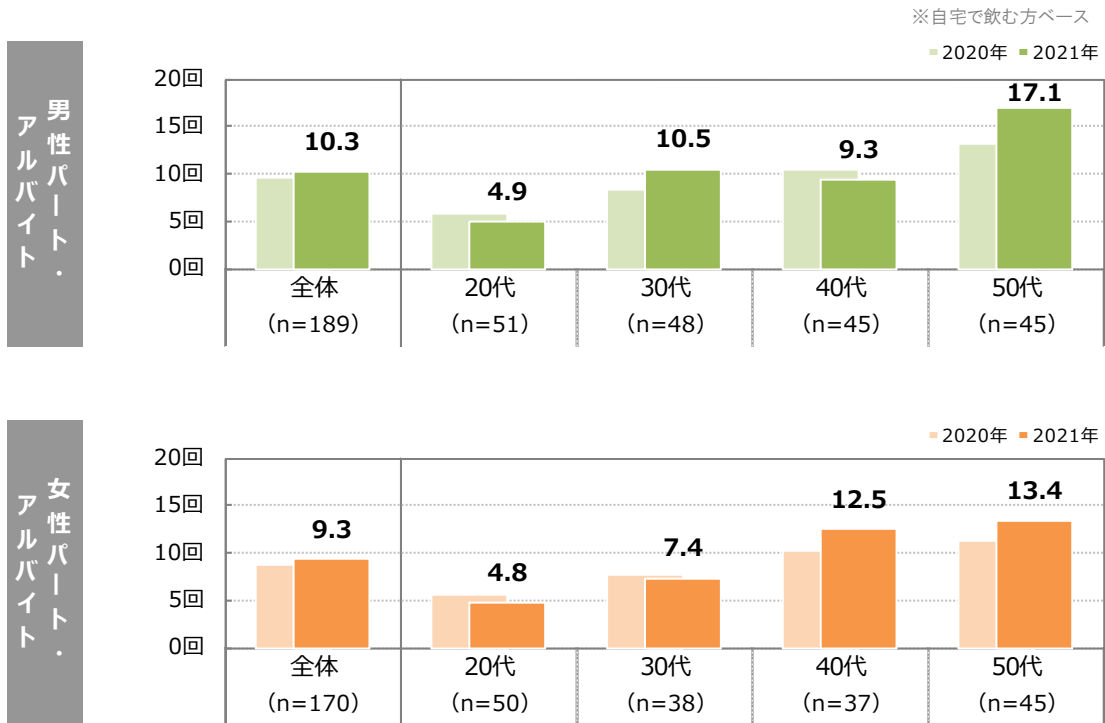
1カ月の平均飲み回数





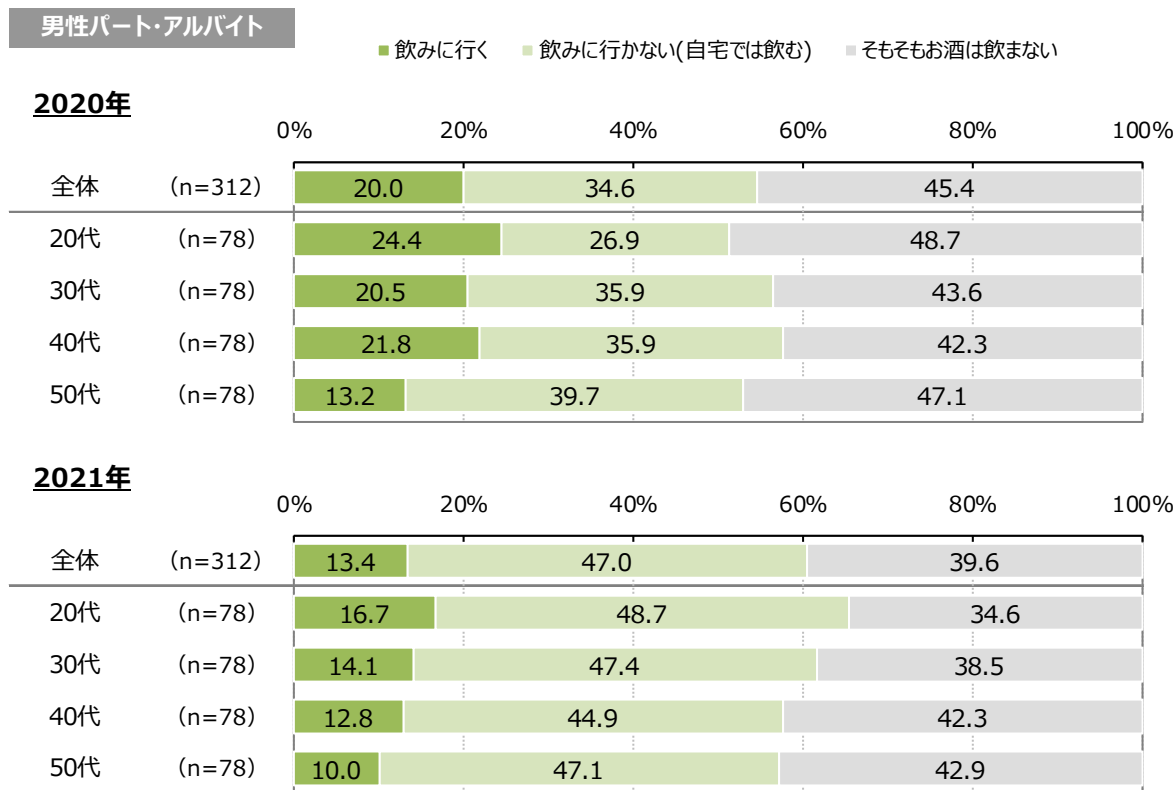
■ 飲み事情(つづき)

1ヵ月の家飲み回数

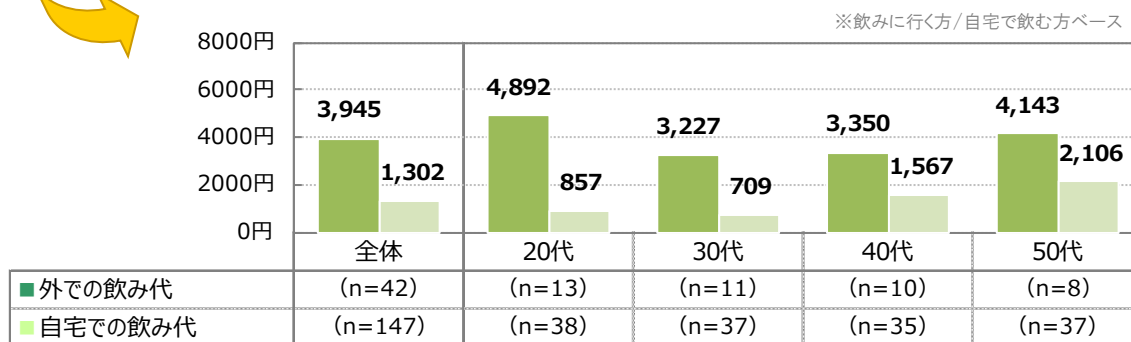


■ 飲み事情(つづき)

飲酒状況と1回の平均飲み代



1回の平均飲み代は・・・？



※n=30未満は参考値として掲載

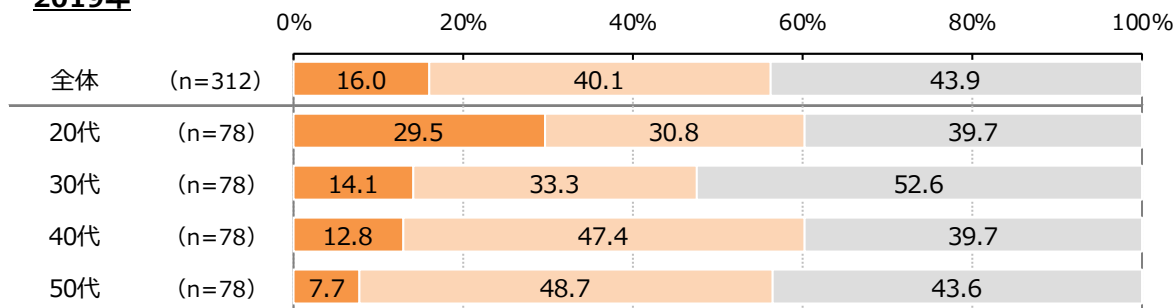
■ 飲み事情(つづき)

飲酒状況と1回の平均飲み代

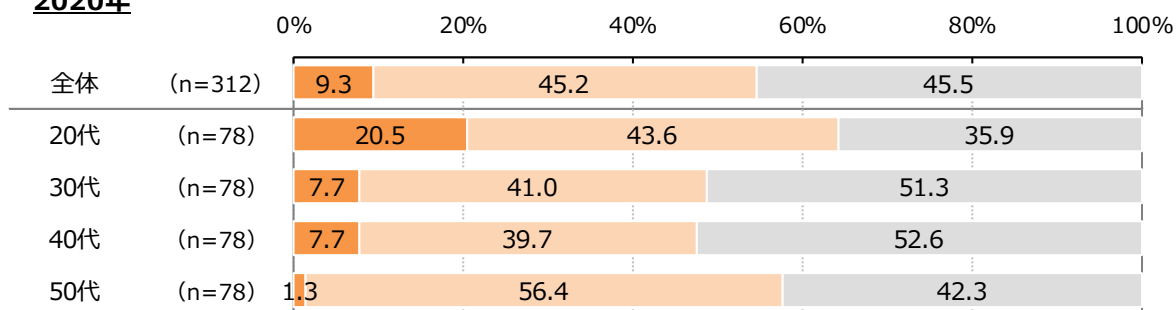
女性パート・アルバイト

■ 飲みに行く ■ 飲みに行かない(自宅では飲む) ■ そもそもお酒は飲まない

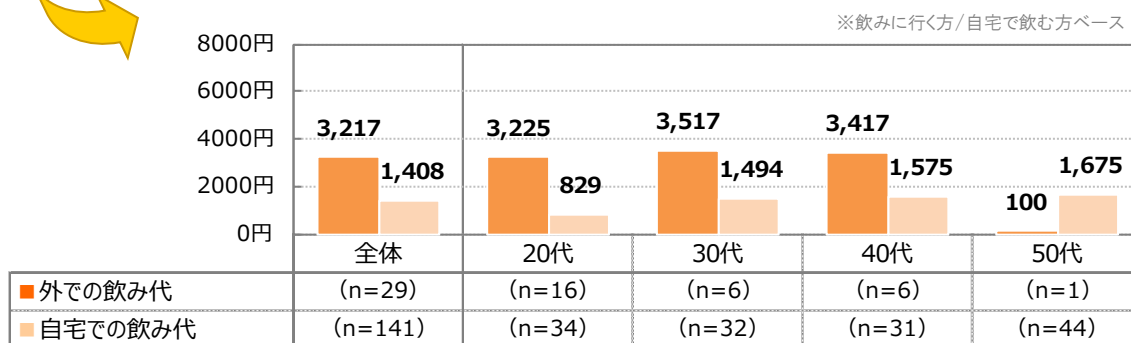
2019年



2020年



1回の平均飲み代は・・・？

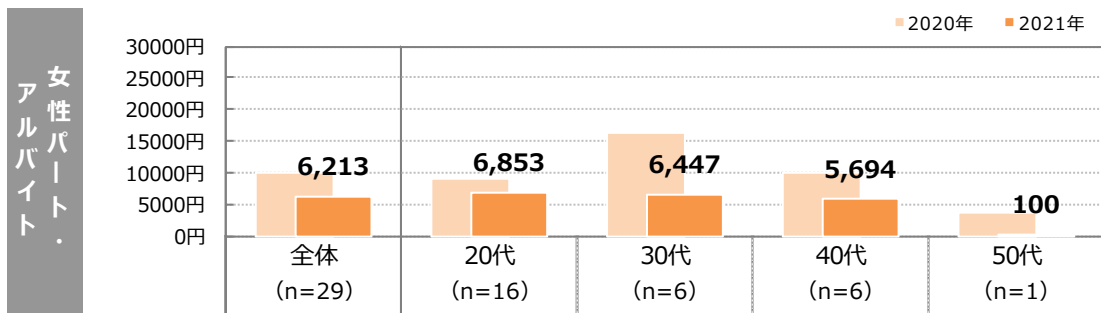
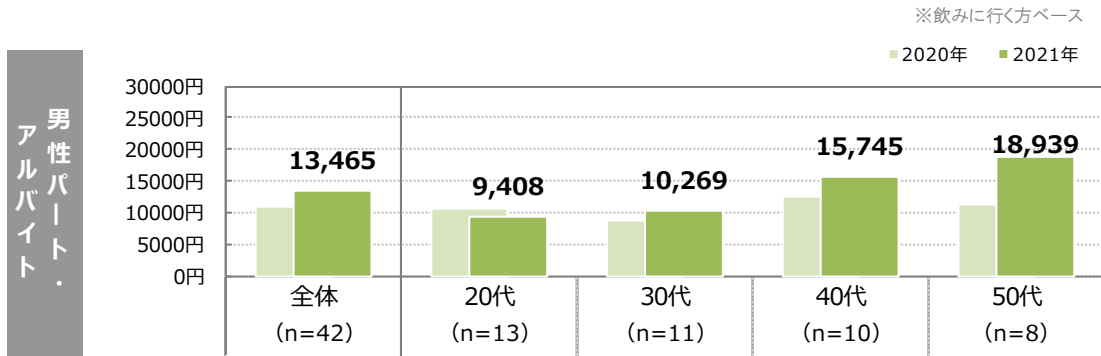


※飲みに行く方/自宅飲む方ベース

※n=30未満は参考値として掲載

■ 飲み事情(つづき)

1ヵ月の平均飲み代



※n=30未満は参考値として掲載